

【69】今治市役所

〒794-8511

愛媛県今治市別宮町1丁目4-1

人文学部社会学科 3年次生 越智 祐子

1. インターンシップの目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は2つあります。

1つ目は、今年で大学生生活3年目になりますが、これまでに自主的に何かをしようといったことが余りありませんでした。今回のインターンシップ研修を通して、少しでも将来について考える何かきっかけを得ることができればと思い、研修を受けさせて頂きました。

2つ目は、自分の行動や言動の責任がアルバイトとは違ってより重くなる社会人として、適切な対応ができるのか、自分のスキルを実際に社会人に混じって働くことで確認したいと考えたからです。

2. インターンシップ研修先の選択

まず、自分が今治市出身であることが挙げられます。十数年住んできましたが、普段自分たちが快適なまちの中で過ごしているのは、市の職員の方々が多方面からサポートしてくれているからであると考えていました。また、実際に働いてみないと分からない取り組みにも興味があり、どこまで職員の方が携わっているのか自分の目で確かめてみたいと思い、今治市役所を研修先に選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月25日～8月30日 5日間

研修先：今治市役所 産業部 商工振興課

<8月25日(木) 1日目> 新都市計画の説明、現場視察

営業戦略課の職員さんから、現在、計画や取り組みが進んでいる新都市計画についての説明を受けたあと、実際に建設中の場所や、数年後に完成される建物ができる土地に足を運び現場を視察しました。私が3年前に住んでいた今治は、新都市区域がかなり変化しており、数年後の国体に向けて大規模な競技場や店舗、式場などが建設されることを知り、とても楽しみに感じ、また地域活性化のために今治市が大変力を入れていることが伝わってきました。何年も住んでいたのに知らなかった素敵な場所もあり、もっと今治の子どもたちにも興味をもってもらえたらなと思いました。

<8月26日(金) 2日目> 商店街視察・はばりー視察

商店街とはばりー視察の前に、商工振興課の職員さんとミーティング室で会議しました。1つのあるセンターをつくるにあたって検討しなければならない規定についてですが、なにか1つ建物を建てるとなると、長い時間をかけて法律に沿った規定を踏まえて多方面から検討しなければならず、職員のみなさんの努力は凄いものだと感じました。この企画のために、県庁から出張で今治市役所に来て働いている職員さんもいらっしやいました。

会議のあとは、商店街の視察をしました。松山の商店街に比べほとんどの店のシャッターがしまっており、活気のなさが伺えました。商業系の職員さんと改善策を考えましたが、費用や不動産との連携も必要であり、人を集めることは簡単な問題ではないと感じました。

<8月27日(土) 3日目> 大人の夜市の設営・運営

寺町にある11のお寺が密集している場所で、4年ほど前から行われている大人の夜市とよばれるイベントにスタッフとして参加させて頂きました。日差しの照る中、市民の方と振興課のみなさんとテントの組み立てなど協力して設営し、夜市では多くのお客さんと触れ合うことができました。このようなイベントにも市が携わっていることに驚きましたが、市民が主催するイベントなどで、人手が足りない時は市役所の職員さんがフォローすることも珍しくないことを知りました。11のお寺にスタンプラリーをしながらまわり、最後に景品と交換するという夜市でしたが、私はそのうちの1つの寺で、お茶の接待をしました。子どもからお年寄りの方まで楽しんでもらうことができたと思います。片付けが少し大変でしたが、やり甲斐を感じることができ、大変充実した1日になりました。

<8月29日(月) 4日目> タオル工業組合への訪問

土曜のイベントの関係により、午後からの研修となりました。今治の地場産業の中でも高い実績のあるタオルについて学びました。今治市役所では朝一でタオル体操とよばれるタオルを使った簡単な体操から始まりますが、体を伸ばすことで気持ちもすっきりするので日課にするのはいいことだと感じました。この日はタオルが作られている繊維産業技術センターに訪問しました。技術面の専門的な内容だったため少し難しかったですが、製造過程や研究室など見るものすべてが新鮮でした。これからは、質が他のものより全然違うタオルジャパンのタグの付いたものを是非使いたいと思いました。

<8月30日(火) 5日目> 今治造船・渦潮電機の見学

世界でもトップクラスの実績を誇る今治造船の見学をしました。新来島海峡に行き実際に造船中の船内も作業着を着て、特別に入らせて頂きました。床などもシートが貼られており、当然まだ何もない空間だったためかなり広く感じました。世界中の貿易では船が主役であり、日本は船に支えられています、そんな巨大な貿易船を今治造船で造っているのはすごいことだと思ったし、また普段の生活では絶対に見ることができない経験をさせてもらい、これから完成、進水式を迎えるのが待ち遠しいです。従業員数も1万人以上と

いうことで、改めて大企業だということも実感しました。

造船見学のあとは、渦潮電機という会社の工場を見学しました。今治造船の船内にあった装置で、渦潮電機で作られたものもあり、造船業界とも関わっていることがよく分かりました。接待してくれた方やそこで働く人の雰囲気や感じがとても良く、礼儀など学ぶ点が多くありました。

4. インターンシップ研修を終えて

振り返ってみるとあっという間の5日間でした。商工振興課は特に外へ出向くことが多く、職員のみなさんには毎日様々な場所へ連れて行って下さいました。自分の知らなかった場所やこれからどんなまちになっていくのか、研修前よりも今治について知ることができたのではないかと感じます。一概に公務員といってもそんなところまで携わっているのだという面も多くあり、自分のイメージしていた仕事ではなかったのが一番の感想です。市民が安心して快適に暮らすその裏側では職員さんの頑張りがあってのことだと強く思いました。また、どの職員さんも親しみやすく、職場内の雰囲気がとても良かったことも印象的でした。今治市出身の方がほとんどで、今治を盛り上げていきたい、活性化したいという気持ちで一丸となって働かれていることがとても伝わってきました。

自分の研修中の反省としては、自分が様々な場所を視察した時にもっと疑問点や、改善策などを考えるべきだったと感じます。ひとつひとつ物事をみておわりにするのではなく頭を回転させて考える癖をつけなければならないと思いました。

今回のインターンシップ研修で職員さんには将来のことなど様々なアドバイスもして頂きました。研修で学んで終わり、にならないように今後の学生生活や就職活動に役立てていきたいと思います。

最後になりますが、お忙しい中研修を受け入れて下さり、丁寧にご指導してくださった今治市役所の皆様、本当にありがとうございました。

【70】伊予市役所

〒799-3193

愛媛県伊予市米湊 820

人文学部社会学科 2年次生 土居 祐子

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は3つあります。

1つ目は、仕事に対するやりがいや楽しさに気付くことです。働くことの意義を理解し、将来自分が就職して仕事をするときの、モチベーションを上げる手がかりをみつきたいと思ったからです。

2つ目は、現段階での自分の能力を知ることです。現状の自分の力を知っておくことで、今の自分に何が必要なのか見極め、今後それを埋めていくことができるからです。また、欠点を改善していただくだけではなく、良点をさらに伸ばしていくこともできます。

3つ目は、社会人の方々と交流することです。私は将来、公務員になることを考えています。そこで、実際に公職の方々のお話を聞くことによって良い刺激を受け、自分の意識を高めていきたいと思ったからです。

2. インターンシップ研修先の選択

私がなぜ様々な公職のなかで、伊予市役所を選ぼうと思ったかという点、まず、合同説明会でお話を聞かせていただいたときに、職員の皆さまの雰囲気が穏やかで、一緒に働いてみたいと思ったからです。この「一緒に働きたい」という感情は、充実した研修を行うためにも、後々大切になってくると思います。

そして、伊予市役所は去年まで、多くの課を体験するようなスケジュールになっていましたが、それでは表面上の浅い部分しか分かってもらえないということで、今年からは一人一つの課のみを体験する形となりました。これによって、選んだ課について深い部分までじっくりと学ぶことができ、より仕事の内部を理解できるものとなっています。この点に関しても、伊予市役所の研修の魅力の1つだと言えます。私自身、研修では内部の事をしっかり学びたいと思っていただけ、最適な研修先でした。

また、公務員の仕事はアルバイトでは体験できないため、将来公務員になることを考えていない人でも、行く価値はあると思います。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月22日～8月26日の5日間

基本的な勤務時間：8時30分～17時00分

日程	研修内容
8月22日	古文書の整理、有形文化財の現地確認同行(薬師堂)
8月23日	図書館に係る学習、施設見学、文化財に係る学習
8月24日	カウンター業務、書架整理、図書修繕、イベントの告知資料作り
8月25日	カウンター業務、会議(検討委員会)見学、イベントの告知資料作り
8月26日	選書及び発注業務、バックヤードに係る作業、プレゼンテーション発表

1日目は、古文書の整理から始まりました。具体的には本のクリーニング、燻蒸をしました。古文書は主に安政～昭和時代に書かれたもので、中身を見てみると、当時の周辺政治・財政状況などを知ることができ、現在の伊予市ができてあがるまでの流れがよく分かりました。古文書を通して、公務の仕事が身近に感じることができました。

午後には、社会教育課で文化振興を担当している方々と、伊予市の有形文化財の一つである薬師堂に行き、振興のための関係者との話し合いを見学させていただきました。この話し合いでは、主に文化財をどのように修繕するか、またその費用について話されていました。暑い中、現地へ行き数時間にもわたる話し合いをすることは思ってもいなかったのが驚きました。話し合いのメンバーは、歴史・建築の専門家の方から一般の方までおり、地域活性に対する熱心さを感じました。普段から文化財についての勉強会も行っているそうです。

以上のことから、公務員＝デスクワークというイメージが良い意味で払拭されました。色々なことに挑戦できる、熱心になれる職業だと思いました。そして公務員には地域の人々と役員さんとの対話を聞き、問題解決をしていくうえで相手の話を聞く力、体力、忍耐力が必要だと分かりました。

2日目の午前中は、図書館館長さんのお話を聞き、館内の見学をしました。館長さんのお話によると、図書館を地域の人々の“居場所”にする努力をしているとのことでした。確かに、小さい子供からお年寄りまで通いやすいような空間づくりが成されていました。例えば月ごとにイメージした装飾を手作りで壁に飾っていたり、新聞コーナーに沢山椅子が設けられていたりしました。また、経営方針を変更したことにより、利用者数と本の貸し出し数が大幅に増えたそうです。このような利用者視点の配慮が、図書館と地域の人々の距離を確実に縮めているのだと分かりました。

午後は、歴史の専門家であるO先生と、文化財の学習をしました。本物の貴重な文化財を見たり、触ったりして、とても好奇心が湧きました。文化財を通して、伊予市の伝統産業・文化を知ることができました。O先生は、文化財の発掘も行っており、自分がこつこつと努力してきた成果が実ったときの喜びと達成感それらがやりがいとなり、仕事をするのが楽しい、と話してくださいました。このお話を聞いて、私はやりがいの大切さに気付くことができました。

3, 4 日目は、カウンター業務をし、新設される図書館についての会議に出席させていただきました。カウンター業務では、アルバイトでの接客経験が役立つように感じました。自分が気づかないうちに、日々の行いが成果となっていることが分かって嬉しくなりました。また、本に関するイベント案内のポスターも作成しました。これについても、学校で取った MOS などの資格が大変役立ちました。

会議見学では、公務員の方々と市民の方々の、新しい図書館の設営についての真剣な議論がされていました。ここで公務員の仕事における現実と理想をよく知ることができました。話し合いで大切なことは、金銭面などの現実的事情を念頭に置きながら、両者の話の折り合いをどうつけていくか、ということだと思いました。

5 日目も、午前中はカウンター業務をしました。最終日にもなると仕事にも慣れ、朝の開館準備から本の整理までスムーズにできるようになっていました。午後は図書館について自身が考えてきたプレゼンテーションを、プロジェクターを使って発表させていただきました。このプログラムは、研修の担当者の方に私がやりたいと言って実現したものです。少し自分の課題と逸れたものになってしまい、反省しているのですが、自分の意見をこういった形で発信できる機会は普段中々ないので、良い経験となりました。

4. インターンシップ研修を終えて

私は研修を通して、やりがいの大切さや仕事をこなしていくうえでのコツについて学びました。どちらもこの先役に立つことだと思います。普段の学生生活でも生かしていきたいと思います。

アルバイトでは経験できない仕事を経験でき、働いていて新鮮で楽しかったですし、今回目標の一つであった、現場の雰囲気を知る、ということが十分にできました。

他の目標についても、達成することができたと思っています。疑問に思ったことは積極的に尋ねること、言動に気をつけながら、職場の方々と円滑なコミュニケーションをとること、自分の強み・弱みを知ることなど、沢山あります。作業の合間に、公務員の仕事について詳しく質問をしたりお話を聞いたりすることができました。もちろん、市役所の方々もそういった時間を設けてくださいました。社会教育課では図書館業務が中心でしたが、職員さんを通して公務について知る機会が多かったので、満足しています。

伊予市役所の方々は皆穏やかで、親しみやすく、一緒に仕事がしたいと思える存在でした。プレゼンテーションをさせていただき、私自身の要望にも応えてくださった伊予市の方々の優しさに、感謝しています。お話も沢山していただき、大変勉強になりました。伊予市のインターンシップに参加できて良かったです。本当にありがとうございました。

【71】宇和島市役所

〒798-0030

愛媛県宇和島市曙町1

経営学部経営学科 3年次生 藤田 茉倫

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は、三つあります。

一つ目は、自分なりの仕事観を見つけることです。インターンシップ研修を通して、普段は目にすることが少ない職場環境や業務内容など、内部の様々な部分を、普段とは違った視点から目を向けたいと思ったからです。また、研修先の方々から仕事に対するやりがいなどを直接伺うことで、自分は将来どのような職場で、どのように働いていきたいかという、自分なりの仕事観を考える機会を得たいと思ったからです。

二つ目は、自分自身の適性を見つめ直すことです。インターンシップ研修で実際に社会に出て働くことによって、今の自分には何が足りないのかを肌で感じ、自分に足りない部分に気付くことで、今後の大学生活で取り組むべき課題を見つけ、大学での学習意欲の向上に繋がりたいと考えています。

三つ目は、社会人として必要なビジネスマナーを身に付けることです。基本的なビジネスマナーは、大学のインターンシップ研修の授業やアルバイト等を通して身に付けることができますが、インターンシップ研修では、社会人として職場で求められるマナーや、職場におけるコミュニケーション能力を身に付けることができる環境だと捉えたからです。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、大学卒業後においては、自分が生まれ育った地元である宇和島市で就職したいという思いが強く、自分の進路選択の一つとして、地方公務員という職業を考えています。そのため、市民の暮らしを支える役割を担っている市役所の職員の方々の仕事とはどのようなものか、実際に自分の目で見て、詳しい知識を習得したいと考えました。また、行政という視点から、宇和島市という自分の故郷について見つめ直す機会を得たいと思い、インターンシップ研修先として宇和島市役所を選びました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月15日（月）～8月19日（金）

研修時間：8：30～17：15（昼休憩60分）

日程	研修場所	研修内容
8月15日（月）	生涯学習課	事務作業
8月16日（火）	生涯学習課	事務作業
8月17日（水）	生涯学習センター	事務作業
8月18日（木）	津島町岩松公民館 生涯学習センター	かまぼこ板の工作教室の運営補助 事務作業
8月19日（金）	生涯学習センター 三間町コスモスホール三間	事務作業 市民大学講演会の運営補助

【1日目】

まず、生涯学習課の職員のみなさんにご挨拶をして、早速事務作業に取り掛かりました。午前中は、パソコンを使用したエクセルの表作成業務に携わり、市内の各公民館で行われる講座の実施報告総括表を作成しました。あっという間に午前の業務が終了し、午後からは、主に書類の押印及び封入作業といった業務を行いました。一見単純に見える作業ですが、個人情報を取り扱うため、細心の注意を払いながら行い、更に、正確さも必要とされるため、想像以上に大変な作業であることを実感しました。また、作業の量も多く、職員の方が普段はこの作業を一人でされていると聞き驚きました。初日は、事務作業の大変さを実感した一日となりました。

【2日目】

2日目も1日目に引き続き、事務業務を行いました。業務内容は、事務的な作業で初日とほとんど変わらなかったため、私自身としては、少し手際良く仕事を進めることができたと思います。また、生涯学習課の職場環境はとても良く、業務を行っていく中で分からないことなどは、職員の方へ質問し易く、研修生の私にとっては、とても働きやすい雰囲気職場だと感じました。そのため、自分も将来このような温かい職場で働きたいというイメージを掴むことができました。

【3日目】

3日目は、生涯学習センターで事務業務を行いました。生涯学習センターは宇和島市立図書館内にあるため、とても静かな環境でした。主な業務内容は、葉書の宛名書きといった作業でした。作業内容は、生涯学習課で行ったものと似た内容だったため、正確に効率よく作業を行うことを心掛けました。3日間の事務業務で感じたことは、長時間続けて作業を行っている、集中力も途切れ効率が悪くなるので、途中休憩をとることの大切さも実感し、社会人として働くためには、自己の体調管理も大切だと学びました。

【4日目】

4日目の午前中は、宇和島市津島町にある岩松公民館へ行き、子どもたちを対象とし

たかまぼこ板の工作教室の運営補助を行いました。この工作教室では、職員の方が、参加してくれた地域の子どもたちと触れ合いながら工作教室の進行をスムーズに行っている姿を拝見し、私自身も受付のお手伝いをさせて頂いたことで、事務的な業務以外にもこのように市民と直接関わる仕事をされているのだと知り、大変勉強になりました。午後からは、生涯学習センターへ戻り、事務業務を行いました。また、この日は、生涯学習課の職員の方に、仕事に対するやりがいや就職活動についての様々なお話を聞かせて頂いたことで、地方公務員への志望を再認識し、4日目を終了しました。

【5日目】

5日目の午前中は、生涯学習センターで事務業務を行いました。最終日ということで、作業にも慣れ、スムーズに仕事を進めることができましたと思います。午後からは、宇和島市三間町にあるコスモスホール三間へ行き、市民大学講演会の運営補助を行いました。この講演会は生きがい大学として開催されていることから、参加者は高齢者の方が多く、とても熱心に受講されていました。生涯学習課では、小さなお子さんから高齢者の方といったあらゆる年代の市民が、身近な場で多様な学習機会を選択できるよう努めており、職員の方は、それらに付随する様々な業務に携わっていることを認識しました。また、職員の方が働かれている姿を近くで拝見し、私も実際に補助業務をさせて頂いたことで、働くことへの意識が高まり、充実感も味わうこともでき、大変良い経験となりました。

4. インターンシップ研修を終えて

この度のインターンシップ研修において、5日間という短い期間でしたが、私自身が大学卒業後の進路として考えている地方公務員の行政事務という職業を体験したことで、こういった環境でどのような業務に携わるのかを知ることができ、とても充実した研修になりました。事務的な業務に関しては、想像以上に体力や集中力が必要であることを実感し、アルバイトでは得ることができない体験を通して、仕事の大変さや、仕事を終えた後の達成感を味わうことができました。また、事務的な業務だけではなく、4日目、5日目は職員の方に岩松公民館やコスモスホール三間へ連れて行って頂き、実際に出先機関へ出向くことで、宇和島市役所生涯学習課では、市民に生涯学習の場を提供するために様々な活動に努めていることを体感しました。私にとって、事務業務以外にも、市民の方と関わりを持つ業務を行う魅力のある生涯学習課で研修ができたことは、進路実現に向けて前進していくための貴重な体験となりました。研修中の空き時間や移動中においても、職員の方から様々なお話を聞くことができたので、自分の中で就職活動へ向けてのモチベーションアップに繋がりました。今回のインターンシップ研修で学んだことを、今後の大学生活での学習意欲の向上に繋げ、さらに就職活動に活かしていきたいと思います。

最後に、お忙しい中、インターンシップ研修生の私を受け入れてくださった宇和島市役所生涯学習課及び生涯学習センターの職員の皆様には、温かいご指導のもと、貴重な経験をさせて頂いたことに心より感謝いたします。

【72】愛媛県警察本部

〒790-8573

愛媛県松山市南堀端 2-2

法学部法学科 3年次生 小原 佳奈

1. インターンシップ研修の目的

私は将来、警察官か警察事務の職に就きたいと考えております。しかし、パンフレットや、口頭での説明ではその仕事を把握しきれないため、実際にインターンシップに行かせていただき、その中で体験・見学させていただく中で、警察という仕事を具体的に知るといのがこの度の研修の第一の目的でした。そして、研修中、多くの警察の方をはじめとする社会人の方と接する機会があるため、できるだけ多くの警察官・そして事務の方とお話をさせていただいて、警察という仕事のやりがい・楽しさ・そして苦労を自分なりに考え、吸収するということが第二の目的でした。

第三の目的は、横のつながりを大切にし、自分自身を高めるということです。将来、警察になりたいという同じ夢を持った研修生の方々とも交流を深め、自分自身に足りていない部分を見つけ、改善できるようにしたいです。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、警察という仕事に非常に興味があり、将来は警察官か警察事務の仕事をしたと考えておりました。ここでの研修は私の将来に直結しており、自分自身を高めるためにも最適な研修先だと思ったのでこちらの研究先を選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

今回の警察本部でのインターンシップでは、5日間で全部署の見学・体験をさせていただきました。1日のはじまりは毎日、前日の体験についてのレポート作成からはじまります。

	午前	午後
1 日 目	<ul style="list-style-type: none">・インターンシップ開始式、自己紹介・警察学校見学、体力試験の体験	<ul style="list-style-type: none">・生活安全企画課 生活安全警察の紹介、防犯講話等・強盗訓練見学
2 日 目	<ul style="list-style-type: none">・交通規制課業務体験・交通管制センター見学・業務の説明・現地見学	<ul style="list-style-type: none">・舟艇見学・松山西署見学・交番見学（みつ交番）

3 日 目	<ul style="list-style-type: none"> ・交通企画課・教養課 交通安全教育車等の実技体験 ・安全運転指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・機動捜査隊見学 刑事警察・交通警察紹介 ・白バイ・パトカー乗車 ・制服・装備品の試着
4 日 目	<ul style="list-style-type: none"> ・機動隊 訓練の見学・体験 災害活動報告（広島大規模土砂災害） 機動隊員の方々と昼食 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑識課・科捜研 指紋採取、足跡採取体験 科捜研予試験等体験
5 日 目	<ul style="list-style-type: none"> ・通信指令課 業務の説明 模擬110番体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・警務課人事係 意見交換会 インターンシップ修了式

多くの部署や課で見学体験させていただく中で、たくさんの職員の方のお話を聞くことができる機会があったのは非常に勉強になりました。どの部署・課でも見学の後に体験をさせていただくことができ、身をもって警察の仕事を知ることができました。常に警察の人事係の方が引率で付いていてくれるため、分からないこともすぐに聞くことができ、解決しました。警察のありとあらゆる分野の仕事を知ることができ、非常に身になる研修内容でした。

4. インターンシップ研修を終えて

第一の目的であった、警察の仕事を具体的に知るということは、充実した研修内容を組んでくださったことにより、達成することができました。質問の機会もたくさん用意していただき、疑問もすぐに解決することができました。すべての部署を見学・体験させていただいたことは貴重であり、勉強になりました。

第二の目的である警察の仕事の苦勞とやりがいを知るということも、たくさんの警察職員の方々とお話しさせていただいたことにより達成することができました。どの方も口を揃えておっしゃる言葉がありました。それは、「県民の皆さんのため」という言葉です。警察の方はこのひとつの合言葉を胸に誇りとプライドを持って職務に専念されている様子が常に伝わってきました。体力的に、精神的に苦しいことが多くあるお仕事だということはこの5日間でもとても感じました。しかし、「県民のため」と警察というひとつのチームになって尽力されている皆さんは非常にかっこよく、私の警察になりたいという気持ちは研修中、毎日増していきました。このお仕事には苦勞や大変さをも超えたやりがいが詰まっていると思いました。

第三の目的である横のつながりから自分自身を高めるということも達成することができました。研修中、多くの場面で他の研修生の方とお話する機会がありました。皆さん、警察官・警察事務の職に就きたいという方ばかりで非常に良い刺激をもらった5日間でした。自分の甘さも実感することができました。それにより、自分自身を奮い立たせることもできたと思います。横のつながりでお互いを高め合うことのできる良い仲間に出会うことができとても良かったと思います。

この研修の中で自分の課題も多く見つかりました。その中でも特に感じたことは、積極性が足りないということです。慣れない環境で自分自身、萎縮してしまっている場面が多くあったように感じています。どんな場面でも積極的な自分でいられるよう、改善する必要があると感じました。

研修前と研修後とで私の中で大きく変わったことがあります。それは、「働くこと」の意味についてです。私は当初、「働くこと」＝「お金のため・生活のため」という認識でした。しかし、研修を終えてその考えは一変しました。警察ならではの「働くこと」＝「県民のため」という意識になりました。先ほども述べたように、警察の方は皆さん「県民のため」と口を揃えておっしゃいます。5日間、そのような警察の方と時間を過ごさせていただき、誇りとプライドを持ってお仕事されている姿は、憧れであり、まさに私の目標とすべき姿でした。

私は、この研修を通して、自分のやっている行動にプライドと誇りを持てる生き方をしたいと強く感じました。それは、将来の自分がそうでありたいと思うと同時に、これからの大学生活もそのように過ごしたいと思っています。今までの大学生活がいかに甘かったか、このインターンシップ研修を終えて強く感じています。私は、警察の職に就きたいという明確な目標ができました。その目標を達成するために、今までの甘い考えの自分自身は捨て、自分のやっていることに誇りとプライドを持てるような大学生活を送りたいと思います。警察の試験までまだ日はあります。今後、一日も無駄にすることなく、今回のインターンシップで接した警察の方のような警察になるためにも努力を重ねていきます。

【73】愛媛県 企画振興部 総合政策課

〒790-8570

愛媛県松山市一番町4丁目4-2

経済学部経済学科 3年次生 久保 風雅

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップに参加した目的は3つあります。1つ目は大学を卒業する前に働くとはどういうことかを知りたかったからです。私はアルバイトだけでは仕事というものは知ることができないと考え、この研修を通して少しでも経験を積もうと思いました。2つ目は自分がどのような仕事に向いているのか知りたかったからです。私は現在公務員を志望しており、実際にそこで働いてみて向いているのかどうか調べたかったからです。3つ目は自分のコミュにケーション力がどこまで通用するか知りたかったからです。大学とは違う環境で社会人との交流する機会を持ちたいと考えました。

2. インターシップ研修先の選択

私は、先程にも書きましたが将来公務員を志望しており、主に政策業務に携わりたいと考えていました。しかし、第一志望には落ちてしまい、次の研修先を探している中で愛媛県企画振興部総合政策課に目が止まり、ここなら自分の希望する政策の業務を経験できるかと思いました。また、私は高知県出身で、まだ愛媛県についてそこまで知っていることが少なかったので、この機会に愛媛県がどのような取り組みを行っているのかを知りたいと思い研修先に選ばせていただきました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月22日～8月26日（5日間）

1日目 人口問題総合戦略専門委員会準備、新規採用職員研修傍聴

初日は自己紹介を軽く済ました後、早速次の日の人口問題総合戦略専門委員会の準備を行いました。内容は看板作りと、委員会の方たちの交通費の記入でした。どちらもパソコンを使う内容でしたが、特に看板作りが難しく、文字をどのくらいの大きさにすればよいのかにとっても悩みました。午後からは今年から新規採用された職員の研修を傍聴しました。内容としては大学と同じ講義のような感じで、県職員として自分ができることは何か、自らの業務を着実に推進させていくにはどうすればよいかを考えさせられました。また、東予、中予、南予によって目指すべき方向性が違っており、それぞれの問題に当てはめた政策を考えなければならぬことがわかりました。

2 日目 拡大部局長資料準備、人口問題総合戦略専門委員会

午前中は午後の会議の会場設営、資料の準備を行いました。しかし、途中から資料に不備があったらしく、急きょ作り直しとなりました。会議に間に合うのがとても心配でしたが、職員の方たちと協力しなんとか間に合わせることができました。午後は人口問題総合戦略専門委員会という会議に出席させていただきました。内容は平成 27 年度の人口問題に関する取り組みや政策についてどのくらいの成果を上げたのか、また効果がそれほどでないものも調べて、今後の対応や見直しを図る会議でした。会議に参加している人たちの中には、総合政策課の部長や課長以外にも、松山大学の教授や愛媛県教育委員会の方々も出席しており、各分野の異なる人たちが参加することで、様々な観点から意見を出してもらえたのでとても有意義な会議になりました。

3 日目、4 日目 拡大部局長会資料作成、人口問題総合戦略専門委員会ホームページ作成

次の会議に向けての資料作成を行いました。主に内容は、各課の部長がどの席に座るのか、どういう進行で行っていくのかについてでした。この辺りからパソコンの使い方にも慣れてきて、スムーズにできたのではないかと思います。午後からは昨日の会議についてのホームページ作成を行いました。ホームページを作るのは初めてだったので最初はどうすればよいかわかりませんでした。職員の人たちが丁寧に教えてくれたのもあり、手探りながらも進めることができました。しかし、出来上がったホームページを提出するたびに所々に誤字脱字があったり、あまり見栄えがよくなかったりと、何回もやり直されたので苦しかったです。けれども、自分で何とか工夫を凝らし完成させたときは達成感があり、とてもうれしかったです。

5 日目、拡大部局長会傍聴

最終日はホームページの手直しを少しした後、拡大部局長会の設営準備を行いました。拡大部局長会とは県庁の各部長、知事や副知事の人たちが行う会議で今回その会議を傍聴できる予定でした。しかし、会議の始まる数分前に秘密事項についての話し合いが追加されたため、部外である私は退出させられました。とても残念でしたが、会議の雰囲気を知ることができただけでも良かったのではないかと思います。また、この日に限った事ではないのですが、思っていたよりも早く作業が終わった時に、職員さんに「何か仕事はありますか?」と聞いてもあまりやってもらうことがないと言われたので、もう少し自分でできることを探したらよかったと思いました。

4. インターンシップ研修を終えて

私は今回このインターンシップ研修を終えてみて感じたことは、社会人と学生の差を痛感させられました。まず確認作業の多さに驚きました。一つの資料 1 ページだけでも何回も何回も確認してから上司や部長に許可をもらっていました。なぜそこまでするのですか

と聞いてみたら「公務員という仕事は信頼が重要な仕事なので、こうやって何度も間違えないかどうかを確認することで、市民の方々の信頼につながる」とおっしゃっていました。他の仕事でもそうですが、まずはこうやって準備を怠らずに作業をしていくことで、職場の方たちまたはそれ以外の人たちから信頼を得ることができるということを知りました。また、インターンシップ研修を受ける中で全く余裕のない私に対してみなさんが親切丁寧に接してくれたおかげで自分もこのままではだめだと思い、なるべく周りを見渡しお手伝いできることはしっかりやろうとしました。自分のことばかり考えることなく、相手の気持ちもしっかり考えることのできるコミュニケーション能力の高さが学生と社会人の違いなのではないかと思いました。

最後に私はこのインターンシップ研修を通じて、社会人の人たちとの関わり、仕事のやりがいや苦しさを体験したことで今後の自分がすべきことが少しだけ見えてきたと感じました。これを無駄にすることなく、残りの学生生活のなかで十分に生かしていきたいです。本当に愛媛県企画振興部総合政策課の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。5日間本当にありがとうございました。

【74】愛媛県 企画振興部 統計課

〒790-8570

愛媛県松山市一番町4丁目4-2

経営学部経営学科 2年次生 武智 菜々

1. インターンシップ研修の目的

大学生になり、就職という言葉をよく聞くようになってから私が大学を卒業した後、どのような仕事に就きたいのか、今の自分とどう違っていたいのかと考える機会が増えました。漠然と仕事に就いて活躍できる人間になりたいとは思っているものの、実際どうしたら今とは変わったスキルアップした私になれるのかと、具体的な方法が見当たらずにいるときに、目標となる私自身がこうなりたいと思える人物像がないことに気づきました。私がどうなりたいのか、どうある人が理想なのかを追求し、目標とする社会人像を明確にすることが今回のインターンシップ研修の目的です。

2. インターンシップ研修先の選択

もともと公務員に関心があったことがきっかけでした。その上で、職場の雰囲気などの自分自身で感じるものを長い間受け入れてもらうことで実感したいと思ったため、できるだけ長い期間を受け入れていただける場所を探していました。また、今回のインターンシップ以外で、学生などを対象とした各部の仕事に就いてお話をしていただける機会に、企画振興部についてのお話を伺ったことがあり、企画振興部に興味を持っていたことから研修先を選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修初日はインターンシップ研修の具体的な内容の説明をしてくださり、いただいた統計の基礎知識が書かれた本を読んだりした後、インターンシップ研修のメインの活動となる経済センサス活動調査の審査を松山市役所別館に移動して行いました。

経済センサス活動調査は5年に一度全事業所を対象に行うとても規模の大きな統計です。全事業所に経営組織や開設時期や雇用者数、事業内容、売り上げなどを答えてもらうもので、私は各事業所からの回答用紙を見て、記入漏れやおかしな点はないかをチェックしていました。松山市役所別館に移動したのは、今回松山市の用紙のチェックをしたためです。松山市は愛媛県の中で量が一番多いと伺いましたが、研修中に終えることができるだろうかと心配になるほどの膨大な量で、初めて見たときはとても驚いたことを覚えています。愛媛県職員の方、松山市職員の方、日々雇用の方、インターンシップ生でこの用紙を研修

5日目までチェックし続けました。予定では研修7,8日目ごろに終わる予定だったそうでしたが、予定よりも早くに松山市の回答チェックを終えることができたため、5日目の午後から8日目までは県庁内でのお仕事にかかわらせていただきました。

県庁内ではさまざまな仕事に関わらせていただきました。その一つは統計結果を利用して作られた別の資料の数字に間違いがないかを確認するといったものでした。1枚の資料に何百もの統計で得た数字が並んでおり、この数字の確認作業を少なくとも二回は行うという話を伺いました。ほかにも、実際にエクセルを使って、統計結果の数字の打ち込みをさせていただいたり、家計調査の調査員に送る資料をまとめたりと様々なことを体験させて下さりました。どのときも、各調査の詳しい話やどのように使われるかなど詳しく丁寧に教えていただきました。

9日目に松前町の、10日目には伊予市の経済センサス活動調査の審査をさせていただきました。たくさんの場所で研修でき、それぞれの場所の雰囲気なども感じ取ることができて大変貴重な体験をすることができました。役所に移動している間にも職員の方が公務員のことや経済センサス活動調査についてのお話をしてくださり、とてもためになりました。このように経済センサス活動調査の審査が主な活動となる研修でしたが、私たちインターンシップ生のことを気に掛けていただき、職場の雰囲気も良く、とても良い環境のもとでインターンシップ研修を受けることができたと思っています。

4. インターンシップ研修を終えて

インターンシップ研修を実際に行うまで、職場というところがどのようなものなのかということもほとんど知らない状態であった私でしたが、この研修を通してたくさんのことを学ぶことができました。中でも一番学べたことは、社会人と学生とでは背負う責任の重さがまるで違うということでした。今回の主な内容であった経済センサス活動調査の審査を行っている際に、無回答の用紙を見かけることがあったのですが、それについて、そのままにせずしっかり確認を取るようにと話をされていることがありました。社会人の方たちにとっては当たり前のことだとは思いますが、蔑ろにはいけない大事な仕事をしているという意識があるからこそ一つ一つの仕事に真剣に取り組んでいる様子がうかがえました。相手がどのような態度をとっても相手に合わせてしまい正しいことすら主張できない私にとって一番欠けているものなのではないかと痛感しました。確認をしっかりとってより多くの結果を手に入れることでより精度の高い統計結果を出さなければいけないとお話を聞きましたが、この統計結果は一般に公開され、さまざま企業なども利用するそうです。働く会社だけの利益を求めるわけではなく、たくさんの県民、国民たちに企業よりも直接的に関わるような仕事だからこそその責任の重さも感じることもできたのではないかと思います。

今回の研修で私が社会人になるまでに達成しなくてはならないことは責任感を持つことが一つだと理解することができました。責任を持って仕事にうちこむ職員さん皆さんが私のなりたいと思う社会人像になりました。これから社会人になるまでの間、責任感をもつ

と持つように心掛け、他の目標ももっと立てていこうと思いました。

また、研修前に掲げていた目標として、積極的に物事に取り組むこと、コミュニケーションをとることを挙げていました。積極的に物事に取り組むという点では職員の方に何かできることはないかと聞くなどをしました。ある程度目標を達成することができたのではないかと思っています。しかし、もう一方のコミュニケーションをとるという目標はあまり達成できなかったのではないかと思っています。今までの研修日記を見てもコミュニケーションをうまく取ることができなかったというものをよく見かけましたが、実際難しいと感じました。全くお話をしていないというわけではありませんでしたが、もっとたくさんのお話を聞くことができたのではないのかと感じています。

とても職場の環境がよくてとても研修の行いやすい環境にしてくさったり、お気遣いをしてくださったり本当にありがとうございました。10日間という短い間でしたが、今まで本当にありがとうございました。

【75】愛媛県 企画振興部 統計課

〒790-8570

松山市一番町4丁目4-2

経済学部経済学科 2年次生 右崎 愛梨沙

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップ研修の目的は大きく分けて2つあります。1つ目は、アルバイトとは違う「社会人として働く」とはどういうことなのか知ることです。普段の接客業や塾講師のアルバイトではできない仕事を、自分で体験して知りたいと思いました。2つ目は、自分の仕事の適性をはかるということです。公務員を目指している自分に、将来自分が働くにあたってその仕事が合っているのかどうか、このインターンシップ研修を通してはかるいい機会だと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は公務員を志望しています。就職先の1つとして考えている公務員という仕事や、愛媛県庁がどのように私たちの暮らしに関わり、どのように暮らしをサポートしているのかを、このインターンシップ研修で身をもって学びたいと思い県庁を選択しました。また、私は大学の授業で統計学を学習しました。そこで、この学習がどのように仕事に生かすことができるのか、学習と実務のギャップを知るために統計課を選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月8日～8月19日（土日祝日除く9日間）

研修先：愛媛県企画振興部政策企画局統計課生活統計係、人口統計係

勤務時間：8時30分～17時15分（うち1時間休憩）

日程	研修内容
8月8日（月）	学校基本調査・更生チェック、家計調査（家計簿）検算
8月9日（火）	家計調査（家計簿）検算、統計調査学習、郵送準備、毎月勤労統計調査・名簿更生チェック
8月10日（水）	各種調査について学習、生活基本調査・調査票更生チェック
8月12日（金）	生活基本調査・更生チェック・調査区域書類整理、毎月勤労統計調査・書類整理、

8月15日（月）	生活基本調査・調査区地図・調査名簿・リーフレット配布準備、 小売物価統計調査・審査会出席
8月16日（火）	調査区地図・名簿打ち込み・とじ込み、書類整理
8月17日（水）	郵送準備、リーフレット印押し、資料更生チェック
8月18日（木）	統計課 HP の up 資料更生チェック、不要資料の整理・掃除
8月19日（金）	家計調査（家計簿）検算、資料郵送準備

・学校基本調査

学校基本調査とは、学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的とした調査です。毎年、学校数、在学者数、教職員数、学校施設、学校経費、卒業後の進路状況等を調査しています。調査票を送付し、記入された調査票を回収する方法とオンラインで回答してもらう方法で調査結果を回収しています。そして回収した結果を前年度と比較し、表やグラフといったわかりやすい形に変え、文部科学省に提出し、文部科学省が全ての県の結果をまとめインターネットなどで発表しています。

・家計調査

家計調査とは、選ばれた世帯の人に毎日の家計の収入や支出を家計簿につけてもらいその結果を取りまとめ国民生活の実態を家計収支の面から明らかにするための調査です。また、この調査結果は景気動向の判断指標として、そして、国や地方公共団体の各種施策立案や大学・民間団体での分析などに幅広く利用されています。調査方法としては、都道府県知事が任命した統計調査員が、調査世帯を訪問し「家計簿」を配布します。調査世帯は、統計的な方法で全国から無作為に抽出され、毎日の収入・支出について「家計簿」に記入します。つまり県職員が直接行う調査ではないため、調査委員さんとの信頼関係や、調査員さんの腕にかかった調査です。よって、調査員さんとコミュニケーションを取りあうことがとても大切であると感じた調査でした。

・小売物価統計調査

小売物価統計調査とは、国民の消費生活上重要な商品の小売価格、サービス料金及び家賃を全国的規模で小売店舗、サービス事業所、関係機関及び世帯から毎月調査し、消費者物価指数（CPI）その他物価に関する基礎資料を得ることを目的とした調査です。一般の商品の小売価格またはサービスの料金を調査する「価格調査」、家賃を調査する「家賃調査」及び宿泊施設の宿泊料金を調査する「宿泊料調査」の3つに分類されています。今回私が出席させていただいた調査は価格調査で、この調査は調査員が毎月担当する調査区内の調査店舗等に出かけ、代表者から商品の小売物価を聞き取り調査員端末に入力し、総務省統計局にデータを送信するという方法で調査されていました。そのデータを総務省統計局及び都道府県で審査を行います。審査を行うにあたり、価格が前月からかなり値上がりしていたり、値下がりしている場合セールや割引などの有無を確認するために調査員さんと直

接会い事情を教えていただいたり、閉店や長期休業になっている店舗がないかといった情報交換をする事前審査会がありました。この調査でも、調査員さんに調査をしていただきます。様々な統計調査がありますが、そのほとんどの調査において調査員さんの力を借りています。県職員が直接私たち一般市民と関わる仕事は少ないですが、選ばれた調査員さんにより長い時間関わります。つまり、調査員さんとの信頼関係が本当に重要であることが理解できました。

4. インターンシップ研修を終えて

私は今回のインターンシップ研修で電卓を使って計算ミスがないか確認したり、発表前のデータの値が正確に記入されているか確認したりといった一見地味な作業が大半でした。しかし、その確認作業の1つ1つがとても大事な作業であると教えていただきました。普段なら、1人で一週間近くかけて終える確認作業であると聞きかなり大変な仕事であると感じました。そして、研修中、色々な方からたくさんのお話を聞くことができました。初日は緊張していたということもあり、仕事の話以外はほとんどすることもできず、不安な2週間の研修の始まりでした。しかし、すこし仕事に慣れてきた2日目からは自ら次の仕事を探し、わからないところは聞き、周りにいる人の仕事の様子などを見ながら研修が行えました。すると次第に周りの方とも話すことができました。県庁を目指した経緯、公務員試験を受けた時の思い出やこれからの公務員試験へのアドバイスなどを教えていただきました。また、県庁は3年ごとに部署が変わってしまうという事実も教えていただきました。これは仕事を習得し慣れたころにはまた新しいことを覚えなければいけなくて、専門性に欠けた仕事であるということ、逆にいうと、様々な仕事を浅く広くすることができるというお話も聞かせていただきました。公務員を志望している私にとってとても意味のあるこれからの自分の進路を考え直す良いきっかけになりました。これからの大学生活の中で私は、コミュニケーション能力を高めながら自分のしたいことを改めて考えていこうと思いました。

本当にこの2週間充実したインターンシップ研修でした。優しく丁寧にご指導いただきありがとうございました。今回のインターンシップ研修で学んだことを生かし、今後の大学生活及び公務員試験勉強を頑張っていきます。本当にありがとうございました。

【76】愛媛県 県民環境部 環境政策課

〒790-8570

愛媛県松山市一番町4丁目4-2

経営学部経営学科 2年次生 松本 理愛

1. インターンシップ研修の目的

私はインターンシップ研修に行く前に、3つの目的を立てました。

1つ目は、今の自分のビジネスマナーが通用するかどうかを知る、ということです。現在、私はブライダルでアルバイトをしていて、アルバイトで養ったビジネスマナーがどれほど通用するのを知りたいと思いました。

2つ目は、今の自分に足りない能力・すでに身に付けている能力を知る、ということです。これらを知ることで、今後の学生生活をどのように送っていくべきなのか明確にわかると思いました。

3つ目は、社会人と学生とのギャップを知る、ということです。これを知ることで、企業とのミスマッチを防いだり、働くということについて知ることができたりすると思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が、このインターンシップ研修先を選択した理由は、普段の大学の授業で地球温暖化について学ぶ機会があり、その内容がとても面白く、愛媛県庁には、県民環境部環境政策課という課があることを知り、この課ではどのように地球温暖化対策に取り組んだり、普段はどのような業務をこなしていたりするのに興味を持ったからです。

3. インターンシップ研修の内容

インターンシップ研修は、5日間でした。1日目は、県民環境部環境政策課および温暖化対策事業の概要説明と3R推進事業関係のデータ集計でした。2日目は、3R推進事業関係のデータ集計と学生向けの温暖化対策啓発企画案の作成でした。3日目と4日目は、温暖化対策啓発イベントのPR資料作成でした。5日目は、環境関係イベントの運営補助でした。インターンシップ研修中は、パソコンに触れる機会がたくさんありました。

4. インターンシップ研修を終えて

私は5日間のインターンシップ研修を終えて、今自分に欠けているものを3つ知りました。

まず、1つ目は、「普段から、さまざまなことに興味・関心を持って生活をする」ということです。地球温暖化対策啓発イベントの資料作成で、いざ自分で資料を作ろうとした時に、どうしたら人の興味を惹きつけられるのかわからず、まったくいいアイデアが浮かびませんでした。その時、インターンシップ研修担当の方から、新しい発想で他人を惹きつけることができるのは、ごく一部の人間だけなので、自分の印象に残った他人の作品から学び、真似することから始めるといいというご指摘をいただきました。私の今までの日々を振り返ってみると、普段からニュース、広告などは流し見する程度で、それらをよく見たり、深く考えたりすることはありませんでした。なので、私は漠然と毎日を過ごすのではなく、日頃から、雑誌や新聞、TV、ポスターなどいろいろなものを目にして、良い点・悪い点を考えるようにし、うまく吸収できるようにしたいと思いました。そうすることで、徐々に、他人に情報をうまく伝える力が向上させたいと思います。今後の大学生活で、レポートやプレゼンなどをする際にも生かしていきたいと思います。

次に、2つ目は、「周りを観察する力を養い、想定外のことが起こったとしても、臨機応変に対応できる力を身に付ける」ということです。大学生活では、毎日が大体同じように過ぎていきます。そのため、想定外のことが起こるということがあまりありません。また、アルバイト先でも、アクシデントがあった際には、社員の方々が対応してくださるため、これまで自分が責任を重く負う場面がありませんでした。しかし、社会に出たら、自分でそれらの対応をしなければならず、私にはまだその責任を背負う心構えが足りていないと感じました。インターンシップ研修で、最終日にあった環境関係イベントでは、当日はあいにくの雨でしたが、天候に左右されず、難なく臨機応変に対応できていた社員さんたちののおかげで、特に大きなトラブルもなく、無事にイベントを終えることができました。私も、社員さんたちのように、何事にも臨機応変に対応できるように、普段から周りを意識してその場で一番とるべき行動を考え、すぐに行動に移すようにしていきたいと思いました。

そして、最後に、3つ目は、「PCスキルを向上させる」ということです。どこの企業に行っても、この能力が優れているだけで、大きな武器になると思います。インターンシップ研修中は、パソコンを使うことが多く、もっと普段からパソコンに触れてPCスキルをあげておくべきだったと痛感しました。今後の大学生活では、パソコンを使う機会を増やし、検定を受けて、自分のPCスキルに自信を持てるようにしたいと思いました。

一方で、5日間のインターンシップを通して、すでに私が身に付けているものを知りました。それは、「挨拶・礼儀・身だしなみなどのビジネスマナー」です。インターンシップ研修中、服装や挨拶、敬語など基本的な姿勢・態度ができているとお褒めの言葉をいただきました。これは、普段からアルバイトで、挨拶や身だしなみに気を付け、目上の方に正しい敬語を使うように、心がけた結果だと思いました。これらは、当たり前のことですが、日頃から心がけていないと急にできるようになるものではないと信じています。これからも、先輩や教授など、大学生活の中で接する目上の方に元気よく挨拶することを心がけ、正しく敬語を使っていきたいと思います。

また、インターンシップ研修に設定した目的はどれも達成できたのではないのかと思います。インターンシップ研修で、できていなかったことは報・連・相の報ができていなかったということです。インターンシップ研修担当の方からの連絡はすべてメールで行っていました。担当の方から、メールが届いているにも関わらず、私は何も返信をしていませんでした。このことで、インターンシップ研修担当の方に、無駄な心配をかけてしまいました。この報・連・相は、社会人になった際に必ずしなければならないことです。今後は、報・連・相を忘れないようにし、社会人になった時に当たり前に行えるようになりたいと思いました。

以上のことが、5日間の愛媛県インターンシップを通して、私が学んだことです。

【77】愛媛県 保健福祉部 長寿介護課

〒790-8570

愛媛県松山市一番町4丁目4-2

経済学部経済学科 2年次生 幸崎 奈央

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した理由は3つあります。

1つ目は、コミュニケーション力を向上させたかったからです。社会人の方と一緒に業務に携わらせていただいたり、お話を聞かせていただいたりする中で、あまり積極性がない自分を変えていく努力をしたいと考えました。2つ目は、実際に働いている方から直接お話を聞くことができるからです。現場で働いていらっしゃる方の生の意見を聞くことのできる機会は滅多にないと思い、ぜひたくさんお話させていただきたいと思いました。3つ目は、働くことに対する認識を改めたいと思ったからです。アルバイトとは違う働くことの大変さややりがいなどを知り、今後の就職活動に向けてモチベーションを向上させたいと考えました。

2. インターンシップ研修の選択

私は、将来公務員になりたいとっていて、特に県庁を強く志望していました。県庁内には様々な課やセンターがあり、どの課を志望するかは迷いましたが、これからの課題として高齢化やお年寄りの方に対するサービスの提供はより重要になってくると思いました。また、祖父母と暮らしているということもあり、このテーマは身近なことのように思えたので、県庁では高齢者に対してどのような取り組みをしているのかに興味を持ち、長寿介護課を志望しました。

3. インターンシップ研修の内容

日付	研修場所	研修概要
9月8日	長寿介護課	オリエンテーション、長寿介護課の業務概要、庁舎案内、保健関係、県政概要、アンケート取りまとめ、長寿者訪問の説明
9月9日	長寿介護課 介護研修係、介護予防係	ユニコム視察、愛ケア視察(施設見学)、「高齢者における急変時の対応」(愛ケア)講習会聴講等、県庁ロビー展の準備

9月12日	長寿介護課 介護事業者係、介護予防係	介護保険制度、事業者の概要説明、介護保険施設見学、認知症と家族の会聴講、愛媛県の認知症施策について
9月13日	長寿介護課 援護恩給係、介護事業者係、長寿政策係	兵籍簿整理事務補助、アクティブシニアサイクリング関係、たん吸引試験関係事前準備(会場設営等)、長寿者訪問事前準備、資料の検算
9月14日	長寿介護課 長寿政策係、介護事業者係	長寿者訪問(八幡浜)、たん吸引試験採点補助、長寿者訪問写真整理

<9月8日> PCを用いてのアンケートの仕分け作業では、当たり前のようにエクセルを使う作業が出てきたため、もっとPCの使い方を学ぶ必要があると感じました。また、長寿者訪問に使う資料や賞状に誤字がないかどうかの確認などの細かい作業もかなり多いことが分かりました。100歳長寿者の方のお宅に訪問する前に、その方の体調が悪くなってしまわないか、当日に誰がどの位置に座るかなどの様々な心配事を抱えながら、その他の業務や電話対応に追われている様子を見て、非常に大変そうな一面を見ることができたように思います

<9月9日> デイサービスにお邪魔させていただいたのは初めてでしたが、入所者の皆さんがとても楽しそうにしているといった印象を受けました。職員の方が、いつも笑顔を絶やさず話していることも強く印象に残りました。外に階段があるお宅の高齢者の方を連れて、デイサービスの車に乗せるためそこまで移動する際、職員の女性の方が背負って階段を下りているのを見て、介護職は女性でも身体に負担のかかる労働をすることが多いと感じました。今回お邪魔させていただいたデイサービスは、職員が入所者一人一人をよく見ることができる人数でしたが、入所者の人数がもっと多い所でどのようにきめ細かいサービスを実施していくかは、今後の課題ではないかと思いました

<9月12日> 愛寿荘は、予想より遥かに大きな施設や設備が備わっており驚きました。お風呂の設備には、車いすで入れるものやストレッチャーで入れる機会浴などがあり、充実していると感じました。災害や事件が起きたときに、このように広く大きな施設ではどのように対応するかが課題だと思った。認知症の家族の会では、認知症の家族の方々の生の声を聞くことができました。どの方のお話も症状も完全に被る場合はなく、様々な悩みがあったが、みんな話すとすっきりしたような顔をしているように見えました。人に悩みを話し、共有することは一番大事なことだと思いました。

<9月13日> 長寿介護課の中で、戦傷病者及び戦没者遺族等の援護に関することや、拉致被害者の家族の方への支援など、介護とは違った方面の問題を担当する係があるのは意外でした。とても古く膨大な量の資料の中から探している資料を見つけ出し、誤りや変更

点がないか照合していく作業は、非常に根気がいる地道な作業だと思いました。エクセルで算出した値に関しても、資料の数値に誤りがないかどうか再チェックしたり、県庁で行われる試験の会場設営をしたり、様々な業務があることを身をもって体験することができました。

<9月14日> 100歳長寿者の方のお祝い行事に参加させていただきましたが、様々な気遣いや配慮が必要だと感じました。この行事は、県知事もいらっしゃるため、マスコミがたくさん来ていくつも質問をしたり、写真を撮ったりします。そのため、お年寄りの方が疲れてしまわれぬか、さらにマスコミへの対応など、滞りなく祝賀行事を進めるための努力がたくさん見られました。長寿者訪問が終わった後も、残り約470人の100歳長寿者の100歳を迎えられる方への訪問やマスコミからの質問への対応など、これからも忙しく業務をこなさなければならないのを見て、行政職には相当な責任とやらなければならないことがあると感じました。

4. インターンシップ研修を終えて

5日間という短い間でしたが、密度が濃い時間を過ごすことができました。「積極的に動く」という自分なりの目標を掲げて参加させていただいたインターンシップでしたが、やはりまだまだ自分から動けてないと感じることもありました。今の自分に何が足りないのか、今後どうやって改善していくべきか、将来やりたいことの見つめなおしなど、いろいろなことを考えることができました。これらの経験を大切にして、就職活動まで時間がある今、様々なことに積極的にチャレンジしていきたいと思っています。

最後に、インターンシップを受け入れてくださった愛媛県保健福祉部長寿介護課の皆様、お忙しい中貴重な時間を割いてたくさんの方のことを教えていただき、ありがとうございました。非常に親切にさせていただけて、とても感謝しています。この5日間で学んだことを、今後の学生生活で活かしていきたいです。本当にありがとうございました。

【78】愛媛県 えひめ国体推進局 国体競技式典課

〒790-8570

愛媛県松山市一番町 4-2 NTT コム松山ビル内

経済学部経済学科 3年次生 福井 仁美

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は2つあります。まず1つ目は、職場の雰囲気を知ることです。職場の雰囲気が自分に合うかどうかは就職先を考えるにあたって重要な要素だと考えており、就職先の参考にしたいと思いました。2つ目は、自分のスキルがどこまで通用するか確認することです。実際に働くことで社会における自分のビジネススキルがどの程度なのかを知ることができ、自分の強みと弱みを見つけて今後の課題にしたいと考えました。そして、これらの目的を通して今後の学生生活や就職活動に活かせるような経験を積み、自分のスキルアップにつなげたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が、愛媛県庁のえひめ国体推進局国体競技式典課を研修先として選択したのは、官公庁を進路先の一つとして考えていたからです。公務員の仕事が実際どのようなものか具体的に掴めていなかったため、このインターンシップを通して把握したいと考えました。また、来年開催されるえひめ国体の学生ボランティアに登録をしていたこともあり、この国体に携わる仕事を体験してみたいと思ったのがきっかけです。さらに国体競技式典課での研修内容にマニュアル作成補助がありましたので、パソコン作業をするという仕事内容が自分の研修目的にも合致するため選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月8日（月）～8月22日（月）【10日間】

日程	主な研修内容
8月8日（月）	業務説明、先催国体・大会の記録ビデオ視聴、式典会場視察
8月9日（火）	リハ大会調査補助、えがおダンス研修会視察、競技役員旅費算定補助
8月10日（水）	マニュアル作成補助
8月12日（金）	中央競技役員旅費算定補助、14日の打ち合わせ、リハ大会調査補助
8月14日（日）	情報支援Ⅴ研修
8月16日（火）	マニュアル作成補助、中央競技役員旅費算定補助

8月17日(水)	音楽部会の会議準備・出席・後片付け、役員旅費算定補助
8月18日(木)	中央競技役員旅費算定補助
8月21日(日)	リハ大会調査補助
8月22日(月)	中央競技役員旅費算定補助

まず、初日は研修を始めるにあたり、国体の進め方や式典課が行う業務概要の説明がありました。セキュリティーや皇室への対応など、天皇皇后両陛下を迎える側としての責任の重さを感じるとともに準備がどれだけ大切かを学びました。また、前例となる長崎国体をビデオ鑑賞したうえで、実際に式典会場となる陸上競技場等をくまなく視察することで、えひめ国体のイメージを自分の中で確立することができ、これから2週間仕事を行ううえでの気持ちを作れたと思います。

翌日の9日、12日、21日には、えひめ国体のリハーサル大会となる全国規模のハンドボール、バスケットボール、銃剣道の大会調査補助をしました。そこでは、今まで仕事をしてきた職員の方と自分の視点が全然違っていることに驚きました。仮設トイレ一つにしても、多くあればいいというものではなく会場の規模に適した分でなければいけないこと、設置器具一つ一つに費用がかかっており適切な設置となっているか、器具に不具合がないか隅々まで確認することなど、あらゆることを想定して準備をしなければならないことを学び、大変勉強になりました。課内でコミュニケーションが良くとれている印象があり、視察先でも現場の声を聞くために積極的に声をかけている職員の姿を見て、問題点や解決策を見つけ円滑に仕事を進めるためには、コミュニケーション力が不可欠であることを改めて感じました。

3日目の10日には初めての内勤となり、マニュアル作成補助などのデスクワークをさせていただきました。パソコン作業に自信があったものの、ワードとエクセルのバージョンが古いものだったので取り扱いに少し苦勞し、どのバージョンであっても対応できる力が必要であると感じました。いくつもの資料を突き合わせながら参加者人数をまとめていくというのは意外と大変で、何度も確認ながら訂正を繰り返したので多くの時間を要し、確実な事務処理といった点で自分はまだまだであると感じました。ただ、作業を続けるうちに対応できるようになり、素早く作業ができるよう工夫ができたのと、作業前に聞いていた印刷に時間がかかるという難点の解決策を見つけ職員の方に伝えることができたので、目標の一つでもあったパソコン能力の向上が図れたように思います。

14日には障がい者スポーツ大会課が実施する情報支援ボランティア研修会の運営の手伝いに行き、聴覚障害のことを学ぶことで障害の方とどのように関わっていくことが必要かを理解することができました。この体験を通して障がいに対する理解が深まったように思います。

また、17日の音楽部会の会議では、準備や後片付けだけでなく出席までさせていただき、配席など出席される役員の方への配慮を学ぶことができました。私は受付から会場までの役員の方の誘導を任されましたが、受付ばかりに気をとられていたため、玄関の外で待つ

ていらっしやる役員の方に気づかず、それに気づいた職員の方が役員の方を受付に誘導して下さいました。これは、受付の外にいらっしやるかもしれないという考えに思い至っていなかったことが原因であり、自分の甘さを痛感しました。目配り気配りが大事であることを身を持って体験することができ、このような重要な会議に出席させていただいたことはとても良い経験になりました。

4. インターンシップ研修を終えて

64年ぶり愛媛県初の単独開催となる国体を来年に控え、大会の成功に向けた本格的な準備が行われている国体競技式典課で実習をさせていただき、大変貴重な体験をすることができました。国体が間近に迫りリハーサル大会等で大変お忙しい中、様々な方に丁寧な指導をいただきました。とにかく迷惑だけはかけないようにしなければという気持ちで、始めは緊張と不安を抱えていましたが、職員の皆様に温かく迎えていただき2週間という期間があつという間に過ぎていったような気がします。

期間中、マニュアル作成等の実務のほかリハーサル大会の視察などにも同行させていただき、職員の方をはじめボランティアの方々の国体に対する熱意と意気込みを間近で感じることができました。正直、国体がこれほど大規模で多くの方の力によって成り立っていることを私は知りませんでした。国体に向けた準備の大変さを目の当たりにし、職員の方の豊富な知識と経験に基づいた的確な仕事ぶりに大変感銘を受けました。そして、これまで漠然としていた県職員の仕事のイメージが実際に体験することによって明確化したことと、働くことの厳しさと楽しさを教えられ自分の未熟さを痛感したことは、私にとって大きな収穫となりました。

県職員の仕事は県民のために働く責任のある仕事です。やりがいを感じながらも自分ができるのだろうか、それだけのやる気と知識を持てるのだろうかという懸念は改めて持ちましたが、この就業体験によって県職員の仕事をより身近に感じることは本当に良かったと思います。この経験をこれからの学生生活や就活に活かし、一回りも二回りも大きく成長したいと思います。

最後になりましたが、国体を通じた愛媛の競技力向上と、来県された選手をはじめ全国の方々に愛媛の良さを感じてもらえるような素晴らしいえひめ国体・えひめ大会になることを願っています。本当にありがとうございました。

【79】愛媛県 えひめ国体推進局 国体競技式典課

〒790-8570

愛媛県松山市一番町 4-2 NTT コム松山ビル内

経営学部経営学科 3年次生 濱本 花奈

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した理由は3つあります。1つ目は、働くとは何かに知ることです。働くことのやりがいや魅力について学び、具体的に働くという事について学びたいと思いました。2つ目は、社会人として必要なものは何かを知ることです。あいさつや礼儀、マナーなどを身に付け実際に研修先で生かせるように意識しました。3つ目は、私は接客のアルバイトをしており、事務の経験がありませんでした。なので、私にはどちらの仕事が自分には合っているのか適性を図るために参加しました。

2. インターンシップ研修先の選択

私がえひめ国体推進局国体競技式典課へのインターンシップ研修を志望した理由は、私もサークル活動で催し物を開催することが多くどのような手順を踏んで行うのか知り、今後のサークル活動に生かしていきたいと思ったからです。また、Word と Excel を使用すると記載されていたので Excel 関数を使用する機会があるのではないかと思ったからです。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月8日（月）～8月22日（月）

勤務時間：8時30分～17時15分

日付	研修場所	業務
8月8日（月）	国体競技式典課 県総合運動公園	業務の説明および補助 先進国体・大会の記録ビデオ視聴 式典会場視察
8月9日（火）	国体競技式典課 コミュニティーセンター 県武道館	中央競技役員旅費算定補助 リハ大会調査補助 えがおダンス研修会視察
8月10日（水）	国体競技式典課	マニュアル作成補助
8月12日（金）	国体競技式典課 ツインドーム	マニュアル作成補助 リハ大会調査補助
8月14日（日）	視聴覚センター	情報支援ボランティア研修

8月16日(火)	国体競技式典課	マニュアル作成補助
8月17日(水)	国体競技式典課	音楽部会の準備・出席・片付け マニュアル作成補助
8月18日(木)	国体競技式典課	中央競技役員旅費算定補助
8月21日(日)	ツインドーム	リハ大会調査補助
8月22日(月)	国体競技式典課	中央競技役員旅費算定補助

8月8日(月) 国体競技式典課・県総合運動公園

午前中は国体競技式典課がどのような業務を担当しているのか教えていただきました。国体や大会の概要を教えていただき、どのような構成で式典を行うのか、選手・観客の動線などを教えていただきました。式次第が細かい分刻みで行われており、数秒たりとも遅れないようにすることが重要だと教えていただきました。

午後から県総合運動公園へ行き、国体・大会の式典会場の視察を行いました。選手や観客の方の動線を確認したり、当日吹奏楽の生徒がどこに楽器を置くのかなど案となる場所の撮影をしたり、広さを測定したりしました。広くなったというテニスコートを見て、観客の方が応援する際に天候が悪くても支障がないかなど確認して回りました。実際に国体・大会が開催されるのは10月ということでそのことも考慮しながら視察を行いました。

8月9日(火) 国体競技式典課・コミュニティーセンター・県武道館

午前中はコミュニティーセンターでハンドボールのリハーサル大会調査補助を行いました。大会役員や学生ボランティアの動きを見ました。みなさん大会本番で自分の役割を果たせるようにリハーサルを行っていました。大会会場の外では飲み物を無料で配りお接待を行っていました。

午後から県武道館へ行き、えがおダンス研修会の視察に行きました。実際にえがおダンスにも参加させていただきました。生徒のみなさんが一生懸命踊っていたので、初めてでしたが頑張って踊りに参加させていただきました。その後、国体競技式典課にて、中央競技役員旅費算定補助を行いました。NAVITIME を使用して、各都道府県の県庁所在地から今治駅・八幡浜駅までのルートを検索し、距離が近く旅費が安いルートを検索しました。

8月10日(水) 国体競技式典課

1日マニュアル作成補助を行いました。あらかじめ Excel のシートを作成してくださっていたので、打ち込むだけでよかったのですが長い間パソコンを使用することがなかったのでとても目が疲れました。職員の方は自分で Excel のシートを作成し打ち込んでいるのだと考えるとかなりの労力と時間が注ぎ込まれるのだと知りました。

8月12日(金) 国体競技式典課・ツインドーム

午前中は内勤を行い、午後からツインドームへバスケットボールのリハーサル大会調査補助を行いました。会場は空調設備がないためとても暑く、所々に扇風機が設置してあるものの、選手をはじめ大会役員、学生ボランティアの体調管理が大切だと分かりました。国体・大会本番では試合結果を試合終了後 30 分以内に公表しなければいけないらしく、各担当との連携が非常に大切だと分かりました。この日は、実際に職員の方が使用してい

る調査の確認表をいただき、私たちが気付いたところも書き留めていきました。

8月14日（日）視聴覚センター

本町にある視聴覚センターで情報支援ボランティア研修に参加させていただきました。聴覚に障害のある方に対して行う情報支援を行っており、筆談や手話を教えていただきました。聴覚障がい者の方と接する際には自分自身が笑顔でいること、相手が何を求めているのか観察することが重要だと教えていただきました。

8月16日（火）

1日マニュアル作成補助を行いました。前回の国体・大会の資料をまとめていきました。Excelのシートを作成してくださっていたので、打ち込む作業で終わりました。

8月17日（水）

朝から音楽部会の準備で、会議室の片付け整理・整頓を行いました。会議にも参加させていただき、式典音楽隊が着用する服を試着させていただきました。今回は試作という事で、改善を行うため服飾デザインについて委員の方や職員の方が、よりよい服飾に仕上げするため話し合いを行っていました。

8月18日（木）

1日中央競技役員旅費算定補助を行いました。速算表と照らし合わせながら調べていきました。各都道府県から愛媛県各地の競技場まで4か所あり、とても細かく時間もかかる作業なので苦労されるなど感じました。

8月21日（日）

ツインドームにて銃剣道のリハーサル大会調査補助を行いました。バスケットボールのリハーサル大会とは作りが変わっていました。お昼の時間に居合わせたため、お弁当の配達場面に遭遇することができました。お弁当が傷まないように素早く冷蔵庫に保管し、必要な分だけお弁当受け渡し所に運んでいました。

8月22日（月）

中央競技役員旅費算定のために NAVITIME で調べたことを、Excel のシートに打ち込んでいきました。量は多かったですが、途中まで職員の方が作成してくださっていたのでほとんどがコピーして貼り付けの作業でした。私が打ち込んだ箇所の色を変更することで後から職員さんが確認しやすいようにしました。

4. インターンシップ研修を終えて

私はこのインターンシップを通して、2つのことを学びました。1つ目は、自分の仕事に責任を持ち仲間を頼ることです。仕事は一人で行っているものではなく、チームで行うものです。自分の仕事が遅れるとチームでの仕事が遅れてしまい、チームだけでなく取引先などにも迷惑がかかります。そのため、自分の仕事に責任を持ち不明な点があれば上司や仲間聞くことが重要だと分かりました。2つ目は、日々の行動を律することです。職員さん方は、言葉遣いが正しく何事にも臨機応変に対応していました。また、忙しい最中の電話対応も丁寧でその姿勢が身に染みているのだなと思いました。

最後になりますが、お忙しい中、研修を受け入れてくださったえひめ国体推進局の皆さま、丁寧にご指導していただきありがとうございました。新鮮な経験をさせていただきました。この経験を生かせるように学校生活をより充実したものにしていきます。

【80】愛媛県 公営企業管理局 総務課

〒790-8570

愛媛県松山市一番町4丁目4-2

経済学部経済学科 2年次生 岡本 佳奈

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は3つあります。1つ目は「仕事に対するやりがいを見つけれられるようになる」というものです。自然とその仕事に全力を注ぐことになりいい仕事ができるため、仕事にやりがいを感じられるようになることはすごく大切なことだと思います。2つ目は「社会に出て必要なことについて身をもって知る」というものです。就職活動までの大学生活を自分がどう過ごすか改めて考えるために、想像と理想のギャップを知る必要があると考えました。3つ目は「社会でのマナーを学ぶ」というものです。授業で習った敬語や動作をたくさん使ってきちんと自分のものにしたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私はまだ自分がどのような仕事をしたいのか、またどのような仕事をするのにむいているのかが分からないので、今までに経験したことのないようなことをしたいと思っていました。まず企業と公務員どちらにするかを決めるにあたっては、アルバイト等で企業の仕事には少しは関わることができるということで公務員にしました。次に、商品開発をするプロジェクトで伊予市役所の職員さんと接する機会があるので、県庁のお仕事の方が知りたと思いました。そして課所を選択するときには、簿記を勉強している最中でしたので、出納決算にかかわる仕事をさせていただける公営企業管理局に惹かれました。

3. インターンシップ研修の内容

1日目はまず職場の方々にあいさつしたのちに課所の説明を受けました。ここの課所は少し特別で、県庁の中でもここだけ税金に頼らず病院や電気、水道事業を通して資金を得ているということを知り驚きました。公務員の中でも少し企業寄りの側面も持つ、将来が決まっていない私にぴったりの職場でした。次に明日の会議の資料作りを行いました。これは私が想像していた通りの事務の仕事で、淡々とした作業でした。会議の会場設営もして、その後は減価償却計算書の整理を行いました。今日のところは実際に減価償却を行わずに、減価償却対象のものの資料がきちんとあるかどうかのチェックを行いました。その合間で決算書の説明を受けました。簿記の勉強をしていたのである程度のは理解でき

るだろうと思っていたのですが、実際にはもっと複雑で簿記 1、2 級のこともたくさん出てきたのもっと勉強が必要だと思いました。

2 日目はまず伝票を発行する作業から始めました。伝票が実際にどんなものであるか、どこにどんな情報が載っているか、1 つのものを購入するのに様々な資料が必要になってくることがわかりました。「事後調定」や「非課税、不課税」などの私が使ったことのないような言葉がたくさん出てきて、その言葉の意味を説明していただき知識が増えました。午後からは会議に出席しました。そこでは社会人が仕事をする時に使う適切な敬語、一般会計と公営企業会計の違い、収益的収支と資本的収支の違い、本局と実務担当者の考え方の相違があることを知ることができました。会議の後は減価償却計算書の整理の続きを行いました。今日は実際に減価償却をしました。金額が大きいものばかりで大変でしたが、職員の方がいてねいに計算方法を教えてくださったので戸惑うことなくできました。

3 日目は同じく減価償却計算書の整理や伝票を発行するという作業を行いつつ、畑寺発電所の見学にも行かせていただきました。中学校のときに使用していた教科書に載っていた図でだいたいの流れは知っていたのですが、実際に見るのは初めてでより一層公営企業管理局の仕事の内容が明確になりました。畑寺発電所のしくみ、そこで働く方々の仕事を知ることは直接財務の仕事には関係ないのかもしれませんが。しかし知ることによって「相手の立場にたって」相手からの要求に応えられたり、財務の見直しが行えたりできるのではないかと思います。

4 日目はまず定期預金等運用処理状況表を作成しました。さまざまな種類の資料からいろいろな情報を引き出しまとめる作業でしたので、情報収集力が試されました。預かり預金一覧表の作成も行い、パソコンを使った作業が多い日でした。自分のパソコンスキルに不安を覚えたので、大学生活の中でもっと使用して勉強しておかなければならないと思いました。愛媛県中央病院の見学もさせていただきました。病院の構造、デザイン、医療費を決めるのも公営企業管理局の 1 つだということを知り驚くとともに、多岐にわたる業務をこなしている県庁職員の方々を改めて尊敬しました。

5 日目は昨日の預かり預金一覧表を完成させて、就農先不明一覧分析表の作成に移りました。私は振込み人の名前の重要性があまりわかっていなかったのですが、説明を受けその重要性を知ることができました。最後の 1 時間は研修の振り返りとしてレポートを作成し研修担当者の方に提出しました。

4. インターンシップ研修を終えて

1 つ目の目的に対して、研修中常に自分がどのような気持ちを持っているかを確認しました。単調な作業が好きだと分かり、事務の仕事は自分に向いているのではないかと思います。担当者の方が職場の方々と話す機会を設けてくださり、それぞれ違った意見や考えをお持ちの方々の話を聞いて理解しようと心がけることで、自分の考え方や物事のとらえ方の幅が広がりました。2 つ目の目的に対して、知識不足のために仕事の説明を大まかにしか理解できなかつたりして、大学で学ぶことで満足してはいけなないと痛感しました。

今後は簿記などの資格取得に向けて勉強するなど、授業外の勉強にももっと力を入れていこうと思います。3 つ目の目的に対して、職場で行きかう適切な敬語をたくさん聞くことで以前より敬語になれることができました。立ち振る舞いもしっかりと観察でき、忘れないうちに実践して使いこなせるようにしたいです。

このように研修先の方々の多大な協力、配慮のおかげもあって事前に掲げていた3つの目的を達成できたのでとても良い研修となりました。

【81】愛媛県 中予地方局 地域政策課

〒790-8502

愛媛県松山市北持田町 132 中予地方局

法学部法学科 3年次生 梶原 裕太

1. インターシップ研修の目的

私が今回、インターシップ研修に参加しようと考えた理由は主に3つあります。1つ目は「積極的かつ目的意識を持って行動する」ことです。アルバイトで受け身になることが多かったのですが、研修についてはその延長線上にある就職となれば積極性が求められ、次は何をすればいいのかなどという目的意識も同時に持ち合わせていなければいけないと思ったからです。2つ目は「自分の中でその仕事にやりがいを見出す」ことです。やりがいを見出すことは自分を生かせる環境を選ぶことにつながり、公務員志望の私にとってはそれが志望動機になるからです。3つ目は「失敗を恐れず、注意を払って前向きに取り組む」ことです。どの職業にも失敗したらいけない業務があると思いますが、そのことに留意しながら与えられた役割をきちんと果たすことを心がけたいと考え、研修に臨みました。

2. インターシップ研修先の選択

私は近い将来地元（岡山県）に帰り、公務員（県庁職員または市役所職員）として働きたいという夢があります。では岡山県に戻って地元の自治体でインターンシップ研修をすればいいのではないかという人もいるかもしれませんが、私は今まで18年間高校までを岡山県で過ごしてきて直接的に地元の行政機関と関わることは少なかったですが、県は違っても一般的に行う行政サービスは同じだと思いました。それに加えて、地元の県庁や市役所ではこれまでに聞いたことがある取り組みをさらに詳しく知ることはできますが、行政では他県や他部署の取り組み・アイデアを参考にして構想を練ることも大切で、その点において自分の新たな引き出し（アイデア）を増やして、地元を魅力ある街にしていきたいという想いがありました。とりわけ、私は地域振興、観光産業という分野に特に興味がありましたので、この中予地方局地域政策課を選択することにいたしました。

3. インターンシップ研修の内容

<研修概要>

研修期間：2016年8月15日(月)～8月19日(金)までの合計5日間

研修日	研修内容	研修場所
8月15日(月)	オリエンテーション（スケジュール説明）、施策説明（地域政策課各3係より）、中予地方局庁舎見学、県庁訪問（広報広聴課から業務内容説明）	地域政策課、中予地方局庁舎、県庁
8月16日(火)	松前町役場訪問、えひめ国体・えひめ大会開催準備推進会議同席	松前町役場、県庁ドーム会議室
8月17日(水)	新ふる補助金概要説明、新ふる補助金ヒアリング及び質疑応答（久万高原町、東温市）、地域政策課文書作成事務説明、	地域政策課、4階会議室
8月18日(木)	県民世論調査サンプル抽出（作業）	松山市選挙管理委員会
8月19日(金)	県庁訪問（文スポ課、環境政策課、産業政策課、観光物産課から業務内容説明）、「愛媛の未来づくりプラン」推進懇話会同席	県庁、県議会文教警察委員会室

<研修に対する考察・反省>

初日は、まず愛媛県（職員）の根本的な部分にあたる愛媛県の人材育成についてお話があり、愛媛県の未来づくりを進めていくには「挑戦」する改革、「連携する」改革、「創造」する改革が必要かつ、そのような改革の姿勢を職員が共有することが大切だと学びました。その上で、普遍的に求められる職員像として「高い使命感と倫理観・遵守精神を具えた」職員があり、特に求められるものとして「県民の目線に立って考え、自ら行動できる」職員、「経営感覚を身につけた」職員、「創造的な政策を立案・実施・評価できる」職員といった職員像が挙げられていて、自分が思い描いていた職員像とのギャップに驚かされ、そこから県職員として理想・要求される職員像が少しずつ見えてきました。また市域政策課にある地域政策係と企画調整係、市長支援係という3係の担当者からの説明があり、各係の施策が理解できました。県の広報広聴課では県政学生モニターの運営に関して、始めた経緯やこれまでのアンケートへの回答結果、今後考えている課外活動など、自分が行っている県の活動を熱心により深く知る機会になりました。2日目は主に来年開催予定の愛媛国体における準備・連携の話し合いに松前町役場と県庁まで同行しました。2つの話し合いに同席し、松前会場では国体開催時により一層の人手不足、来場観客数が把握できないことによる売上が見込めないこと、松前町（愛媛県）を知ってもらい観光にどうつなげていくのか、といった地域課題の存在が分かりました。午後から県庁ドーム会議室で行われた話し合いには県庁や地方局の国体関連の部署の責任者が臨席し、国体に向けた取り組み状況をメインに共有・議論され、どの部署も必要な予算の確保に頭を悩ませていました。

3 日目は最初に新ふる補助金の概要説明を受け、その後実際に新ふる補助金のヒアリングおよび市町地域振興施策に関する質疑応答の場に同席しました。このときは久万高原町と東温市の担当者が来て申請書類の説明があり、それに対して地域政策課の担当者からあらかじめ定めのある要件を満たしているか、満たしていない場合には実施期間、事業内容、数値目標などを明確にするように指示がされていました。また、地域のPRになるにしてもどこまで経済効果が見込めるかが新ふる補助金交付の1つのポイントになると分かったので、1つ収穫になったように思いました。4 日目は県民世論調査のサンプル抽出作業で1日終わるスケジュールでした。作業前日にこれに関する説明を受けていましたが、実際の作業は思うように進まず、序盤に起番号や抽出間隔の確認を誤り何度か転記ミスをしてしまいましたが、自分の持ち分の半分を超えた段階でやっと要領をつかめました。また、与えられた作業量をしっかりこなせたと思います。ただ、反省点としては前日に説明を受けていたので、自分なりに効率的なやり方を考えられていたら、作業を誤ったり最後に終わったりするようなことはなかったはずで、最終日(5 日目)は朝から県庁へ移動し、あらかじめ知らせていた質問を中心に業務内容を産業政策課のスゴ技係・貿易海運係、文化・スポーツ振興課、観光物産課の各担当者から答えていただき、私がそれについてさらに聞いていきました。その中で、私は観光物産課の係長の方から説明していただいた香川・愛媛せとうち旬彩館(アンテナショップ)の運営・役割等のお話が、自分の今所属している学生団体の活動に近いところがあり、入庁したら取り組みたい業務の1つだと感じました。

4. インターンシップ研修を終えて

私は今回、公務員として、自治体職員として、県職員として働く面での大切な事をいくつか学ばせていただきました。私は主に地域政策課の地域振興係の職員の方に同行・同席して県職員や他の自治体の方とお話させてもらう機会が多かったです。たとえば松前町役場国体推進課の担当者との話し合いでは松前会場で国体を運営するにあたり松前町職員だけでは人手不足、地域のPR不足、地元の業者だけでは出店に限界があること、地元の観光にどうつなげていくのかといった小規模自治体だけでは限界がある問題に県(中予地方局地域政策課は愛媛県庁の出先機関)が手を差しのべて、中予地方局の視点から「中予地域のもの(特産品、名物など)を一か所に集めてPRしたほうが松前町に来た人が他の中予地域の物を買ったり、他の中予地域に足を運んだりできる」というように案を出して、それに再度松前町が大会主催自治体の立場で、提案に応じていくといった、頭を悩ませながらも双方が知恵を出し合い議論に議論を重ね、より良いものを作っていく関係が行政では必要だと感じました。そのようなことが県庁会議室で行われたえひめ国体・大会開催準備推進班会議でも見られました。また、県庁の興味のある課に話を聞きに行かせてもらった際にはどの課・係にも共通して県職員は様々な場や環境を用意することが役割だと教わりました。また、私が心掛けていた1日1回は若手職員の方から学生時代の話聞くことも実行できました。充実した今後につながる研修期間となりました。ありがとうございました。

【82】愛媛県 中予地方局 産業振興課 商工観光室

〒790-8502

愛媛県松山市北持田町 132 中予地方局

人文学部社会学科 2年次生 仁久保 佑美

1. インターンシップ研修の目的

私が、インターンシップ研修を受けた目的は、2つあります。1つ目は、自信がなかった自分を変えるためです。初めてインターンシップの説明会に参加したのは、私がまだ1回生のときでした。その頃の自分は、これといった特技や資格もなければ、熱中していることもなく、ただ漠然とした毎日を過ごしていました。しかし、インターンシップの説明会に参加して、1から将来を考え直した時に、今の自分のままでは、周りの人に勝てる強みや自信が全くないことに気づき、とても焦りました。そして、このままの自分ではいけないと考え、インターンシップ研修に参加して、他の人に負けない強みを持つようと思い、参加しました。2つ目は、愛媛県の地域勉強をするためです。私の将来の夢は、愛媛県の地域に貢献できる仕事に就くことです。そのため、インターンシップ研修を通して、愛媛県のことや、地域・まちづくりのことを1から考え、勉強しておこうと思い、参加しました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、先程でも述べたように、将来、愛媛県の地域に貢献できる仕事に就きたいと考えています。そのため、愛媛県の地域活性化、まちづくりを行っている研修先に行きたいと考えていました。また、観光の分野にも少し興味を抱いており、今回のインターンシップ研修先を選択する際、説明会でのお話や、下調べのなかで、地域に対して近い距離で寄り添い、深く関わっていると感じた、愛媛県の中予地方局、産業振興課・商工観光室を選択させていただきました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：9月5日～9月11日（7日間）

研修先：愛媛県中予地方局産業経済部産業振興課商工観光室

・9月5日（研修1日目）

愛媛県のすご技・味・モノ企業の研究、景気動向調査企業訪問（帝人・TMT）

研修初日であるため、まず職員の方々に挨拶をさせていただきました。挨拶は授業でた

くさん行っていたため、スムーズに笑顔で出来ました。職員の方々は、優しくてあたたかい方ばかりで、とても安心しました。午前中は、午後から訪問しに行く予定の企業（帝人・TMT）の下調べを行ったり、明日行われる経済懇談会に参加する企業の研究、下調べを行ったりしました。私は生まれも育ちも愛媛だったため、愛媛県のことは知ったつもりでいましたが、まだまだ知らない企業がたくさんあり、素晴らしい商品がたくさんあることを知りました。研修に参加していなかったら、こんなにたくさん企業の企業について勉強する機会はなかったと思うので、知識・関心が広がったきっかけになり、良かったと感じます。午後からは、午前中下調べを行った帝人とTMTの景気動向の調査をしに行きました。訪問途中にも、さまざまな企業を通りすぎ、「この企業はこんなものを作っているのだよ」と職員の方に教えていただきました。なかには、非常に大規模な企業もあり、思わず声が出るほど、その大きさに驚きました。景気動向調査は、為替や経済の勉強をしていないと分からない話ばかりで、自分は話についていくことができませんでした。これでは駄目だと思い、別日に違う企業の景気調査予定があったため、家で勉強しておこうと思いました。

・ 9月6日（研修2日目）

会議室準備、第2回えひめ経済懇談会出席、新聞記事切り抜き、イベント準備、中予地方局の取り組みについて、封筒にはんこ押し、ポスター貼り換え

この日は、午前中に第2回えひめ経済懇談会という大事な会議があり、私も特別に参加させていただくことになりました。まず会議室の準備を手伝いましたが、自分よりも職員の方々が、スムーズに素早く動いていて、自分ももっと周りに気を配っていかないといけない、と反省しました。会議には、知事など愛媛県の偉い方々が出席しており、緊張感がありました。会議に出席して感じたことは、それぞれの企業で、常に試行錯誤しながら、よりよくなるように考えており、いつまでも安定することは難しいということです。午後からは、新聞記事の切り抜きや封筒に、はんこを押すなどの細かい作業を任せられましたが、小さな作業でも1つ1つ丁寧にすることを学びました。また、中予地方局の取り組みについて学び、イベント開催までの経緯の大変さを知りました。

・ 9月7日（研修3日目）

局予算案会議出席、イベント準備、明日の景気動向調査企業研究

午前中は、まず局予算案会議に出席させていただきました。愛媛県の何年先ものことを、職員の方々が考えて話し合っており、よりよい愛媛になるように、多くの方たちが活動していることを知りました。残りの時間は、土日に行われる、媛のおもしろうどん市というイベントの準備作業を行ったり、明日訪問する、景気動向調査企業（トラック・コスモ）について下調べを行いました。また、景気の話についていけるように為替や経済の勉強も行いました。

・ 9月8日（研修4日目）

景気動向調査企業訪問（トラック・コスモ）、シール貼り、ホチキス外し

午前中は、トラックとコスモへ景気動向調査をしに行きました。少し景気や為替の勉強をしていたので、前回よりは話の内容を理解することができました。しかし、まだ完全に

話についていくことは出来なかったため、これからさらに勉強していこうと思いました。企業の方のお話の中で、これからは女性が活躍する職場になると話されているのを聞き、私も将来、頑張っていこうという気持ちになりました。午後に行ったホチキス外しは、始め1つ外すのに結構な時間がかかっていましたが、回数を重ねるうちに、徐々に上手になっていくことがとても嬉しかったです。

・9月9日（研修5日目）

新聞記事の切り抜き、ホチキス外し、イベントの下見・準備

午前中は、昨日の続きでホチキスを外したり、新聞記事の切り抜きを行いました。午後からは、明日、明後日行われる媛のおもしろうどん市の下見・準備を行うため、中山町に行きました。しかし、体調が良くなかったため、あまりお手伝いをする事ができませんでした。体調に気をつけることも仕事において1つの大事なことなので、しっかり休息して、イベントでは迷惑をかけないようにしたいと思いました。

・9月10・11日（研修6・7日目）

媛のおもしろうどん市準備、販売手伝い、片付け

この2日間は、中山町のクラフトの里という所で、媛のおもしろうどん市というイベントに参加させていただきました。中島のみかん、久万高原町のよもぎ、佐礼谷のトマトを使った3色うどんの販売のお手伝いで、本当にたくさんの地域の方々と触れ合うことができました。自分自身も回数を重ねるごとに周りに気が利くようになり、スムーズにお手伝い出来るようになりました。たくさんの方とお話ができ、うどんや特産品も頂いて、いっぱいのお愛を感じられたイベントとなりました。

4. インターンシップ研修を終えて

1週間だけのインターンシップ研修でしたが、想像以上に自分に得られたものは大きかったです。まず、愛媛県のことについて考え、知る時間になったこと、自分がやはり地域に関わる仕事が好きだということ、そしてなにより、研修先の職員の方々や、地域の方々の優しさ、あたたかさ、愛です。この1週間は職員の方もなかなか経験できない仕事が詰まった7日間だったそうで、貴重な時間を私の研修期間に選んでくださりました。だからこそ、愛媛県の良さをより学ぶことができたのだと思います。この研修で、自分の弱みも強みも発見することができ、前向きで明るい自分に成長することができました。職員の方々が本当に優しく、あたたかいお人柄で、数多くの部署があるなかで、商工観光室を選んで本当に良かったと思います。感謝しかないです。自分を受け入れてくださり、本当にありがとうございました。

【83】愛媛県 教育委員会 美術館

〒790-0007

愛媛県松山市堀之内 美術館

法学部法学科 3年次生 山脇 優里

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップ研修での目的は2つあります。1つは、「働く」とはどのようなことかを知ることです。学生が考えている「働く」と社会人の「働く」とでは違うと思いました。その差を知ることによって、就職後に後悔することのない就職活動ができると考えました。2つ目は自分で、できること、できないことを理解することです。働く上で自分は何ができて何ができないかをインターンシップに参加することで知っていきたいと思いました。そして、できることは伸ばしていき、できないことは、今後の学生生活でどのように克服していくかをしっかり考えたいと思いました。この2つの目的を達成するために自分から進んで行動していこうと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は、第1希望だった企業に落ちてしまい、インターンシップ先を悩んでいました。そのとき目にとまったのが、美術館でした。今まで、何気なく利用していた美術館ですが、専門的な学芸員以外にも多くの業務があると思いました。しかし、これまでは利用者の視点でしか美術館を見ていませんでした。展示の仕方をそのように決めるか、学芸員以外にどのような仕事があるのか、美術館全般について知りたいと思いました。

また、学生生活も残り少なくなり、就職活動絵の不安も大きくなってきました。このインターンを通して、多くのことを学び、今後の就職活動に活かしていきたいと思い選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間 9月14日(水)～9月17日(土)の4日間

9月14日(水)	館内見学、講座の手伝い、作品整理補助
9月15日(木)	広報活動補助、館内プログラム準備(コラグラフ下準備)
9月16日(金)	作品保存の説明、監視業務等の体験、「いつだって猫展」の準備
9月17日(土)	チラシ折りとチラシ配り、土曜講座補助(ブータンレクチャー)、土曜

	講座片付け、 館内プログラム(コラグラフ下準備)
--	-----------------------------

9月14日(水)「館内見学」

美術館の裏側や作品を保管する貯蔵室を見学することができました。展示室では、常展とブータン展を見せてもらいました。作品についての話や、展示する作品によって、展示する環境が変わることを教えてもらいました。いつもはお客さんとしてでしか見たことがなかった美術館を様々な角度で見ることができました。

「作品保存補助」

真鍋博さんが朝日新聞に載せていたイラストの原画整理をお手伝いしました。Excel を使い原画に使われた素材や原料や原画のサイズを入力する作業でした。学芸員さんに原画をルーペで見させてもらったりもしました。

9月15日(木)「広報活動補助」

午前中は、今やっている「ブータン展」のチラシと割引券と「いつだって猫展」のチラシ、ポスターを外に出て、お店においてもらえるように頼みに行くお手伝いをしました。「いつだって猫展」ということで、猫や動物と関わりのあるペットショップや、猫カフェ、動物病院といったようなところを中心に回りました。最初は、緊張してうまく、喋ることができませんでしたが、何件も回るごとに慣れていき緊張せずにお問い合わせすることができました。2時間ぐらい歩いて、8件ぐらいのお店を回ることができました。午後は、ブータン展のチラシと割引券をホッチキスで止めて、三つ折りにする作業をしました。

「館内プログラム準備 (コラグラフ下準備)」

来月、地元の中学生在が体験するコラグラフの下準備のお手伝いをしました。厚紙に水分に強くなる塗装するお手伝いでした。美術館は、見にくるだけではなく様々なことを体験したり教えてくれたりする場だということを知ることができました。

9月16日(金)「作品保存の説明」

監視業務を体験するにあたって、作品をどのように保存するのか、展示室で、お客様に協力してもらうことなどを教えてもらいました。美術館内で、気をつけることはたくさんあり、どれも美術品を一番に考えられているものでした。例えば、美術館は飲食禁止です。これは、飲食をしていると喋った時などに唾が飛んだり、こぼしたりして、作品を汚してしまうかもしれないということと、飴など糖分を含んだ唾液だと蟻といった虫をひき寄せってしまうのでその被害から作品を守るために禁止するということがわかりました。他にも、携帯電話の使用禁止です。携帯電話にはカメラ機能も付いており、使用しているところを見ると、カメラを使っているのかどうか分からないために使用自体も禁止しているそうです。また、美術館は、絵画など美術品を見る場所なので、携帯電話等を使いながらではなく、しっかりと見てもらうためだとも聞きました。

「監視業務等の体験」

最初は、展示室の椅子に座り展示室の監視を1時間30分ほどしました。その後、総合

案内所に立って駐車場のスタンプを押したり、展示場所をご案内したりしました。

「いつだって猫展の準備」

いつだって猫展で、子供たちに遊んでもらう、猫に服を着せて撮影ができるセットを作りました。実際に展覧会で使うものを作るお手伝いをできたことはとてもうれしかったです。

9月17日（土）「チラシ折りとチラシ配り」

市駅まで行きチラシ配りをしました。チラシを受け取ってもらえないことも多かったですが、たくさんの人にブータン展について知ってもらえたと思います。

「土曜講座補助（ブータンレクチャー）」

実際にブータンに行ってきた学芸さんのお話を聞きました。ブータンの暮らしや文化について体験を交えながら話して下さい、とても面白かったです。

4. インターンシップ研修を終えて

今回のインターンシップの目的にしていた2つのことをしっかり達成することができたと思います。1つ目の学生と社会人の「働くこと」の違いです。中学校の先生だった方が美術館に移動になったという話を聞いて、もともと自分がやりたかったこととは違うことをしているのに、働き続けることができるなんてすごいなと思いました。学生が考えている「働く」は、夢や理想であり、社会人の「働く」は、生活のために働くということだということ学びました。

もう1つは、自分のできることできないことを知ることです。インターンシップをしていて、自分のコミュニケーション能力の低さを感じました。美術館の学芸のみなさんはとても優しく、話しかけてくれたのですが自分から質問をしたり、自主的な行動をとったりがあまりできなかったように思います。今後の学校生活ではもっと様々な人と関わることのできるボランティアなどの課外活動をしていきたいと思いました。他にも、言われたことをやるのではなく自分からやれること探すべきだったと思いました。今回のインターンシップでもすべて受け身になってしまっていたように感じます。社会の中で自分ができることはほとんどなく、できないことばかりでした。今回そのことを知れたことは今後、社会に出る上でとても勉強になったと思います。

今まで美術館といえば絵を見るだけといったイメージでしたが、今回のインターンシップを通してそれだけではないということを知ることができました。インターンシップを受け入れてくださり本当にありがとうございました。

【84】愛媛県 南予地方局 地域政策課

〒798-8511

愛媛県宇和島市天神町 7-1

経済学部経済学科 3年次生 泉 美桜

1. インターンシップ研修の目的

私は将来、人や地域に貢献できるような仕事に就きたいと考えています。そのため、今回のインターンシップで、地域に行政サービスを提供する、公務員の仕事を体験したいと思い、研修を志望しました。また、この研修を機に、社会で通用するビジネスマナーを身に付けられたいと思い、インターンシップに臨もうと思いました。今はまだ「働く」というイメージが曖昧であるため、少しでも社会に近いところで体験したいと思ったのも、研修を受けたいと思った目的です。その上で、今の自分に不足している能力や課題を発見し、残りの学生生活で身に付けたり、改善したりする足掛かりにもしたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

目的でも書いたように、私は、今までお世話になってきた人や地域へ何かしらの手助けや関わりを持てるような仕事をしたいと考えています。そのため、公務員の仕事に対して強い興味・関心がありました。同時に、ゼミの活動で地域経済やまちづくりについて研究しているので、今の学びを生かせる、「南予地方局」の「地域政策課」を選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：9月9日(金曜日)～9月13日(火曜日) 5日間

日程	研修内容
9月9日(金) 9:00~17:15	○オリエンテーション ・南予地方局とは ・局内見学 ○市町支援系の業務体験 ・ラスパイレス指数 ・管内市町初任給基準 ・管内市町給与算出法 ・野村高校の主権者教育講座に関する資料の拝読

9月10日(土) 8:30~17:15	○「四万十・南予横断 2RIVER VIEW Ride 2016」前日 ・イベント物品の運搬・搬入手伝い ・サイクリングコース確認、清掃
9月11日(日) 7:00~15:45	○「四万十・南予横断 2RIVER VIEW Ride 2016」当日 ・みきゃんの手伝い ・スタートのクラッカー持ち ・VIEW スポットでの参加者の撮影補助 ・サイクリスト向け補給食アンケート回収手伝い
9月12日(月) 8:30~17:15	○企画調整系の業務体験 ・イベント参加者アンケートの集計
9月13日(火) 8:30~17:15	○地域振興系の業務体験 ・「新ふるさとづくり総合支援事業」成果報告書の監査 ・「結婚活動支援事業」中間報告書の確認

南予地方局地域政策課は、「市町支援係」、「企画調整係」、「地域振興係」、以上3つの係に分かれており、5日間でそれぞれの係を体験させて頂きました。

【市町支援係：1日目】

初日は、主にエクセルを使った作業で、ラスパイレス指数、管内市町初任給基準、給与算出法を整理してまとめました。ラスパイレス指数とは、国家公務員と地方公務員の基本給与額を比べるためのものです。実際の数値を見せていただき、客観的に公務員の給与を捉えることができました。

【企画調整係：2~4日目】

2日目は、翌日に控えたイベント「四万十・南予横断 2RIVER VIEW Ride」という、サイクリングイベントの準備のお手伝いを行いました。具体的には、イベント用品の運搬や搬入、そして、「道の駅みま」から「道の駅あぐり窪川」までの往復約172kmのコースの確認と清掃を行いました。当日参加されるサイクリストたちが、安全に走行できるように道路を整備しました。3日目は、イベント当日ということで、みきゃんの補助やスタートの際のクラッカー持ち、イベント参加者の写真撮影の補助、サイクリストの補給食アンケートの呼びかけを行いました。4日目は、イベントで実施された、参加者のアンケートの集計を、エクセルを用いて行いました。

【地域振興係：5日目】

最終日は、「新ふるさとづくり総合支援事業」の成果報告書の検査と、「結婚活動支援事業」中間報告書の確認を行いました。「新ふるさとづくり総合支援事業」は、県境夏まつり「一本松」の成果資料の確認のため、愛南町へ同行させて頂きました。

4. インターンシップ研修を終えて

初日は緊張しており、なかなか環境に慣れることができませんでした。そのため、任された仕事をこなすだけで、受け身の姿勢でいることが多く、惜しいことをしたと感じました。しかし、職員の皆さんが温かく接してくださり、その日の勤務は終わることができました。1日目は、エクセルでの作業が大半で、基本的なパソコンスキルはこれからの社会で働く上で、必要不可欠だと分かりました。まだパソコンの知識は不十分であると痛感したため、今後更に伸ばしていけるよう、日頃からパソコンに向かう習慣を持ちたいと思います。2日目以降は、なるべく自分から積極的に動けるようにと、自ら質問して次の行動に移せるように心がけました。イベントでサイクリストが落車してしまう危険性があるために行ったコースの清掃活動は、日頃イベントの晴れ舞台では見えない努力が隠されているのだと分かりました。3日目の、「四万十・南予横断 2RIVER VIEW Ride」には実際にスタッフとして、イベントに関わらせていただきました。参加しているサイクリストの方々笑顔を見ていると、前日の準備からしか携わっていない私も、感慨深いものを感じました。長い期間、企画や準備を行ってきた担当の職員さんにとっては、それ以上に思入れ深いものがあるのではないかと考えると、やりがいは一入なのではないかと考えました。参加者のアンケート集計をしたときにも、参加した方々より、多くの感謝の意見が寄せられており、この仕事のやりがいは至るところに隠されているのだろうと思うと、大学卒業後はこの仕事を実際にしたいと感じました。イベントを通じて参加者の方に、再度南予に来てもらえれば、地域活性化につながるとも思いました。それから、こういった規模のイベントでは、迅速な報告・連絡・相談が大切だと実感しました。社会人は、この3つができるのは当たり前であるので、当たり前のことを当たり前のように、今後確実にしていきたいです。そして、愛南町での「新ふるさとづくり総合支援事業」の検査は、この事業の課題についてもお教え頂き、まだまだ地域振興するためには様々な制約があるのだ、と実感しました。もっと自分の住んでいる県の制度を知って、貢献できるような人材になればと思います。

最後になりましたが、大変お忙しい中、研修を受け入れてくださった南予地方局地域政策課の皆さまには本当に感謝しております。5日間、ありがとうございました。

【85】愛媛県 教育委員会 高校教育課

〒790-8570

愛媛県松山市一番町4丁目4-2

経営学部経営学科 2年次生 乙島 ゆづき

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップ研修の目的は主に3つあります。

1つ目は、実際に働くことで業務内容や職場の雰囲気を知るためです。分からないことをすぐに質問したり、職員さんの良いところをたくさん発見したりすることで、自分の力にしていきたいと思ったからです。2つ目は、行動力をつけるためです。研修中は指示された以上のことを自分で判断し行動していきたいと思ったからです。3つ目は、これからの大学生活で自分が何をすべきなのかを見つけるためです。職員さんの良い所を観察することで、私に足りないことを探そうと思ったからです。

2. インターンシップ研修先の選択

私がインターンシップ研修先で学校事務を選択した理由は主に2つあります。

1つ目は、私が高校生時には学校事務に関わる機会が少なかったため、実際行くことで業務内容や人との繋がりを知りたいと思ったからです。

2つ目は、地元であるということです。私は、就職先は地元が良いと考えているため少しでも、愛媛県の教育環境や施設などの知識が増やせると思ったからです。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月29日(月)～9月2日(金)

日程	研修内容
8月29日(月)	校長先生・教頭先生あいさつ、職員会議、定時制職員室あいさつ、文書処理、証明書事務、電話対応、来客者対応
8月30日(火)	電話対応、来客者対応、文書処理、お茶出し
8月31日(水)	電話対応、来客者対応、文書処理、提出書類等確認票
9月1日(木)	電話対応、来客者対応、文書処理、提出書類等確認票、証明書事務
9月2日(金)	職員会議、電話対応、来客者対応、文書処理、提出書類等確認票、お茶出し

・職員会議、定時制職員室あいさつ

インターンシップ研修初日の、職員会議では学校の先生方に軽く自己紹介をさせて頂きました。学生の立場では見ることができなかった職員会議に参加してみて気が付いたことがありました。職員会議は 10 分しかないのですが、先生方の素晴らしい連携があるからこそ、次々と要件が伝えられているのだと気が付きました。また、配慮が必要な学生の伝達の際には、授業ではどのようなことに特に気を付けてほしいかなどを詳細に伝えられていました。このように、見えないところでも先生方は学生を支えているのだなと感じました。

定時制職員室でも自己紹介させて頂きました。学生の頃は一度も入ったことがなかったのですが、入ってみるととても和やかな雰囲気のある職員室で学生が気軽に入りやすそうだなと感じました。

・文書処理

文書処理では、まず届いた郵便物を主に先生宛・進路宛・同窓会宛・事務室で処理の 4 つに分類します。そのうち事務室で処理の書類は中を確認し、回覧のはんこや日付印などそれぞれの書類に必要な印鑑を押します。そして、コンピューターの決まった形式に必要な事項を入力し印刷してファイルにとじていきます。この作業は覚えることが多く、教えるには大変にも関わらず、職員さんは初日から毎日丁寧に教えてくださいました。そのおかげで、将来もしこのような仕事をする際には必ず力になると感じました。

・証明書事務

証明書事務は、在校生や卒業生に様々な証明書を発行する事務です。私の研修中にはこの仕事は 2 回しかなかったのですが、時期によってはたくさん来る時もあるそうです。この作業も覚えることが多くあります。特に卒業生用で委任の場合や本人が海外におられる場合などの処理は複雑です。

・電話対応

学校にかかってくる電話はすべてまず事務室で受けます。様々なところからかかってくるため頻繁に電話対応はあります。初日から電話対応を教えて頂いたのですが、最初はとても緊張してしまいなかなかとる勇気が出ませんでした。また、職員さん方の反応はとても素早く全く追いつけませんでした。しかし、私は授業で電話対応を習ったり、アルバイトで電話対応したりしていたため慣れるのは早かったように感じます。私が緊張していたら、相手の人を不安にさせてしまいます。転送を切ってしまうたり、間違えて違うところにつないでしまったりとミスは多かったのですが事務員さん方がうまくフォローしてくださったり、電話対応のアドバイスをくださったり優しく対応してくださいました。そのおかげで、電話対応はすべて私がとろうという目標を持つことが出来ました。就職したら、どこの職場でも電話対応はできて当然のこととみなされると思います。この研修で何度も

電話対応をしてきた今の私なら、自信をもってできると思います。

・来客者対応

来客者対応も電話対応と同じで、学校に来られるお客様はまず事務室で対応します。そのため、事務室の対応はそのお客様にとっての学校の第一印象となります。素早く丁寧な対応が大切だと感じました。

・お茶出し

事務室では、校長先生や来客の方に臨機応変にお茶出しをします。また、年に1度開かれる事務長会がたまたま今年は本校で行われたため、お茶出しのお手伝いをさせて頂くことができました。

4. インターンシップ研修を終えて

インターンシップ研修を終えて、私は自分なりに成長を感じることが出来ました。最初から丁寧に教えてくださったり、どんな質問にも優しく対応して下さったりした事務員さん方や、頑張れとたくさんのお声をかけて頂いた先生方のおかげです。今回のインターンシップの目的としていたことも達成できたのではないかなと思います。学生の立場では知らなかったことにも気が付くことが出来ました。例えば、学校事務はどちらかというと、学生よりも外部の方や先生とのかかわりの方が多くありました。しかし、廊下で学生とすれ違った時には元気の良い挨拶を聞くことが出来るので、毎日元氣がもらえる仕事だなと感じました。また、学生の視点で見る先生方と、仕事でかかわる先生方はやはり違って面白いなと感じました。

迷惑をおかけするかもしれないにもかかわらず、責任ある仕事を任せて頂き感謝しております。たったの5日間でしたが、とても充実していました。お忙しい中研修を受け入れてくださった新居浜西高校事務室の皆さん、本当にありがとうございました。これからの大学生活では、事務員さん方のような気付きが早い、親切的な社会人になれるように頑張ります。

【86】 国立大学法人愛媛大学 図書館

〒790-8577

愛媛県松山市文京町3

人文学部社会学科 2年次生 芳竹 凜

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップの目的は、2つあります。1つ目は、働くということを知り、将来をイメージすることです。社会人として働く人を実際に見て、体験することで、「働く」ということはどういうことかを学びたいと思いました。2つめは、社会人としてのマナーを身につけるということです。社会人に必要なマナーを知り、身につけることで、2年後の就職活動に役立てたいと考えました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は将来、公務員や、公務員に近い職業への就職を希望しています。6月11日の合同説明会で大学職員の方にお話を聞き、国立大学は地域に開かれた場所であるという点と、学生を陰で支えることに喜びを感じるという点に魅力を感じました。図書館は、今まで考えたことのない分野でしたが、あえて挑戦してみることで、自分の可能性や視野を広げたいと考えました。また、図書館の一員として、自分で企画した展示をさせていただけるという点にも興味を持ち、図書館事務課を選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間 8月22日（月）～9月2日（金）【土日を除く10日間】

研修時間 8:30～17:15

日程	研修内容
8月22日（月）	研修生受け入れ式 愛媛大学ミュージアム見学、挨拶回り
8月23日（火）	総務チーム、情報サービスチーム、サービス企画チーム業務説明
8月24日（水）	学術情報チーム業務体験 展示企画作業（原議書、企画書作成）
8月25日（木）	資料整備チーム【雑誌】業務体験 展示企画作業（ポスター、Twitter投稿案、HP投稿案作成）
8月26日（金）	資料整備チーム【図書】業務体験 研修生相互の情報交換会

	ILL 業務体験（本、論文の依頼作業）
8月29日（月）	展示企画作業（本のタグ付け作業、リスト作成、HP お知らせ用ファイル作成）→決裁を回す ILL 業務体験（到着物処理作業）
8月30日（火）	アピールワーキング（働く応援コーナーPOP作り） プレゼン発表資料作成
8月31日（水）	展示企画作業（ポスター完成、貼り替え、本とPOPの展示）
9月1日（木）	プレゼン発表練習、修正 BBS メール、学内掲示板投稿
9月2日（金）	修了証交付式（成果報告のプレゼン発表会）

※開館準備、閉館準備（清掃等）は毎日行った。

※カウンターでの貸出・返却作業、蔵書点検は必要に応じて随時行った。

【総務チーム：8月23日】

ここでは、会議の調整、会計、職員の勤務時間や施設の管理など幅広い業務が行われていました。職員の方にお話をお伺いすることができ、離職率が少なく、女性が働きやすい職場であること、職員の研修が手厚く、スキルアップにつながることに魅力的だと感じました。また、家事や趣味とも両立されており、働く姿がイメージできました。

【情報サービスチーム：8月23日】

ここでは、カウンターでの本の貸出、返却作業を体験しました。また、本があるべき場所にきちんと置かれているか1冊1冊バーコードで読み取っていく、蔵書点検という作業も行いました。体力と根気の必要な作業でしたが、本の状態を把握する、図書館の大切な業務だと感じました。

【学術情報チーム：8月24日】

ここでは、学生アルバイトの方の電気錠の新規登録と、紛失された学生証の利用停止の手続きを行いました。このチームでは、他のチームと比べて本に直接関わることは少なかったですが、大量の個人データを管理する責任ある業務を行っていると感じました。

【資料整備チーム（図書・雑誌）：8月25、26日】

ここでは、雑誌のデータ登録や、寄贈図書の受け入れ作業を体験しました。本をOPACに登録し、不正持ち出し防止の処理を行いました。利用者の方が本を利用できるように、とても意味のある、大切な業務だと思いました。

【サービス企画チーム；配属チーム（毎日）】

ここでは、ILL 業務を体験し、他大学の図書館への本や論文の依頼作業と到着物の処理を行いました。また、図書館の展示を自ら考え企画しました。原議書、企画書、ホームページやTwitter、学内掲示板の投稿案、チラシやポスターなどを作成し決裁に回しました。

ポスターの文字の大きさや背景の色、言葉の使い方など何度もアドバイスをいただき、本当に良いものを作るためには人との協力が何よりも大切だと身をもって感じました。今回私は、夏休みらしく「旅行に行こう」をテーマに、日本の観光地や世界遺産、英会話など、旅に関する本を集めて展示しました。机とパネル1つでも、インターンシップで学んだことが詰まった思い入れのある空間なので、展示が完成して、本を手にとってくださっている利用者の方を見たとき、本当に嬉しく思いました。自ら考え、やりとげる達成感を味わえたことは、このインターンシップでの大きな収穫であり、良い経験になりました。

【アピールワーキング：8月30日】

上記の5つのチームとは別に、アピールワーキングにも参加させていただきました。アピールワーキングとは、チームの枠を超えて意見を出し合い、図書館の問題解決を図る取り組みです。今回は、働く応援コーナーのPOP作りに挑戦しました。デザインや言葉を工夫し、本の魅力をアップさせる、華やかなPOPを作ることができました。

4. インターンシップ研修を終えて

10日間の研修はあっという間で、とても充実していました。図書館の各チームの業務を体験させていただいたり、内側から見させていただいたりしたことで、普段の大学生活では分からなかった「図書館」の一面を知ることができ、図書館に対するイメージも大きく変わりました。また、「働く」という不安や疑問についても丁寧に答えていただき、働くことに対するイメージをつかむこともできました。最終日のプレゼンでは、たくさんの大学職員さんの前で、マイク無しで発表できたことも、人前で話すことが苦手だった自分にとっては、自信になりました。このインターンシップで学んだことを生かし、「何のためにしているのか」を考えることを忘れずに、目標に向かって努力していきたいと思います。

最後になりましたが、愛媛大学図書館の素敵なお方々と一緒に仕事をすることができて、本当に幸せでした。お忙しい中、私に学ぶための機会を与えてくださったこと、丁寧にご指導していただいたこと、感謝しています。10日間、本当にありがとうございました。

【87】愛媛労働局

〒790-8538

愛媛県松山市若草町 4-3 松山若草合同庁舎愛媛労働局内

経済学部経済学科 3年次生 山本 史斗

1. インターンシップ研修の目的

現在の自分に足りないものを見つけ、今後の大学生活をどのように送っていくべきなのかを考えることが、私がインターンシップ研修を受けた目的です。またそれと合わせて、社会人の方と接することで、私たち学生と社会人の方との違いを見つけることも目的としていました。

2. インターンシップ研修先の選択

公務員について知りたい、それが私のこの研修先を選択した理由です。私は将来、公務員になりたいと考えています。ただ私には、公務員を目指すにあたって、これ！といった理由がありません。現在の自分にはやりたいことがない、それなら安定している公務員になろう、ただそれだけです。就職活動が迫る中で、この軸のない自分に迷い、疑問を抱くようになりました。その迷いをなくすためには、公務員という職を実際に体験し、知り、自分の目指す方向性を決めることが重要であると考えたのです。そして公務員の中でも、国家公務員という、今まであまり目を向けてこなかったことに挑戦することで、深い知識だけでなく、広い知識も得ようと考えました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：9月5日（月）～9月9日（金）〈5日間〉

日程	研修内容
9月5日	オリエンテーション・労働局の概要説明 公務員倫理・法令遵守・個人情報保護 債務管理
9月6日	工場見学（三浦工業株式会社） データ等照合作業
9月7日	労働衛生週間説明会資料袋詰め作業 障害者面接会の見学 求人票の作成

9月8日	愛媛労働局のHP閲覧 グループワーク 雇用保険説明会への参加
9月9日	感想交流・意見交換 労働衛生週間説明会の運営補助

<9月5日>

はじめにオリエンテーション（自己紹介など）をしました。その後、お昼まで公務員倫理、法令遵守、個人情報保護、労働局の概要説明などの講義を受けました。その中では、特に保険について詳しく学び、現在の日本の雇用保険や労災保険の現状を知ることができました。午後からは債務管理をさせていただきました。パソコンで、雇用保険を過剰に受給されている方を対象に納付書の作成をしました。日本全体では、この雇用保険に関する債務だけで何千万円にも及ぶと知りとても驚きました。この作業の中には、誤送付などが起こらないように様々な対策がとられており、改めて確認することの大切さを学ぶことができました。

<9月6日>

午前は企業へ工場見学に行きました。ボイラーを作る過程で検査を行う必要があります、その検査に同行させていただいた形です。こういった検査が、自分たちの日々の安全につながっているということを実感することができました。午後からは助成金について学んだ後、実際の業務の一部を体験させていただきました。ある保育所の保育士の出勤時間を紙に起こし、その後、一番早く来た園児と一番遅く帰った園児の時間を記入するという作業でした。今回はすべてが手作業ということもあり、誤りのないように何度も確認作業を行いました。自分にまかされている作業の責任の重さを感じることができました。

<9月7日>

この日は、9日に行われる労働衛生週間説明会の際に使う資料の袋詰めと求人票の作成をさせていただきました。障害者面接会の見学もさせていただきました。障害者の方がより働きやすい環境を作るために企業側が様々なことを行っているということを知ることができました。求人票の作成の作業はそれほど難しいものではなく、パソコンを使った入力や確認の作業が主でした。現在は求職者の方が徐々に減っており、比較的仕事は見つかりやすい状況であると知りました。労働と聞くとどうしても労働者側の視点に立って考えてしまいがちになるが、この日の研修で企業側の視点に立って考えることの大切さを学ぶことができました。

<9月8日>

午前中は労働局内で愛媛労働局のHPについて職員の方と意見交換をしました。社会人

の方の考えに触れることができる良い機会になりました。午後からは雇用保険説明会に参加しました。雇用保険には多くの決まりがあり、受給する側もしっかりと理解しておかなければならないと感じました。空き時間に求人の検索もさせていただきました。その中には、自分が前日に作成した求人も反映されており、自分がした仕事を実感することができました。

<9月9日>

午前中は労働局内で、感想の交換などを行いました。他の人の意見に触れたり、職員の方の意見に触れたりすることができる良い時間でした。午後からは砥部にある愛媛生涯学習センターにいき、労働衛生週間説明会の受付などの業務のお手伝いをさせていただきました。その後、説明会を少し見学しました。何のためにやっているのか、自分の役割は何なのかということをしっかり考えながら業務を行うことができました。

4. インターンシップ研修を終えて

インターンシップ研修の中で、多くの社会人の方と接することで、様々な価値観に触れることができました。その価値観に触れ、自分がどういう人間なのか少し見えてきたように感じます。またそれに加え、自分の優れているところや劣っているところなど多くの気づきがありました。これからの大学生活をどのように送っていくべきなのか、少しではありますが見えてきました。そして目的の一つでもあった、自分たち学生と社会人の方との違いについても自分なりに見つけることができました。それは覚悟と考え方です。社会人の方はどんなに小さなことでも、しっかりとそれと向き合い、覚悟を持って仕事に臨んでいました。当たり前のことではありますが、今の自分にはとてもではないですが、難しいことだと思いました。次に考え方についてです。社会人の方は何かの事柄に対して考えるとき非常に深い考えを持っていました。私は今まで何かを考えるときに一つの視点からでなく、様々な視点、角度から考えるように心がけていました。しかし、広さだけでなく、深さも必要であると感じることができました。これらはやろうと思ってすぐにできるものではないので、これから少しずつ磨いていきたいと思います。

最後に、今回このような充実したインターンシップ研修を計画してくださった愛媛労働局の皆様にはとても感謝しております。この研修で自分の進んで行く道が見えてきました。5日間という短い間でしたが、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

【88】 こうち人づくり広域連合 こうち人づくり広域連合②

〒780-0870

高知県高知市本町5丁目2-3 自治会館2階

経済学部経済学科 3年次生 田村 まい

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は、2つあります。

1つ目は、今の自分にはできない新たな視点での見方や気づきを身につけ、自分を成長させることです。

2つ目は、実際に仕事を体験することで公務員という職種について仕事の内容や実際の現場の雰囲気などを深く知ることです。

2. インターンシップ研修先の選択

私は将来地元である高知県に戻って公務員として地域のために働きたいと思っていました。インターンシップの合同説明会でお話を聞かせて頂いた際に、「こうち人づくり広域連合」は各市町村から派遣される職員の方々によって構成されている研修機関であることを知りました。「こうち人づくり広域連合」では様々な市町村の職員の方とお仕事ができ、研修の補助にも携わらせていただけるということだったので、地方公務員という職種についての知識を得るとともに、実際の業務に携わることで自らの仕事観を養いたいと思い、研修先に選びました。

3. インターンシップの研修内容

研修期間：8/22（月）～9/2（金） ※土日を除く 10日間

研修時間：8:30～17:15

日程	研修内容
8月22日（月）	<ul style="list-style-type: none">・オリエンテーション・研修会場の見学・ゆるりっこ発送の準備・基本研修の準備

8月23日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本研修 司会、補助 <li style="margin-left: 20px;">(<li style="margin-left: 40px;">コンプライアンス推進研修 <li style="margin-left: 40px;">人権研修 <li style="margin-left: 40px;">開かれた職場と心の健康づくり研修 <li style="margin-left: 20px;">)
8月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・文書廃棄準備 ・地域力創造研修 補助 ・行政法研修の準備
8月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム会 ・土佐市インターンシップ取材 ・高知市役所(移住定住促進課)訪問
8月26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県庁(住宅課)訪問 ・高知県庁(雇用労働政策課)訪問 ・高知県庁(地産地消・外商課)訪問 ・資料作り、研修室の準備
8月29日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・部会同席 補助 ・議事録の打ち込み ・書類の整理
8月30日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・高知市役所(観光振興課)訪問 ・高知市役所(こども未来部)訪問 ・新聞の切り抜き
8月31日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・研修資料作り ・芸西村役場訪問 ・新聞の切り抜き
9月1日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新 ・研修資料作り ・新聞の切り抜き ・高知県庁(市町村振興課)お話を伺う
9月2日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・政策づくり入門研修 司会、補助 ・インターンシップまとめ

<仕事内容>

① 研修実施の補助

研修実施の補助の仕事は、会場の設営や講師へのお茶出し、司会、議事録の記入などがあります。研修によってハンドマイクを回したり、研修風景を写真に残したりします。

② 研修の準備

研修の準備の仕事は、次の研修で使う資料の作成や受講生の名簿作りなどをします。

③ 県庁、市役所、町村役場の訪問

インターンシップ生の希望に応じて様々な課を案内していただき、その際にいろいろなお話を伺うことができました。

4. インターンシップ研修を終えて

私は、「こうち人づくり広域連合」でインターンシップをさせて頂いて多くのことを学ぶことができました。「こうち人づくり広域連合」は各市町村から派遣される職員の方々によって構成されている研修機関で、一般的な公務員の業務とは異なる研修業務が特徴的です。研修業務では、講師の方や受講生が研修を円滑に進めるために研修の流れを把握し、マイクを回したり、照明を調節したりと、周りを見て状況を判断し適切に行動しなければならず、臨機応変に対応することの大切さを学びました。また、補助業務をしながら講義を聴講でき、大学では聞くことのできないお話や公務員ならではのとても貴重なお話を聞くことができ勉強になりました。研修業務の中で最も印象に残っていることは、研修の司会をさせて頂いたことです。私は人前で話をするのが得意ではなく、社会人の方の前で話をさせて頂くということも初めてでとても緊張しましたが、職員の方にアドバイスを頂き無事に仕事を果たすことができました。司会をする機会を2回も与えて頂いたことで、以前より人前で話することに自信を持つことができ、とても貴重な経験となりました。

また、県庁や市役所、町村役場など私達の希望に応じて様々な課を案内していただきました。それぞれの課での取り組みや公務員としてのやりがい、大変さなど現場で働いている方の生の声をプラス面でもマイナス面でも伺うことができ、公務員を目指すうえでとてもためになるお話を聞くことができました。各課でお話を伺うなかで、公務員というのは一定の期間で課が変わり幅広い分野の仕事をするので、多くの人と関わりを持つことができるということも魅力だと感じました。女性の職員の方のお話を伺った際には、その方の考え方やいきいきとした仕事に対する姿勢を見て、より一層公務員を目指したいと思う気持ちが強くなりました。

インターンシップでは、初めてのことばかりで不安や緊張でいっぱいでしたが、「こうち人づくり広域連合」の皆様は温かく接して下さりとても感謝しています。少人数の職場であることもあり職員の方全員とお話させて頂くことができ、それぞれの市町村についてのお話や公務員になったきっかけなど多くのことを伺うことができました。至らない点も多くありましたが、学生生活では味わうことのできない様々な貴重な体験をさせて頂きました。10日間という短い期間ではありましたが、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

【89】西条市役所

〒793-8601

愛媛県西条市明屋敷 164

人文学部英語英米文学科 3年次生 太田 瑞希

1. インターンシップ研修の目的

私がこのインターンシップ研修に参加した目的は三つある。一つ目は、現在自分に足りていない能力を自覚するためだ。他者との摩擦や失敗から、自分の弱さだったり、もっと改善すべき点だったりが見つけたいと思った。

二つ目は、職員さんと実務を共にすることで自分が将来働くことについて具体的にイメージし、自分の進路について考えたいと思ったからだ。

三つ目は、実際にどんな風に職員さんが地域の方と触れ合っているのかを間近に感じたかったためである。将来、私は様々な分野で地域の方と交流し、連携をとっていく仕事に関わりたと考えているので、接し方や姿勢を学びたいと思った。

インターンシップ研修に参加し、刺激を受けるだけでなく、残りの学生生活につなげる何かを研修期間で経験したいという想いで研修に臨んだ。

2. インターンシップ研修先の選択

研修先として選択した西条市役所は、合同説明会の際、配布された資料に研修内容の詳細が提示されていた。私は、課題解決型の研修先を希望しており、プロジェクトの企画、準備、運営まで学生主体で行う「うちぬき未来カレッジ 2016」に興味を持ち、研修先として選択した。また、プロジェクトを通し、職員さん、他大学のインターンシップ生、協力してくださる関係者の方々、イベントに参加する高校生など、幅広い世代の方と関わることができることも魅力的であった。この研修に参加することで、自分の将来像を少しでも明確にできるだろうと考えた。

3. インターンシップ研修の内容

研修内容は、「うちぬき未来カレッジ 2016」の企画、準備、運営だ。これらをうちぬき未来カレッジ 2016 実行委員会委員長を中心に実行委員のみで行う。

一日の始めと終わりに、職員さんも含めミーティングを行い、一日の予定も自分たちで決める。

【スケジュール】

期間：10日間 ※休み1日

時間：9：00～18：00 ※休憩 60 分、残業あり

日程	研修内容
8月4日(木)	自己紹介、オリエンテーション、プロジェクト役割分担、計画書作成
8月5日(金)	計画書作成、関係者挨拶回り、企業への電話かけ、職業カウンセリング、打ち合わせ
8月6日(土)	計画書作成、各自準備、リハーサル
8月8日(月)	市役所での朝礼、各自準備、リハーサル、打ち合わせ、サロン参加、配布資料作り、企業訪問の確認
8月9日(火)	うちぬき未来カレッジ一日目、翌日準備
8月10日(水)	うちぬき未来カレッジ二日目、評価書作成
8月11日(木)	リハーサル、評価書作成、翌日準備
8月12日(金)	うちぬき未来カレッジ三日目、評価書作成、送別会
8月13日(土)	評価書作成、報告書作成、インターンシップ成果報告会

【活動概要】

「うちぬき未来カレッジ 2016 を成功させる」というゴールは決まっていたので、実行委員会委員長を中心に担当プロジェクトを決定し、各自準備に取り掛かった。担当するプロジェクトには事前準備の必要なもの、全員での話し合いが必要なもの様々であった。プロジェクトの企画案を練り、計画書にまとめ、職員さんに確認をお願いする。また、当日協力して下さる講師や企業の方との確認を行ったり、実際に当日さながらのリハーサルを通したりと準備にかなりの時間をかけた。当日までの準備期間が限られているので、全体的に余裕がなかった。三日間を終え、各担当プロジェクトの評価書と来年度に残す報告書作成にあたりと同時に、最終日のインターンシップ成果報告会のプレゼン準備に取り掛かった。

4. インターンシップ研修を終えて

インターンシップ研修を終えて、研修前に掲げていた「うちぬき未来カレッジ 2016 を成功させること」「研修の経験を通し、将来の自分を想像する」という二つの目標を達成できたと言える。

一つ目の目標に関しては、自分の担当したプロジェクトに責任を持って、リハーサルから通し、運営することができ、また全体の流れを把握し、プロジェクトのつながりを意識することができた。当日は高校生に「自分の将来像を想像する」ために、自己分析や企業訪問から仕事のやりがい、働く意味について考え、将来自分がどうなりたいたいのかをじっくり考えてもらうことができた。また、参加してくれた彼らを最終日に笑顔で見送ることができ、三日間通して良い雰囲気が進められたことから成功したと言える。また、二日目に高校生たちに「仕事とは？」について考えてもらうためのワークショップを私たち学生が行った際には、高校生に考えさせる立場に立ったからこそ、自分自身の仕事観、目標、自分なりの働く意味が明確になった。準備段階では、プロジェクトの準備が思うように進

まなかつたり、行き詰ったりもした。そんな私たちに職員さんは特に口出しせず、いい意味で自由にさせてくれた。そういう環境に置かれ、自分の弱さや気づいたことがたくさんある。与えられた仕事は自分たちにすべてを任せてくれていると同時に、責任が伴うこと。うまくいかないことや行き詰っていたら、手を差し伸べてくれるのではないかという仕事に対して甘い考えを持っていた自分がいたこと。これらは、実際に現場で実務をさせてもらえたからこそ、気づけたことであり、「社会人」を感じられ、将来自分が働く姿を想像することができた一面でもあった。二つ目の目標である、「将来の自分を想像する」という漠然としたものを自分に引きつけて考えることができたように思う。

今回のインターンシップで自分の改めるべき点に気づくことができたのは自分にとって大きかった。自分で段取りをし、期限を決め、他との連携もとること。全体での動きも把握すること。自分がすべきことをその都度見極めること。いつも明るく、元気に振る舞うこと。しんどくても修行だと思って乗り切ること。人前で話すときは表情や声の抑揚に注意すること。自分の将来をより明確にし、目標を持つこと。どれも今の自分にはできていない。頭では理解できていても実際に行動に移せていないのが現状だ。これらを残りの学生生活でやり遂げることが私の課題だ。自分に足りないものや今後の課題が見つかった、良い研修になった。西条市役所の職員さんを初め、ご協力頂いた関係者の方々、共にプロジェクトを創ってくれたインターン生、出会ったすべての人とこのご縁に感謝している。

【90】 さぬき市役所

〒769-2195

香川県さぬき市志度 5385-8

経済学部経済学科 3年次生 岡崎 壮祐

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は3つあります。1つ目は自分と実際に働いている職員の方々との考えの違いや働くとはどういうことかを知るためです。2つ目は今の自分に必要な力はなにかを知るためです。実際に働くということを体験し、今自分に足りない力を自覚し、今後の大学生活で何に向かって努力するのかを少しでも明確にしたいと思いました。3つ目は働くことのやりがいを知るためです。職員の方々とお話しさせていただくことで市役所で働くということのやりがいを知りたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が今回さぬき市役所へのインターンシップ研修を志望した理由は、私が現在公務員志望であり、地元に戻って公務員として働くということに興味があり、防災や都市計画などさぬき市役所が実際にどのような取り組みを行っているのかを知りたいと思ったからです。また、自分の生まれ育ったさぬき市であれば市についての説明も理解しやすいのではないかと考えました。自分の今の知識に加え、さぬき市についてよりくわしく知る良い機会になるのではないかと思います。さぬき市役所でのインターンシップ研修を志望しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：9月12日(月)～9月16日(金)[5日間]

[1日目 総務課]

1日目はさぬき市役所の庁舎を案内していただき、各課の説明をしていただきました。議場など普段なかなか入ることのできない場所を見学させていただいたり、各課の業務内容をわかりやすく説明していただきました。その後、市役所の届いた郵便物の仕分け作業とデータ入力を行いました。午後からは与えられた資料をもとにパソコンに打ち込む作業を行いました。各課の説明を受け、市役所では思っていたよりも多くの業務があることを改めて実感しました。

[2日目 生活環境課]

2日目は市内の小中学生、中学生が描いた交通安全ポスターの審査会の準備を行いました。その後、市内のガードパイプなど以前に行った工事の現場視察に同行させていただきました。

た。確認を行っている最中、こちらに気づいた近所の方とお話しする機会もあり、市役所で働くことは市民の方々のつながりが大事であることがわかりました。

【3日目 建設課】

3日目は午前中市内の橋梁点検を行いました。市内には500以上の橋があることやポンプ場やごみ処理施設などさぬき市について新しいことをたくさん教えていただきました。また、こういった橋の点検は業者に任せているのではなく市役所職員の方々が行っていることに驚きました。午後からは市民の方から連絡があった補修の必要な道路に行き実際に補修作業の補助を体験させていただきました。その後、ごみ処理施設に行き職員の方に施設の設備やリサイクルをどのように行っているかなど説明していただきました。ポンプ場や防波堤など台風や高潮に対する防災設備なども見学させていただきました。補修が必要であるという連絡はかなり多いということ、小さな道路の穴などは市役所の職員が補修することなどを知り、市役所の業務内容の幅広さを改めて実感しました。

【4日目 監査委員事務局】

4日目は監査委員事務局で過去の市の歳出をまとめ打ち込んでいく作業を行いました。過去3年分の資料を見て何にどのくらいお金を使ったのかを知ることができました。各課の取り組みを財政面からも知ることができました。パソコンを使い資料の情報を打ち込んでいく作業をしていく中で自分の情報処理能力の不足を感じました。

【5日目 都市計画課】

5日目は都市計画課で公営住宅募集の資料をまとめ、さぬき市内の各支所への受け渡しを行いました。各支所に行くまでの車の中でも公務員という仕事について、今自分はどうか考えているのかなど実際に働いている職員という立場からの意見もお聞きすることができとても参考になりました。午後からはさぬき市内を運行しているコミュニティバスの運賃や乗客数、その内訳などをまとめる作業を行いました。データをミスなく打ち込んでいく作業の大変さを改めて感じました。そして、最後にさぬき市長のO氏とお話しさせていただきました。現在市長がさぬき市を活性化させていくために、どのような考えをお持ちであるか、市長が必要と考える力は何かなど、私自身にとって重要なお話を丁寧にいただきました。そのお話の中で必要な力はIT、言語能力、会計能力だと市長はおっしゃられていましたが、現在の私にはどれも満足に習得できていないものばかりで、今後身につける必要があると感じました。

4. インターンシップ研修を終えて

5日間という短い間でしたが、今回のインターンシップ研修を通して公務員という職業について、社会に出て実際に働くということ、さぬき市について理解を深めることができました。5日間で1日1課ずつ研修させていただき毎日全く違う業務内容を体験することができ、1つ1つの課の業務の幅が自分が考えていたよりも広いこと、1つの業務にも様々な課の方々が関わっており、市役所の中でのつながりも重要であることを感じました。初対面にもかかわらず職員の方々は業務内容など親切に説明してくださり、毎日充実した研

修にすることができました。昼休憩の時間も若手職員の方々とご一緒でき、業務以外のプライベートなお話までしていただき、将来についてまだ迷っていた私にとってためになる時間を過ごすことができました。最終日にはさぬき市長とお話しできる機会まで作っていただき、職員の方々とも少し違う市長という立場の考えなどを聞くことができる貴重な経験をすることができました。

最後になりましたが、お忙しい中、研修を受け入れてくださったさぬき市役所の皆様、5日間様々な経験をする機会を与えてくださり、ありがとうございました。一般的な学生生活を送っていたならば、聞くことのできないようなお話を聞いたり、様々な体験をすることができ、進路に迷っていた私にとって公務員になりたいという気持ちをより一層強くすることができたインターンシップ研修になりました。本当にありがとうございました。

【91】自衛隊愛媛地方協力本部

〒790-0003

愛媛県松山市三番町8丁目352-1

法学部法学科 3年次生 佐々木 智華

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修を受けようと思った理由は、大きく二つあります。一つ目は、就職活動向けの準備です。今年就職活動をしていた身内の話を聞くと就職活動は何か持っていないと不便だということを感じ、インターンシップ研修を通じて就職活動へのやる気を向上させたいと思ったためです。なんとなく、で済ましてしまう私ですが、就職活動は「なんとなく」では済まないという焦りに対応しないといけないという危機感がありました。二つ目は自己アピールのプラス面を探すことです。就職活動をするにあたって自己アピールは必須項目です。現在アルバイトをしています、そこでは褒められることよりも叱られることの方が多く、自分にとって何がプラスになっているのかよく分からない儘迎えるよりは、分かってから迎えた方がよいのだろうと思い今回インターンシップ研修を受講しようと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

インターンシップの研修先を選択するにあたり、民間企業志望の私は民間企業で民間企業の世界を学ぶべきか、それとも公務員で別の世界を学ぶべきかというところから始まりました。合同説明会では民間企業の説明会も聞きながら考えていました。実際にインターンシップ合同説明会での自衛隊の説明会に参加した際、自衛隊の説明を聞くと同時に現在私の勉強している国際関係論が脳裏に浮かびました。その中でも昨年授業で選択した安全保障論では自衛隊という組織が出てくることが多く、自衛隊という組織についてより深く勉強したいということもあり、自衛隊をインターンシップ研修先として選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

1日目。私を含む7名のインターン生が全員集合してからインターンシップ担当者の方から今回のインターンシップについての説明を受けた後、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊の方のお話を伺いました。それぞれの自衛隊は自衛隊というひとつの組織でありながら、主な舞台も違うこと、ですがそれでも「主たる任務」である「国防」という面に関して面と向かって行っていることが分かりました。特に印象に残っているのは航空自衛隊のNさんのお話で、彼の人生経験を踏まえてのアドバイスなども頂き、これからの人生の

参考になりました。その後 2 グループに分かれて事前に頂いていた「魅力ある自衛隊の広報活動」というテーマに沿って話し合いを行いました。話し合いの中でもまだインターンシップ初日ということもあり、まだ分からない部分も多い私たち自身も互いに知りながら話すいい機会になったと思います。

2 日目からは陸上自衛隊松山駐屯地での生活体験実習を行いました。愛媛地方協力本部から松山駐屯地まで車で移動し、松山駐屯地についての説明を受けました。昼食をはさんだ午後からは基礎的な訓練を行いました。敬礼の仕方でも普段私たちの知っている敬礼の他に、帽子をかぶっていないときに行う敬礼もあることなど、知識が深くなりました。また、松山大学を卒業して自衛官になられた方のお話を聞き、遠回りして自分の道を決めるという方法があるのだということも知りました。

3 日目は午前中に行進訓練を行いました。7 キロメートルという長い道のりを暑い中歩くという訓練を体験させていただきました。当時諸事情で体調が万全ではなかったのが最後まで歩けるか不安でしたがサポートや十分な休憩で 7 キロ歩ききることができました。午後からは実際に松山駐屯地で行われている訓練を見学しました。砲撃と歩兵の訓練は、それぞれ自分の持つ役割を持ちながら、いかにしてやり抜くかということが重要なのだと思いました。私たちインターン生の質問に分かりやすく、そして納得するまで答えてくださったので、どのような役割を持っているのかが分かりました。その後には松山駐屯地に保存されている松山駐屯地の歴史、日清日露戦争、第二次世界大戦の資料なども見学し、日本の歴史を感じるとともに松山という場所が軍にも関係のある場所だったのかと思いました。と同時に、悲惨な戦争は二度と起こしたくはないとも思いました。また、2 日目と 3 日目の夜には実際に松山駐屯地にいらっしゃる私たちと年齢の変わらない自衛隊員の方と懇親会を開いてくださり、学生と自衛隊の生活の違いや、同じ年代であるにもかかわらず彼等は真面目に国防という大きな仕事に就いているんだと思いました。最初は堅かった会話も、次第にフランクになっていったので、コミュニケーションの大切さもつくづく実感しました。

4 日目は午前中は応急処置を学んだ後、体力測定を行いました。自衛隊の応急処置用具は一般商品として並ぶことになるかもという話を聞いた時、確かにこのような便利なものが出るのはいいことではないかと思いました。体力測定では 50 メートル走は実際はフル装備で走るということを聞いて驚きました。午後からは地方協力本部に戻り、松山駐屯地での生活体験を経験したうえで初日に与えられた議題でのグループワークを行いました。数々の案が出てまとめることは大変でしたが、十分活発な議論ができたと思いました。

5 日目はグループワークの続きとプレゼンテーションの作成、そして発表を行いました。私たちの班は図書館と協力すること、グッズを配布すること、LINE スタンプの配布という提案をしました。自衛隊は都道府県・市町村との連携も必要だということ思い出したことや初日でのグループワークに出てきたことを上手く拾い上げて質疑応答も簡潔に伝えることができました。もう一つの班のアイデアも自衛隊員と地域の人のコミュニケーションをとるという交流要素を含んでいたのはとても面白いと思いました。

4. インターンシップ研修を終えて

今回のインターンシップ研修を終えて、自衛隊という組織は国を守るためにあるということを読み返し、そのために日々の訓練に励んでいるのだなと思いました。私はまだ大学生で、就職活動に対して不安でした。ですがインターンシップ研修を通じて、少し前向きになっていこうと思うようになりました。生活体験の際に体調が悪くなったとき、周りがしっかりサポートしてくださり少しずつ快方していきました。私のモットーとして「無茶はするけれど無理はするな」があるのですが、してもいい無茶としてはいけない無茶があるのだなということを心から痛感しました。

インターンシップ研修では、今も昔も未熟なままの自分を少しでも変える切っ掛けになったのではないかと日焼けをした肌を見ながら思うようになりました。これも一種のいい経験だったと思います。真夏の暑い中の一週間、苦しいことや辛いこともありましたが、私自身にとってよき思い出になったと同時にこれからの勉強や就職活動に対して前向きに取り組んでいきたいと思うようになりました。

今回インターンシップ研修において、担当者のNさん、Sさん。プレゼンテーション作成においてアドバイスをくださったNさん。松山駐屯地で私たちの世話をしてくださったU班長、Mさん、Sさん等。そしてたくさんの思い出となる写真を撮影してくださったSさん、Kさん。本当にありがとうございました。

【92】 四国中央市役所

〒799-0497

愛媛県四国中央市三島宮川 4 丁目 6-55

経営学部経営学科 3年次生 森實 健太

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップに行く目的は、私の興味のある分野について現場では実際にどのようなことが行われているのかを体感しに行くことです。そして、今の自分には何ができて何ができないのか見極めるというのも現在の目的の一つです。

私は、このインターンシップの授業が始まった当初、「コミュニケーション能力を身につけたい」「礼儀や社会人としてのマナーを身につけたい」「社会に出るとはどんなことか知りたい」というごく平凡なことをインターンシップに行く目的にしていました。しかし、せっかく大事な夏休みの一週間を使ってインターンシップに行くので、そのようなアルバイトなどどこでも身についたり体験できることを目的にすることはもったいないと思うようになりました。さらに、わたしはコミュニケーション能力は仕事をしていくうえでのあくまでも道具の一つだと考えています。その上、一番大事な「仕事」の部分を知らずに仕事の道具を磨くことは本末転倒ではないかと考えるようにもなりました。礼儀や社会人としてのマナーはわざわざ自分の興味のある仕事をしているインターンシップ先に行かなくても鍛えることは出来ると思いました。

私はこのように考える中で今回のインターンシップでしか身につけられないことは何かということを考えました。それが、「私の興味のある分野について現場では実際にどのようなことが行われているのかを体感しに行くこと」です。これはアルバイトでは絶対に経験できないことだと思います。さらにどれだけインターネットや本で調べても百聞は一見に如かずということわざもあるように本当のことを知るには実際にその現場に行くのが一番早いと思うので、今回は本当にいい機会だと思ってしっかり体験して吸収したいと思います。そして、今の自分には何ができて何ができないのか見極めるというのも現在の目的の一つなので、そのためにもさまざまなことにチャレンジしていきたいと思っています。そうすることによって今の自分にできることとできないことがはっきり見えてくると思うので、これからの大学生活でできないことをしっかり社会にでて通用するようになっていくきっかけになると思ったからです。

2. インターンシップ研修先の選択

私が四国中央市総務部企画課地方創生推進室を選んだ理由の1つは地元の市役所だったという理由ですが、一番大きな理由は、四国中央市ではどのような地方創生策が取られているか実際に見てみたかったということと、私の考える紙産業にイノベーションを起こして海外にマーケットを広げていけるようなプラットフォーム構築をするというビジョンは行政からはどんなアプローチで達成できるか確かめることにありました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月15日～8月19日 5日間

〈8月15日（月）研修1日目〉

四国中央市での地方創生に係る取り組みについての説明

インターンシップが始まって一番初めに、四国中央市で行われている地方創生策について説明をしていただきました。そうすることによって現状を知ることができ、自分のビジョンをどのように修正すれば実現しやすくなるか考えることができるようになりました。今回説明していただいたことで四国中央市が行っている地方創生の取り組みの大きな方向性を知ることができました。

〈8月16日（火）研修2日目〉

6次産業化分野の見学

四国中央市内のJA産直市と第3セクターとして地域活性化に取り組んでいる企業の見学に行きました。そこでは、6次産業化への新しい取り組みを見せていただき、特産物の持つパワーを知ることができたうえ、2次産業や3次産業だけでなく1次産業にも目を向けるようになりました。JA産直市で試食させていただいた四国中央市の特産品である里芋を使ったアイスはおもしろい食感で新しい発見をすることができました。そして、さらに自分なりの新しい活用方法を考えました。

〈8月17日（水）研修3日目〉

市の総合戦略を具体化する方法の検討

この日は、1日目と2日目で学んだことを基に四国中央市が作成している総合戦略を具体化する方法をより現実的に考えていきました。行政が作るガイドラインなどはお堅い印象があるのでいかにわかりやすく作るかを意識して作成していきました。ここでは、行政は総合戦略のような長期のガイドラインに基づいて1つ1つのことを決めているということが分かりました。

〈8月18日（木）研修4日目〉

市長サミットの準備

研修3日目の続きとして四国中央市内の製造業についての調査を行いながら、最終日に行われる「四国まんなか市長サミット」の準備のお手伝い等を行いました。市長サミットというイベントは県域を越えた広域連携の行事なので、準備もとても大変で職員の方々のこのイベントに向けた気持ちがとてもよく伝わってきました。

〈8月19日（金）研修5日目〉

四国まんなか市長サミット 従事

研修最終日は市長サミットのため1日中市役所を出ての作業でした。ここでは、初めてこのイベントを行う徳島県三好市・香川県観音寺市それぞれの職員の方と会い、当日の準備や運営を行いました。その中で、自分が出来ることを見つけて作業することができました。さらに市長サミット内では、それぞれの市の市長の考えや方針を聞くことができたうえ、それぞれの市長のイベントの取り組み方や態度などを身近に見たので、いろいろなことを考えることができました。その他にも、Iターンしてきた方の話も聞くことができとてもいい経験をすることができました。

4. インターンシップ研修を終えて

今回のインターンシップは5日間という大変短い期間でしたが、本当にあっという間で少し慣れてきて様々なことを考えながら行動できるようになったときには最終日になっていました。今までは市役所に行く機会は住民票をもらいに行くときくらいで、どんな仕事をしているかよくわかっていなかった部分がありました。しかし、今回のインターンシップで市役所の中を少し知ることができました。さらに、四国中央市が地方創生についてどのようなアプローチで取り組んでいるか知ることができ、それに対して自分ならどう工夫していくかなどを考えていきました。そこにもっと最近のトレンドであるICTの技術を取り込んでいけたらよかったなと思いました。今回は私研修先の部署がとても忙しいタイミングでしたが、さまざまな経験をさせていただいたり私の考えに意見もしてくださり、ありがとうございました。このインターンシップでさせていただいた経験を活かして、残りの学生生活でやるべきことをしっかりやっていきたいと思えます。大変お世話になりました。ありがとうございました。

【93】 島根県中山間地域研究センター

〒690-3405

島根県飯石郡飯南町上来島 1207

経済学部経済学科 2年次生 平磯李奈

1. インターンシップの目的

「新しい自己の発見」と「視野の拡張」が私のインターンシップでの目的です。「新しい自己の発見」とは、自分の長所や短所です。今の自分が大学の外に出た時にどの程度通用するのか、自分には自分が思っている以上に身に付いている能力があるのではないかと、また不足している部分を知るなどといった「自分を知る」ということを重視していました。「視野の拡張」は、今の自分にはない価値観や考え方をより多く学び、今後の自己の成長に繋げることでできる経験をしたいと思っていました。

2. インターンシップ研修先の選択

私はもともと地域活性化事業に興味があり、NPO といった団体を視野に入れて地域事業に取り組む企業へのインターンシップを考えていました。また、インターンシップを行うにあたり、多くのことを学び得て自己の成長に繋げるために、長期のインターンシップを行いたいという考えを私は持っていました。そこで自分に合ったインターンシップ先がないか探していた際、自分の学びたい内容や研修期間がマッチしていた今回のインターンシップ先をたまたま見つけ、ここで今の自分のチカラを試してみたい、自己の成長にも繋げることができるのではないかと考え、即座に応募しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月8日～9月7日(31日間)

1 週 目	・オリエンテーション ・地区内の見学、あいさつまわり ・昨年度インターンシップ生との交流
2 週 目	・地域行事参加 ・聞き取り調査 ・地区内景勝地散策
3 週 目	・島根大学生・他地区インターンシップ生交流会 ・役場、研究センター視察 ・地区会合参加

4 週 目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農作業体験 ・ 成果発表準備 ・ 成果品作成
5 週 目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果報告 ・ 宿泊所掃除 ・ 送別会

私のほかに、他大学から来た2人の学生との合計3人で活動に取り組みました。

私が担当した地区では「地元の元気度と人・食・自然の魅力をくまなく歩き調査せよ」というテーマが出され、担当地域を知るため住民への聞き取り調査、地域のイベント事業への参加を主に行いました。別の地域で研修していた方々との意見交換や他大学生との交流会もありました。

研修の最後に地域住民の方々の前でプレゼンテーションと、成果品を収めるというのが最終目標でした。

4. インターンシップ研修を終えて

私がこのインターンシップを終えての一番の気づきは、“学ぶ”ことがこんなにも楽しいと思えたことです。訪れたことのない土地、新しい多くの人たちとの出逢い、未経験の体験、すべてのことが新鮮で、自分の知らないことを知る機会があまりにも多かったです。それは自分の今までの視野が狭かったということを感じました。研修に行く前に知っておくべき知識が備わっておらず恥をかいたこともありました。自分の常識と社会の常識との差異を感じ、今後自分が学ぶべきことを明確にできました。1か月の研修の中で、ある学校の先生とお話をさせていただいた際に、「知ることが楽しいと思えたということは、あなたの中で何かを知ることが“勉強”から“学び”に変わったのだろう」と言われました。この言葉が今の自分に大いに当てはまりとても印象を受けたので、この項目の冒頭に記した“学ぶ”ことの楽しさに繋がったのです。私はこのインターンシップに対して深く満足しています。ですが、そこで足を止めてしまっただけではインターンシップを行った意味がないと私は考えます。今回学び得たことを今後の大学生活に生かしていけるよう考え、実行することが最後までインターンシップをすることだと思いました。

【94】東温市役所

〒791-0292

愛媛県東温市見奈良 530-1

人文学部社会学科 3年次生 渡部 莉彩子

1. インターンシップ研修の目的

インターンシップ研修を受けた目的は、大きく2つあります。

1つ目は自分で仕事場へ行き、研修をすることで雰囲気やイメージを味わいたいからです。実際に研修として体験することで自分の目で見えて足を運んで初めて分かることがたくさんあるのではと思ったからです。

2つ目は社会人としてのマナーを身につけたいと思ったからです。実際に働いている職員の方とともに過ごすことは自分にも刺激になります。仕事に対する姿勢、敬語の使い方、電話や窓口におけるお客さんとの接し方など仕事をする上で大切なことを見て学ぶことが今後の自分に役立つのではと思ったからです。

2. インターンシップ研修先の選択

私がインターンシップ研修先に市役所を選択した理由は、将来目指す職業として公務員も視野に入れており、興味があったからです。その市役所のなかで、地元の東温市を選択した理由は、市役所で研修をすることで今まで見えてこなかった地元東温市の良さを再確認することができると思ったからです。また、地元の市役所がどのような仕事を行っているのかを把握することができるからです。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間:8/29(月)～9/2(金)までの5日間

8月29日(月)

挨拶、市の概要説明ガイダンス、横河原にぎわいワークショップ概要説明

8月30日(火)

市役所見学、横河原ぷらっとHOMEスタッフ業務、7ヶ月児教室見学、ファミリーサポートセンター見学・ヒアリング

8月31日(水)

室内業務、市民ミュージカル制作記者発表見学、現地見学(滑川)

9月1日（木）

現地見学・ヒアリング(河之内、奥松瀬川、井内)、クラブハウス夢家商品販売発表、グループワーク

9月2日（金）

発表企画案作成、若手職員プロジェクト報告会見学、発表、挨拶

1日目

まず、はじめに今回お世話になる総務課の方や企画財政課及び地域振興係の方と挨拶を行いました。その後、市長室で市長にご挨拶をしました。次に東温市が掲げている総合戦略や人口ビジョンなどに関する多くの資料を頂き、人口動向から将来の展望として3世代同居を目指しているなど様々な説明を受けました。午後からは、横河原にぎわいワークショップという横河原の活性化を目的として老若男女が集まるワークショップの概要説明を受けました。その後、そのワークショップで行っている事を、実際に研修生を含め8人ほどで実践しました。子育てやイベントなど分野でグループに分かれそれぞれの意見を出し合い活性するために必要なもの、足りないものを話し合いました。その土地についての知識がないと意見を出すことができないので難しかったです。

2日目

まず、市役所には多数の課があるため各階全ての課を訪れ、お話を聞ける課には行っている業務に対する疑問や学生の間にしておくべき事を質問しました。その後、多世代交流拠点の横河原ぷらっと HOME のスタッフ業務として、残っている夏休みの宿題をしにきた小学生に宿題を教え横河原の方と交流をしました。そこでは子どもから高齢者の方まで幅広い年齢層の方が利用しており、様々な人が声をかけてくださいました。午後から中央公民館で7ヶ月児教室が開催されていたので見学をしました。同じ場所にファミリーサポートセンターがあるので、そこへ見学し、業務の内容や利用状況など質問をしながら説明を受けました。その後、市役所へ戻り市役所見学の続きを行いました。

3日目

企画財政課の室内業務として一般会計予算について説明があった後、横河原ぷらっと HOME の従業員の給料についての確認を行いました。その後、坊ちゃん劇場で市民ミュージカルの制作発表があったため、マスコミの方の後ろで写真を撮ったり、話をメモしたりしました。午後から、室内業務として制作発表の記事を自身で考え書き、写真を選んで Facebook へ掲載しました。その後、山間地域の活性化について現地を見て感じるべく滑川へ行きました。実際に溪谷まで歩くことになりました。溪谷までの道のりは長く、足下は多くの石が転がっており険しい道でした。歩きながら地域に足りないもの、活性化させるにはどうすればよいのかを考えました。地元東温市でありながら滑川溪谷は初めて行った場所でした。改めて市街地の人にアピールする方法が必要だと思いました。

4日目

まず、昨日の現地見学の続きとして河之内、奥松瀬川、井内へ行きました。河之内では

白猪の滝 1000 メートルまで登ったり、ブランド米である穂多琉米の直売所を見学したり、地域活性化協力隊で河之内に住んでいる方にお話を聞きました。滑川よりは足下の道が平で行きやすかったのですが、廃れており活性化しているとはあまりいえない状態でした。午後からとべ動物園の近くにあるクラブハウス夢家で新たに商品としてアイスクリームや国体のレシピに紹介されている郷土料理の中からせんざんきを販売することになりました。この説明を受けた後、実際に試食をしました。その後市役所へ戻り最終日に披露する山間地域の活性化についての案を考察しましたがなかなか良い案が浮かばず試行錯誤しました。

5 日目

まず、昨日考えた企画を出し合い、山間地域の活性化についての案を PowerPoint にまとめ上げました。PowerPoint は見出しを作ることで明確化させながらスライドを完成させることができました。職員の人に向けて発表することになっていたため、それぞれで発表する箇所を決め、原稿を考えました。完成に近づいてきたタイミングで若手職員の方のプロジェクト報告会があったため今後の参考として見学しました。普段働いている上での疑問、課題の解決案を出したり、調査をグラフにしたりと工夫がなされていました。報告後、上司の方から多くの質問が飛びだしたのですが、正確に淡々と答えていたのでとても対応力があると感じました。その後、報告会が行われた場所で若手職員の方が行ったように職員の方の前に立ち PowerPoint を使って説明、提案をしました。職員の方に自信を持って提案するには難しかったのですが自分なりに説明を加えながら発表をしました。

4. インターンシップ研修を終えて

今回は 5 日間という短い期間でしたが、多くの事業、場所に訪れ、多くの人と出会いました。研修の内容はとても充実したもので、研修前に掲げていた 2 つの目的は達成することができました。新たな発見があり、改めて地元である東温市に興味を持つことができました。また、市役所の仕事は窓口業務のイメージがありましたが、それぞれの課で色々な企画をおこし、市のために関わっているということ学びました。働くということは上司に言われたことを完璧にこなしていても成長をすることはできないため自分で課題や問題点を把握し、自主的に行う提案型の仕事の仕方が良いと教わりました。そのために残りの大学生活の中で様々な人、職業の人と関われるものに参加するなどしてコミュニケーション力を高めたいと思います。

今回、お忙しいにも関わらず受け入れてくださり、インターンシップ研修に携わり、協力してくださった職員の皆様、至らぬ所も沢山ありましたが、本当にありがとうございました。

【95】松山市役所 総務部 B

〒790-8571

愛媛県松山市二番町4丁目7-2

経営学部経営学科 2年次生 柴田 明希子

1. インターンシップ研修の目的

私がこのインターンシップ研修に参加した目的は、大きく3つあります。1つ目は社会に出て働くとはどのような事か知ることです。私は、すでに将来に漠然とした不安を抱えています。心から約40年間働きたいと思える自分に合った企業に就職するためには、働く意味をきちんと理解する必要があると考えます。また、1人の社会人として働くためには何が必要なのか、しっかり学んでいきたいと思いました。

2つ目は、自分で自分を知ることです。将来に不安を抱える原因の1つは、自分で自分をしっかり理解していないことです。私は今まで、嫌なことから逃げていました。社会で仕事をするにあたって、嫌なことから逃げているようでは、仕事で最高のパフォーマンスはできないと思います。また、自分で自分を知るとは、将来の就職のミスマッチを防ぐことにもつながると思います。

3つ目は、理想と現実の把握です。私は将来、社会貢献をしたいと考えています。人の役に立てる人間になりたいのです。しかし、それはあくまで理想であり、今の状況ではそのようなことをできる自信はありません。そんな理想と現実とのギャップを少しでも小さくするために、状況判断をきちんとできるようになりたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が松山市役所での研修を希望した理由は、目的にも書いたように、将来、社会貢献をしたいと考えており、今の社会の現状をきちんと把握する必要があったからです。市役所は市民の事を第一に考える機関であり、そのためには、常に情報感度を上げておく必要があります。だから、現実をきちんと把握し分析する力を身に付けるのに最適な研修先であると考え、選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月15日（月）から8月26日（金）土日を除く10日間

8月24日（水）は新採用職員フォローアップ研修へ参加

研修担当課：契約課、人事課、職員厚生課、文書法制課

【契約課】 8月15日（月）

市役所の9階にある契約課での主な業務内容は「入札の参加資格に関すること」です。担当は「工事」「委託」「物品調達」に分かれています。工事担当では、入札をすべて電子化し、愛媛県と共に「えひめ電子入札共同システム」を利用して入札を行っています。私は実際にこのシステムの操作を見学させていただきました。日々数千万円のお金が動いている現場は、とても緊張感がありました。この日は月曜日で、普段の日だと実際に入札室で入札が行われている日だそうですが、お盆で業者が休みのため実際の入札を見学することはできず、業務内容の説明を聞くことがほとんどでした。しかし、ここではメモを取る力が問われました。実際のところ話の内容はとても難しく、簡単に理解できるものではありませんでした。そんな中でもメモを取りながら相手の話を聞くことで、興味・関心を示すことができたと思います。

【人事課】 8月16日（火）から8月19日（木）

4階にある人事課では最も長い3日間の研修を行いました。1日目は「給与」に関する業務でした。まず初めにデータを集めるところから始まりました。これは、松山市と同じく「中核市」と呼ばれる街の給与に関する資料を集め、それをもとに松山市の職員の給与は適切であるかどうか判断するためです。その後、集めた資料から必要な情報をExcelに抜き出し、それを元に様々な角度から分析を行いました。私は始め、この仕事の必要性をきちんと理解していませんでした。しかし、後から職員の方に「自治六法」を見せてもらうと、そこにはこの仕事の必要性が記述されていました。私は法律に書かれてある重要な仕事を任されていたのです。この体験により、仕事に責任を持って取り組むことの重要性を学びました。

2日目は、女性職員の活躍推進についての業務を担当しました。私は主に先日行われた、女性のみが参加した事業アンケートの集計を行いました。1日目と同様にここでもExcelを駆使しましたが、前日に大きな仕事をした充実感から、アンケート内容に目を向ける余裕が少しありました。アンケートには、女性職員のみ参加により本音で仕事の悩みや不安を話すことができたという声もある一方で、この事実を男性職員にも知ってほしいと言った声もありました。女性職員の事ばかりを考えるのではなく、男性職員にも目を向け、積極的に育児休暇を取得してもらうなど、男女でお互いの気持ちを共有することが重要だと感じました。

3日目は主に事務作業が中心でした。土日に行われる中島トライアスロンの乗物チケットの準備をしたり、研修参加者の名簿のチェックをしたり、会議の会場づくりをしたりしました。どの作業も職員が気持ちよく働くために重要なことであり、職員の方が満足して働けてこそ、市民に最高のサービスを提供できるのだと感じました。

【職員厚生課】 8月19日（金）、8月20日（月）

この日から2日間は、2週間前に10階に引っ越ししたばかりの職員厚生課で研修を行

いました。まず初めにこの課に来て驚いたことは、「保健室」があったことです。そこには、基本的な薬が揃えてあったり、ベッドが備え付けてあったり、産業医の方とお話できる相談室があったりと、環境が整っていました。私は、2日間とも主に「被服」についての業務を行い、昨年度被服を購入した職員のリストを課ごとに作成しました。これは労働安全衛生業務の1つであり、職員の労働環境を整えるための仕事でした。また、被服購入には「起案文書」が必要であり、課長決済を通ったのちに職員厚生課で審議されます。たくさん起案文書の中で、何度かもう少し予算を抑えてほしいと言った記述を目にしました。職員の被服は仕事をするにあたりとても重要なものですが、それも市民の税金で購入しているため、細心の注意をはらって購入していることが分かりました。

【文書法制課】8月23日（火）、8月25日（木）、8月26日（金）

市役所6階にあるこの課では、1日目は「法規」と「文書」に関する業務を行いました。法規業務では、改めて仕事をする根拠を学びました。実際に「例規集」を検索しながら、どうしてこのような規則や条例が定められたのか、その意義や目的を考えました。また、午後からの文書担当業務では、目の前で「起案文書」が出来上がるまでの流れを見学することが出来ました。この文書を作成するにあたっては、自分の考えを的確に文字に起こさなければなりません。きちんと筋の通った文書を作成する力が必要だと感じました。

2日目、3日目は基幹統計調査の1つである「経済センサス」の書類に漏れがないかの確認をしました。この作業は1日に500枚以上もの資料に目を通す、とても根気のいる作業でした。また同じ資料を4回もチェックするという徹底ぶりでした。私はこの作業を通して、忍耐力、集中力、注意力が身についたと思います。

4. インターンシップ研修を終えて

この10日間の研修は私にとって、かなり充実したものになりました。なぜなら私の目的の1つである「社会に出て働くとはどのような事か」を学ぶことができたからです。職員自ら、自分の仕事に自信と責任をもって取り組んでいる様子は、まさに私が理想とする職場環境でした。なぜこの仕事をする必要があるのかを理解することによりその仕事にやりがいを見出した時、一生ここで働きたいと感じるのだと思います。今後の学生生活ではこの学びを通して、将来の自分を想像しながら学業や社会人の方との交流に力を入れていきたいです。この研修で大変お世話になった松山市役所の職員の方に、心から感謝いたします。特に、他の課の業務内容を知る機会を設けてくれた人事課の方には、感謝の気持ちでいっぱいです。自分自身の視野を広げることができて、大変うれしいです。ありがとうございました。

【96】松山市役所 理財部 A

〒790-8571

愛媛県松山市二番町4丁目7-2

経済学部経済学科 2年次生 増田 聡司

1. インターンシップ研修の目的

私が今回インターンシップ研修を受けた理由は、自分がいざ就職活動の時期になった時にどういった就職先を選んだらいいのかが不明確であるということや、また自分の希望の就職先を見つけることができても、そこに就職することができるのかという部分に不安をかけていたことです。なので、私は今回のインターンシップ研修で自分がやりたい仕事や自分に合っている仕事を見つけること、またそのために必要になってくるスキルを養うことを目的として臨みました。

2. インターンシップ研修先の選択

私が松山市役所を選んだ理由としては、以前から公務員の業務に興味があったということが大きく、公務員の業務内容や職場の雰囲気をも身をもって体験できる機会ということで官公庁での研修を決めました。その中でも自分が生まれ育ったこの松山に貢献できるような仕事ということで松山市役所を希望しました。私は松山市役所の中でも理財部を希望したのは、以前に税理士の方からのお話を聞いており、税関係の仕事に興味があったので税関係の業務を扱う部署ということで理財部を希望いたしました。なので、私は今回のインターンシップ研修で公務員の業務内容や税関係の知識を深めることも重要視していました。

3. インターンシップ研修の内容

今回の松山市役所、理財部でのインターンシップ研修では、市民税課、納税課、資産税課、財政課の4つの課を回らせていただきそれぞれの課の役割や業務について詳しくご説明いただき、実際に業務の一部を体験させていただきました。

まず、1～3日目は市民税課での研修でした。市民税課では税金の課税業務について主に説明していただきました。ここでは、税金について普段あまり深く触れることのない私に深く関係のあるアルバイトの収入関係の話や原動機付自転車にかかる税金の話などを聞いて、初めて知ることも多くとても驚きました。また市民税課で体験させていただいた業務内容は住民税についての書類分類の実務補助でした。個人情報を多く扱う部署ということもあり情報の機密性や業務の専門性も高く私が体験できる作業としては書類業務ということになり単純作業が多くなってしまいましたが、ただ与えられた作業をこなしていただけ

では、得られるものも少なくなってしまうことを改めて痛感しました。このことからどんなことでも、その作業を行っている意義や目的をしっかりと確認することや、作業中での気づきということの大切さを学ぶことができました。また、住民税の書類作業中に私の席の近くで職員さんが何人かで話し合いをされており、注意して聞いているとやはり様々な意見や主張が積極的に出ていることが印象的であり自らが積極的に参加する姿勢というのが皆さんに感じられました。これらから主体性や積極性が重要であるということのほかにも、様々な方面にアンテナを張り参考になることを積極的に探すということも大事であるとわかりました。

4～5日目は納税課に行かせていただきました。納税課では同じ課の中でも様々な班があり、二日間でいろいろな班で研修させていただき多くの体験ができました。1日目は税証明や特別徴収について説明していただき、自分自身、税証明の発行補助の体験をさせていただきました。今回体験させていただいた税証明は様々な場面で使用することを知りました。今は学生ということもあり、あまり税証明に関する知識や経験がなかったので税証明に関する経験をさせていただきとても新鮮でした。また、税証明の発行補助では様々な理由で税証明を行いに来られる方がいらっしゃる中で的確なご説明や対応をされていて、相手のお話を正確に理解して、自分の意見を正確にわかりやすく伝えることが大切だと感じました。

2日目は税金の郵便振替の事務処理やふるさと納税の書類発送業務を体験させていただきました。郵便振替の事務処理もふるさと納税の書類発送業務もどちらもミスを許されない業務を任せていただき、またその中でミスをしないように自分自身で工夫することの大切さや、そういった作業の中で強い責任感を感じました。この2日間は本当にいろいろなことを体験することができ、多くの新しい情報を吸収することができました。

6～9日目（8日目の人事課新採用職員研修を除く）は資産税課で研修を受けさせていただきました。資産税課では土地や建物などにかかる税金についての業務について学びました。1日目は税務局訪問や、土地の所有などの台帳や宛名業務を体験させていただきました。

税務局訪問では年の近い職員の方とお話をするのができ、業務についてや公務員試験の勉強についてお聞きすることができました。2日目は償却資産についてや、固定資産の評価業務をさせていただきました。どちらもPCを使った作業になりやはりPCスキルはどんな仕事でも大事だということを改めて感じました。またこの日も職員の方とお話をする機会があり、人脈を作ることや年配者のアドバイスを大切にすることなどのお話をさせていただきました。4日目は土地の評価についての説明や土地の作図をしました。また、午後には実際に現場に出て土地の評価の体験をさせていただきました。土地の評価方法など全く知らなかった情報を教えていただき新しい知識を知る新鮮さや楽しさを感じました。また、現場に出ての土地の評価体験では職員の方2人と私の3人で行かせていただき、何件か現場を回り実際に土地の広さを測量し、そのデータを持ち帰り計算をして土地の評価額を算出する作業を体験させていただき、土地評価班の一連の業務を大方理解することがで

きました。今回のインターンシップ研修の中で一番その班の職場の雰囲気などをリアルに感じることができた研修でとても貴重な体験ができたと思います。

最終日は財政課にお世話になりました。財政課では財政課で行われている業務の説明や書類のチェック作業をさせていただきました。今まで体験してきた課では窓口があり市民の方と接する機会もありましたが、財政課では窓口がなく外とあまり関わりのない課でまた違った職場の雰囲気を味わうことができました。なので、同じ松山市役所理財部でも課によって全く違った業務や職場環境があるということを学びました。

4. インターンシップ研修を終えて

私は今回インターンシップ研修を受けて、様々な体験をさせていただきました。その中で何をするにあたって考えながら行動することや作業中での気づきを大切にすることが一番自分の中で勉強になった点です。また、目標としていた自分に適した仕事やそれに伴う自分に必要なスキルを探すということは、今回多くの事務作業を経験したことにより肉体的疲労が少ないことなどの長所も見え、将来の自分の就職活動の参考になりました。また、必要なスキルとしては、様々な場面でのコミュニケーション能力や臨機応変に対応する柔軟な思考力がとても大切だと思いました。

今回、様々な経験をさせていただき、自身の就職活動の糧になる経験になりました。私のインターンシップ研修にお時間を割いてくださった多くの方にとっても感謝しています。ありがとうございました。

【97】松山市役所 総合政策部 B

〒790-8571

愛媛県松山市二番町4丁目7-2

経済学部経済学科 3年次生 岡村 浩太

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加する目的は二つあり、一つ目の目的は今の私の能力が社会でどのくらい通用するのかを知るためです。社会に出ると、今まで私が培ってきたコミュニケーション能力や協調性などの様々な能力が必要になると考えています。このような私の能力が社会に出た時に何が通用し、何が通用しないのかを確かめることが目的の一つです。もう一つの目的は、公務員の業務内容を肌で感じることです。私が就職を希望している公務員の業務は、アルバイトなどでは決して経験することのできない業務内容であり、未知数な部分が多い職業であると感じていました。この研修を通して公務員の業務を体験し、就業意識の向上に繋げていきたいです。

2. インターンシップ研修先の選択

私が研修先に松山市役所を選んだ理由は、就職先として松山市役所を希望しており、今回のインターンシップで少しでも市政に関わり、体験して公務員という職業への理解を深めるためです。そして、様々な課が存在している松山市役所の中で総合政策部のBパターンを希望した理由は、私は経済学部のコースの中の総合経済政策コースに所属しているため、大学で学んでいることを発揮できると考えたからです。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月15日(月)~8月26日(金) 計10日間(土日は除く)

研修時間：原則8時30分~17時15分まで(最終日のみ17時45分まで)

研修先：文化・ことば課、電子行政課、シティプロモーション推進課、人事課

日付	研修先	研修内容
8月15日(月)	文化・ことば課	「松山の文化を考えるワークショップ」の模擬実施
8月16日(火)		データ入力、ポスターの整理等の事務作業
8月17日(水)		「ふるさとCM大賞」へ応募するCMの草案づくり

8月18日(木)	電子行政課	ラジオ難聴地域の調査
8月19日(金)		ラジオ難聴地域の調査、中間報告会
8月22日(月)	シティプロモーション推進課	職員の方へのインタビュー、広報誌の確認
8月23日(火)	シティプロモーション推進課	ラジオ収録の見学、広報誌用の写真の整理
8月24日(水)	人事課	人事課研修への参加
8月25日(木)	シティプロモーション推進課	広報TVの収録への参加、庁内広報の記事づくり
8月26日(金)	シティプロモーション推進課	データ入力作業、午後からは研修報告会

・文化・ことば課(8月15日~8月17日)

研修初日から三日間、文化・ことば課で研修を行いました。初日は、ワークショップの模擬実施を職員の方と一緒に行いました。ワークショップとは住民参加型のまちづくりにおける合意形成の手法です。今までワークショップという手法は聞いたことはありましたが、参加したことはありませんでした。なので、この研修でワークショップという手法を初めて体験し、市民の方々から意見をいただく方法の一つとして非常に有効であると感じました。また、「松山の文化を考えるワークショップ」であったので、普段あまり考えることのない松山の文化について考え、今まで知らなかった松山の文化について知ることができ、多くの発見がありました。2日目は主にデータ入力などの事務作業を行い、3日目は文化・ことば課からふるさとCM大賞へ応募するCMの草案を考えました。CMづくりをするのは初めての体験で、30秒のCMを作ろうとしたが、できた草案を読み上げると約1分あり、CMづくりの大変さを思い知らされました。普段、CMをつくる機会はないのですごく貴重な経験になりました。

・電子行政課(8月18,19日)

研修4日目、5日目は電子行政課にて研修を行いました。電子行政課では主にラジオ難聴地域の調査を2日間行いました。初日は浅海、萩原などの北条地区の調査、2日目は城北、道後地区の調査に帯同させていただきました。災害大国の日本において、ラジオは重要な防災ツールであり、ラジオが聞こえない地域があれば災害時に重要な情報を手に入れることができないため、このラジオ難聴地域の調査は非常に大切な業務であるという説明を受けました。また、市役所での仕事は課によるが3分の2くらいが庁外に出る業務であるとおっしゃられていました。私の想像とは違い業務内容が意外とアクティブであるということが発見できました。

・人事課(8月24日)

この日は、今年度採用された職員の方々と一緒に人事課研修に参加しました。新入職員の方々の業務紹介では、職員になって苦しかったことや大変だったことを赤裸々に語ってくださり、社会に出て働くことの厳しさを痛感しました。またどの職員の方々も、市役所職員として自分の仕事にやりがいと誇りを持っており、私もこんな社会人になりたいと強

く思いました。

・シティプロモーション推進課(8月22,23,25,26日)

人事課研修を挟んで、残りの4日間はシティプロモーション推進課で研修を行いました。シティプロモーション推進課では、庁内広報誌用の職員インタビューや市政広報番組の収録への参加、さらに広報誌用の写真の整理や庁内広報誌の記事づくりなどのパソコンによる事務作業を体験しました。職員インタビューでは、事前にシティプロモーション推進課の職員の方がインタビューの原稿を用意してくれていましたが、原稿に書かれていることしか質問しなかったら、味気なく終わってしまい会話のキャッチボールが成立しません。なので、一つの質問から会話をできるだけふくらませていかなければならず、苦労しましたが、他者とコミュニケーションをとるうえで大事なことなので、良い勉強になりました。また、市政広報番組の収録にも参加させていただきました。その中で、松山市役所代表のゆるキャラであるハッピーカバー君の着ぐるみを実際に着させていただきました。普段は職員の方が入って撮影しているという事を聞き、公務員の業務内容は多岐にわたるという事を実感しました。

4. インターンシップ研修を終えて

この10日間の研修は私にとって非常に有意義なものになりました。研修初日は不安だらけで緊張して出勤しましたが、初日より2日目、2日目より3日目というふうに日を追うごとに研修が楽しくなってきました。事前に私が立てていた研修の目的も2つとも達成することができました。また、今回の研修で私が持っていた公務員へのイメージが180度変わりました。研修前は、厳しくて真面目な人が多い堅い職場のイメージでしたが、実際はどの課の職員の方々も仲が良く、絶えず笑顔で仕事をされていました。その笑顔の中にも適度な緊張感があり、「私もこんな職場で働きたい」と心から思える素敵な職場であると感じ、今後の公務員試験の勉強のモチベーションに繋がる非常に充実した体験でした。お忙しい中、自身の業務をこなしつつ私の指導に当たってくださった文化・ことば課、電子行政課、シティプロモーション推進課、人事課の職員の方には本当に感謝しています。この経験を今後の大学生活や就職活動に活かしていけるように日々精進していきたいと思っております。ありがとうございました。

【98】松山市役所 市民部A

〒790-8571

愛媛県松山市二番町4丁目7-2

人文学部社会学科 3年次生 三宅 理加

1. インターンシップ研修の目的

1つ目は、「働く」とは何なのか、社会人と同じ一日を過ごすことで、就職活動が始まるまでにある程度知っておきたいと思ったからです。アルバイトでは経験できない体験をインターンシップから学びたいと思いました。

2つ目は、インターンシップを通して自己の強みと弱みを知り、今後の学生生活に生かしたいと思ったからです。社会人の方と一緒に働かせてもらうことで、今後の学生生活で、強みは伸ばし、弱みは克服したいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

1つ目は、私は公務員の仕事に興味があります。なぜなら自分が育った町で市民の人の役に立ちたいと思っているからです。市役所がどんな取り組みをしているのか、どんな仕事をしているのか、業務をしていくうちに知識を身に着けたいと思いました。

2つ目は、自分が思う公務員のメリット・デメリットが正しいのか確かめたいと思ったからです。確かめることで就職活動のミスマッチを防ぐことができると考えました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間 8月15日～8月26日（土日を除く）の10日間

<8月15日・タウンミーティング課>

タウンミーティング課は、(タウンミーティング)、(笑顔のまつやま わがまち工房)、(笑顔のまつやま まちかど講座)の3つの部門があり、市民との対話を通して、市民と行政の信頼と連携を培うとともに、協働のまちづくりを進めるきっかけづくりをする課です。午後からは、市民との対話を通じて要望が実現した、高野山のトイレ、北条鹿島博物館、北条スポーツセンターを見に行きました。高野山のトイレは、自然に対応した板張りになっており、屋根は太陽光パネルで作られていて細かいところまで考えられた造りで印象に残りました。市内41地区をめぐって松山市が市民と直接対話を通じて意見を聞き、多くの意見に答えようと尽力していることを知りました。

<8月16日・市民参画まちづくり課>

午前中は、市民参画まちづくり課の業務内容を聞いた後、松山南地区防犯協会に行つて

防犯意識を高める講義を聴いたり、防犯灯を見に行きました。また、立花駅にて歩きたばこ啓発ポスターを確認しました。午後は、松山市男女共同参画センター・COMS に行き、NPO について学んだり、貸出備品の確認を行いました。

防犯灯は、町内会が管理を行い、設置を松山市が行っています。現在約 3 万灯の防犯灯が設置されています。実際調べてみると、私の住む地域にもたくさんの防犯灯がありました。気づかないところで、地域の人が身近な安全・安心を守ってくれていることを忘れないようにしたいと思います。

<8月17日・人権啓発課>

午前中は、人権啓発業務内容、人権意識を感じるワークショップ、人権教育・同和問題の講義を受けました。午後は、企業内人権教育者研修の準備と参加、DVD 視聴「みんな地球市民」を行いました。

人権を学ぶなかで一番印象に残ったのは LGBT です。私は、今まで LGBT の人に出会った事はありませんが、相手のことをよく知ること、性に悩んでいる子がいたら受け入れる心を持つことが大切だと感じました。

<8月18日・市民参画まちづくり課>

午前中は、平和・援護業務について学んだ後、松山空襲や原爆被爆者によるDVDを視聴しました。次世代に戦争はしてはいけないということを繋げる必要があると思いました。午後は、まちづくり協議会について学びました。地域では、地域福祉、環境美化、防犯、防災、お祭りなど様々なまちづくり活動が行われています。町づくり協議会はこれらに関する各種団体が、ネットワークを作り、地域の意見を集約する場です。高齢者の参加が多く、若者が少ないので、若者が活発にまちづくりに参加することが必要だと反省しました。

<8月19日・市民相談課、人事課>

午前中は、消費生活センターで、業務説明を聴いたあと、スーパーに行って量目検査を行いました。量目検査とは、100gあたりの肉、魚、惣菜それぞれパックされたものと風袋（中身の入っていないトレイ）2種類を計って、その差が法律基準値と正しいか確認することです。午後は、インターンシップ実習生同士でどのような活動を行っているのか意見交換を行い、他の部署のことも知ることができてよかったです。

<8月22日・人権啓発課>

午前中は、人権講座を2つ受講した後、午後からは地域交流促進事業である朝生田ふれあいセンターに行きました。高齢者の方たちとディスコンに参加しました。最高齢は90歳の方で、みなさんの元気に圧倒され、たくさん笑いました。その後は、人権啓発ポスターを少し作りました。

<8月23日・人権啓発課>

午前中は、北条ふれあいセンターに行って人権教育研究大会のための資料封入作業と陶芸をしました。作業する方たちは、職員ではなくボランティアということに驚きました。午後は、人権啓発ポスター作りの続きをしました。今まで学んだ人権講座を生かしたポス

ターになったと思います。

<8月24日・人事課>

平成28年度新採用職員の方たちの担当業務紹介を聞きました。自分が配属していない部署の方たちの話も聞けました。大変なこと、やりがいなど生の声が聞けてよかったです。その後は、危機管理及び防災について、健康管理についての研修を受けました。

<8月25日・市民課>

午前中は、市民課・支所の概要説明のあと各地域の支所をめぐりました。支所によって届出、証明書発行など目的によって窓口を分けていたり、全て窓口を一緒にしているところもありいろいろな特色がありました。支所が、地域と密着した仕事をしていることにとっても魅力が感じられ、地域の方のお助け所のような役割をしているんだなと思いました。

<8月26日・市民課、人事課>

午前中は、総合窓口のフロア案内をしました。いざお客様を目の前にすると思い通りに出来ませんでした。お客様に「ありがとう」と言われたときは嬉しかったです。午後は、インターンシップで学んだことを5分にまとめて前に出て発表しました。緊張しましたが、早口にならずにゆっくりと話すことができたと思います。市民部でのインターンシップがどれだけ楽しかったか、充実していたか伝わっていたらいいなと思います。他のインターンシップ生の報告を聞くこともすごく勉強になりました。

4. インターンシップ研修を終えて

松山市役所が、市民のためにどんな仕事をしているのか肌で感じられました。始業前は冷房を切っていたり、昼休みは電気を切っているところから市民の税金を少しでも抑えようとしていることが分かりました。印象的だったことは、職員の方同士がすごく会話を大切にしていたことです。松山市役所は3~4年ごとに部署替えがあるようです。「関わりのあった部署に替わった場合は、あまり業務に困らないけれど、全く関わりのなかった部署の場合は毎日が勉強だ。だけど、部署が替わってもみんな協力的だから何とかやっていける」とおっしゃっていました。様々な業務を学ぶうちに、多種多様な考え方が出来、職員のネットワークが広がり、協力的な職場環境になるのだと思いました。お忙しい中、退屈しないようにすごく気を遣ってくださり、わからないところは、わかるまで説明していただき、みなさん優しく毎日が楽しかったです。10日間を通して大切だと思ったことは、人とのコミュニケーション、多面的な見方をすること、知識をつけることです。毎日が学びと発見の連続で刺激をたくさん受けました。残りの学生生活に生かしていこうと思います。10日間の短い期間でしたが、密の濃い貴重な時間をありがとうございました。

【99】松山市役所 市民部 B

〒790-8571

愛媛県松山市二番町4丁目7-2

法学部法学科 3年次生 大久保 謙

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修を行う目的は2つありました。1つ目は、市役所の業務内容を把握することです。私は以前から公務員という道を考えていましたが、実際に公務員とくに市役所の職員の方がどのような業務を日々行っているのか知りませんでした。研修をすることでインターネットや資料、友人からの情報では分からない確かな情報を得ることが出来ると考えました。2つ目は、公務員として働くやりがいや、喜びを模索することです。私は今後、社会人として働くうえで、長く働ける仕事に就きたいと考えています。そのためには、日々の業務でやりがいや喜びを感じられることが大切だと思い、これを模索するためインターンシップ研修を受けようと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は学生生活でボランティア活動をするうちに、誰もが快適に過ごせるまちづくりをしたいと思うようになり、それに関わる仕事に就きたいと考えました。そのような職業を考えた際、市役所が最適だと思い、インターンシップ研修先に松山市役所を選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月15日（月）～8月26日（金）のうち実務日数10日間

研修先：市民相談課・市民課・人権啓発課・タウンミーティング課・市民参画まちづくり課・人事課

<市民相談課>

市民相談課では、市民からの意見や提言をeメール・手紙・ファックスにより広く収集し、その声を市政に反映させる「わがまちメール」という事業を行っています。わがまちメールで市民相談課に来た市民からの意見や提言を担当部署へと受け渡し、回答をしてもらうのですが、回答一つ一つに市長自らが目を通して驚きました。また、コールセンターを見学しましたが、想像以上に電話の数が多く、また、相談内容も様々なものがあるため、幅広い知識と臨機応変な対応が必要だと感じました。

<市民課>

市民課での研修1日目は支所見学をしました。松山市には22か所の支所と7か所の出張所があり、わざわざ本庁へ来なくても住民票などの手続きを行うことができます。研修では北条、三津浜、石井、湯山の4つの支所を見学しました。石井地区は人口が多いため、手続きによって窓口を分けたり、整理券を発行したりして、効率をよくしていました。それぞれの地域に合うやり方で業務を行っており、市民の方にとってすごく便利だなと感じました。研修2日目は、フロア案内の体験をしました。市民課の窓口業務やフロア案内業務は、市民の方と接する機会が多いため、市民の事を第一に考え、接遇を大切にしています。研修ではフロア案内の説明を聞いた後、実際にフロア案内の体験をしました。説明を聞いていた時は理解していたつもりでしたが、実際に市民の方を相手にすると、緊張してしまいうまく対応することが出来ませんでした。改めて、コミュニケーション力と臨機応変な行動が重要であると感じ、自分に足りない具体的な課題を見つけることが出来ました

<人権啓発課>

人権啓発課では3日間研修を行いました。人権啓発課は主に子どもの人権や障害者の人権など、14の人権について松山市民に啓発する業務を行っています。

1日目は、午前中2つの研修を受け、午後から企業内人権担当者研修に参加しました。午後からの企業内人権担当者研修では、CSRで会社が変わる、社会が変わるというテーマで企業の方へ企業の社会的責任について研修を行っていました。民間企業の方も日々の業務だけでなく、このような研修に参加していることを知り、働くことに関する視野が広がりました。2日目は、午前中小学校の教員の方の研修に参加し、午後からは、ふれあいセンターで地域交流促進事業に参加しました。午前中の研修では、「はないちもんめ」や「猛獣狩りゲーム」など、小学生によくしていた遊びが人権問題にかかわることを知りました。午後からは、ふれあいセンターでお年寄りの方が集まって活動するディスコン教室に参加しました。家に引きこもりがちなお年寄りが、外に足を運び活動することで健康を維持でき、医療費や生活保護費を削減できるため、お年寄りにとっても松山市にとってもすごく良い取り組みだと気づきました。3日目は、北条ブロック人権教育研究大会の資料封入作業をした後、インターンシップ研修生で人権啓発パネルを作成しました。パネルには今回の研修で学んだことを基に、性的マイノリティ、障害を持つ人、男女共同参画の3つのテーマで少しでも多くの市民の方に見てもらえるようにイラストなどを入れて作成しました。

人権啓発課の研修を通して、普段あまり意識することのない人権について考えることができ、今後もっと人権感覚を深めていきたいと思いました。

<タウンミーティング課>

タウンミーティング課では、市長が直接地域に出向き地域の魅力や課題について意見を交換し、市政に反映させる「タウンミーティング」などを行っています。研修では、タウンミーティングでの意見をもとに実現した事例を見に行きました。松山市にはボール遊びができる公園が少なく、子どもたちは遠くへ行かないとボール遊びができないという意見から、親と子どもたちと一緒にルールを作ってもらい、松山市としてはボールが出ないよ

うに高さのあるネットを設置していました。自分の目で実際に見てみることで、市民主体のまちづくりについて、より理解が深まりました。

<市民参画まちづくり課>

市民参画まちづくり課では、誰もが快適に過ごせるように歩きたばこの防止や防犯灯の設置などを行っています。実際に防犯灯を見て回りましたが、LEDの防犯灯はまだまだ少なく、古くなったものから優先的に設置しているそうです。今まで自分は何気なく生活をしていましたが、これからはどのような所に危険があるのか、それを防止するにはどうすればよいかという行政の目線でまち歩きをしていきたいです。

<人事課>

人事課では、新採用職員の方の研修に参加し、危機管理研修や健康管理とメンタルヘルス研修を受けました。最終日にはインターンシップ研修性による報告会があり、自分が研修をしていない部署のイメージを膨らませることが出来ました。限られた時間の中で、自分の言いたいことを的確に伝える力を今後身につけたいと感じました。

4. インターンシップ研修を終えて

私にとってこの2週間の研修は大変有意義なものになりました。研修に参加する前の市民部の仕事は、住民票や戸籍などの手続きを行う窓口業務のイメージしかありませんでしたが、今回の研修を通して人権問題や安全・安心なまちづくりなど、課によって業務が全く異なることを学び、市役所の仕事に対する視野が広がりました。また、職員の方は3～4年で全く異なる部署へ異動になるため、すごく大変な職業だと思いました。しかし、同時に様々な業務を通して、幅広い知識を身につけることが出来るという魅力的な仕事でもあると感じました。今回の研修で職員の方のおかげで私たちは毎日快適に過ごせていることに気づかされました。

自分は2週間の研修を通し、特に働くことの大変さを学ぶことが出来ました。今後の学生生活では、勉学はもちろん、就職した際に理想と現実のギャップに躓かないよう日頃から情報を収集していきたいです。また、自分に任された仕事を最後までやり通す体力も必要だということに気づきました。生活習慣を見直すことから、少しの時間でも運動することを今後意識して取り組みたいと思います。2週間という短い期間でしたが、得るものがたくさんあり、とても有意義で濃い時間を過ごすことができました。この経験を無駄にすることなく、今後の学生生活、就職活動へと最大限活かしていきたいです。

今回の研修では、お忙しいところ多くの職員の方々にお世話になりました。温かくご指導していただいた松山市役所の皆さまに心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

【100】松山市役所 保健福祉部A

〒790-8571

愛媛県松山市二番町4丁目7-2

経済学部経済学科 3年次生 岡田 雄司

1. インターンシップの目的

私がこのインターンシップ研修で目的としたことは、今まで想像することしかできなかった公務員という業務を、実際に目で見て体験したり、職員の方々と直接会話したりすることによって、公務員という職種について明確に理解することです。これは、公務員として働くうえで、現在の自分に足りない能力を見極めることはもちろんのこと、今後の学生生活、就職活動における行動指針を確固たるものにしたいと考えたからです。

2. インターンシップ研修先の選択

私が松山市役所の保健福祉部を研修先としたのは、公務員の典型としてイメージしやすい市役所職員の業務を、自身が関心のある福祉関係の分野で体験したいと思ったからです。また、地元の市役所ではなく松山市の市役所にしたのは、将来、社会人として自立した生活を送ることがよりリアルに想定できるのではないかと思ったからです。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月15日(月)～8月26日(金) 【土日を除く10日間】

研修部署：介護保険課、障がい福祉課、保育・幼稚園課、保健福祉政策課、人事課

日付	実習担当課	主な実習内容
8月15日	介護保険課 介護申請・給付担当	介護保険の概要説明、入力業務
8月16日	介護保険課 事業所指定・指導担当	事業所、支援センターへの視察
8月17日	障がい福祉課 事業所指定担当	書類整理、指定事業所への視察
8月18日	保健福祉政策課 給付金対策室	給付金の説明、申請書発送確認
8月19日	保育・幼稚園課 指導・監査担当	新制度の概要説明、施設視察
8月22日	保育・幼稚園課 指導・監査担当	保育園の視察、資料確認作業
8月23日	障がい福祉課 事業所指定担当	指定事業所視察、資料整理
8月24日	人事課	人事課研修への参加
8月25日	保健福祉政策課	施設監査への参加、保健所訪問

8月26日	(保健福祉政策課) 人事課	研修報告会
-------	---------------	-------

【介護保険課】

初日のこの課では、公的介護保険制度についての説明を受けた後に、介護認定の申請手続きに必要となる、認定調査の結果や、主治医意見書の入力作業をさせていただきました。介護保険制度によって享受できるサービスの質がこの認定結果で決まってくるので、作成の際には自分の入力ミスで申請された方が不適切な認定がされることがあるかもしれないと思い、非常に緊張しました。2日目は、まず介護保険事業概要という資料の28年度版の作成のための書類整理を行いました。その後は、指定介護事業所が行う定例の運営推進会議への参加という形での視察研修、地域包括支援センターへの視察研修を行いました。実際に行政が法人や事業所と介護保険制度を通してどのように関わっているのか知ることができ、最新の介護サービス体制について学ぶこともできました。また、これらのことを通して、行政福祉というのは市民への奉仕の精神だけでなく、公平性、中立性も必要とされるシビアなものだということに気づかされました。

【障がい福祉課】

3日目と7日目は、障がい福祉課で研修を行いました。二日とも障がい福祉課事業所指定担当での研修でした。ここでは、市が指定した障がい福祉サービスを行う事業所に関する資料の整理や、事業所への監査、指導のための視察に同行をさせていただきました。今まで、障がい者に対する福祉サービスというものは介護、医療関係のものばかりだと思っていたので、今回の視察研修で、就労継続支援サービスを行う事業所へ訪問したことは非常に新鮮に感じられました。そこでは、障がい者の方々が正規の会社と同様に活動しており、この福祉サービスが単なる技術訓練ではなく、障がい者の自立を真剣に考えたサービスなのだということが分かりました。このことから、多様化している障がい福祉サービスの実態を理解することができました。

また、7日目に行った事業所への視察研修では、障がい福祉施設の現状を実際に目で見て学んだことで、事業所が施設の設置を行うためには、市や町といった行政の支援よりも、その地域との相互理解関係の構築が必要であるということに気づき、障がい福祉サービスの充実のためには、自分を含め世間一般の人々が障がいに対してより理解を深めることが課題であると思えるようになりました。

【保健福祉政策課】

4日目と9日目は保健福祉政策課で研修を行いました。4日目においては少し研修先が特殊で、給付金対策室という、平成26年度から始まった臨時福祉給付金、障害・遺族基礎年金受給者向け給付金の業務に特化した部署でした。そこでは、膨大な支給対象者のデータに不備がないかの確認を地道に行いつつ、給付金に関する問い合わせに丁寧に対応していました。終わりの見えないような量の業務であっても、黙々と一定のペースで行っている職員の方々の姿勢を見て、公務員は集中力と、精神力が並み以上に求められるものなのだということが分かりました。9日目は施設監査担当での研修で、保育所の施設監査への立ち合い、松山市保健所への訪問などを主に行いました。監査への立ち合いでは、市職

員の方々が様々な法律や規則に、施設の運営に関する資料を照らし合わせて、適切な管理・運営がなされているかの確認を厳格に行っている様子を拝見することができました。その様子から、職員の方々の豊富な知識量と判断能力が垣間見え、公務員という職業の特殊性を感じる事ができました。(10日目は報告会での発表資料作りの研修でした。)

【保育・幼稚園課】

5日目と6日目は保育・幼稚園課での研修でした。5日目では、子ども・子育て支援新制度や、松山市の待機児童解消に向けた取り組みについて学んだ後、施設整備担当の方と市長の公約に基づいた、園庭の芝生化事業を行っている保育所へと視察研修を行いました。行政が行う一つの福祉サービスの幅の広さを実感するとともに、市として一つの事業を実行し成功させるためには、かなりの時間とあらゆる分野からの協力が必要となるということが分かりました。6日目は、教育保育支援担当での研修で、半日間ほど市の運営する朝美保育園で子供たちと過ごし、どの様に子供たちの保育活動が行われているかを学ばせていただきました。加えて、市が定めた保育所としての基本理念・基本方針に基づき、子ども一人一人のことを大切に考え、さらなる保育の質の向上を目指しながら運営活動がおこなわれているということを実感できました。

4. インターンシップ研修を終えて

10日間という短い研修でしたが、大変有意義で内容の濃い研修になりました。公務員の仕事というのは、窓口業務や事務作業ばかりで市庁舎をあまり出ないものであるというイメージだったのですが、視察や、委託事業者との話し合い、施設監査などのために外に出ることが意外に多いということが分かり、イメージが大きく変わりました。また業務内容、配属先によっては、残業がかなり出るところもあり一般企業の社員とあまり変わらないということも分かり、より公務員のイメージができるようになりました。加えて、お昼休中に職員の方々と積極的に質問したり、お話を聞きに行ったりしたことで、そのイメージをよりリアルにすることができました。この研修を通して、大学の講義では学べないことを学ぶことができ、普段では体験できないことを体験することができました。そこから知り得たこととしては、計画能力や傾聴力、コミュニケーション能力などの現在の自分に足りない能力と、頼る力や学習継続能力といった公務員として求められるであろう能力です。今後の学生生活では、自身が身につけるべき能力は何かを自覚して、大学の授業や、公務員講座での学習を行っていきたいと思います。

今回の研修では、多くの職員の方々にお世話になりました。温かくご指導、ご教授していただいた人事課の方、保健福祉部の保健福祉政策課をはじめとした4つの課の皆さまに心よりお礼申し上げます。研修を受け入れてくださり、本当にありがとうございました。

【101】松山市役所 保健福祉部 B

〒790-8571

愛媛県松山市二番町4丁目7-2

経済学部経済学科 2年次生 竹岡 佑介

1. インターンシップ研修の目的

インターンシップ研修での目的は2つあります。1つ目は、業務内容を実際に自分の目で見て把握することです。私は、公務員がどのような仕事をしているかイメージしかなかったので、実際に自分の目で見て具体的なものにしたいと思いました。2つ目は、自分の適性を知ることです。自分の得意・不得意を知り、これからの就職活動等で生かしていければと考えました。主にこの2つを中心に10日間のインターンシップに臨みました。

2. インターンシップ研修先の選択

以前から公務員に関して興味がありました。特に市役所がどのような業務を行っているのかを知りたいという気持ちが強くありました。また、私は「若者と地域」という視点で何かできないかと考えており、子育てという点に着目し、保健福祉部を希望しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間 8月15日(月)～8月26日(金) 計10日間(土日は除く) 原則8:30～17:15

研修先 子育て支援課、国保・年金課、高齢福祉課、健康づくり推進課、人事課

日付	実習担当課	実習内容
8月15日(月)	子育て支援課	乳幼児医療費助成の書類作成など
8月16日(火)	子育て支援課	児童扶養手当実務研修など
8月17日(水)	国保・年金課	国民健康保険賦課業務の書類作成補助
8月18日(木)	国保・年金課	国民健康保険資格業務の書類作成補助
8月19日(金)	高齢福祉課	特別養護・養護老人ホーム視察など
8月22日(月)	高齢福祉課	高齢者医療療養費支給申請書の端末操作
8月23日(火)	健康づくり推進課	1歳6か月児健康診断の受付・誘導など
8月24日(水)	新採用職員フォローアップ 研修	新採用職員担当業務紹介など
8月25日(木)	健康づくり推進課	3歳児健康診断の受付・誘導など
8月26日(金)	保健福祉政策課	インターンシップ研修報告会

【8月15日～8月16日 子育て支援課】

1日目は、子育て支援課の業務について説明を受け、ひとり親家庭・乳幼児医療費助成の実務研修を受けました。主に乳幼児医療費助成申請書の書類作成補助で助成金額が適切であるかどうかを電卓で計算する業務を行いました。1つ1つの業務を丁寧にする 것도大切ですが、より効率的にできないかと考えながらしたことで業務をスムーズにこなすことができました。2日目は、児童扶養手当の実務研修を受けました。児童扶養手当制度の説明をしていただいた後、窓口に来られる方の対応を横について見させていただきました。来られる方のほとんどは母子家庭などの何らかの特別な事情を抱えた方が多く、精神的に不安定な方もいらっしゃいました。そういった状況ではより慎重に対応しなければならないと思いました。この最初の2日間で公務員のイメージがガラリと変わりました。部署によって業務は様々だと思いますが、職員の方々が明るく気さくに話かけてくれたりなどすごくいい職場だと感じた2日間でした。

【8月17日～8月18日 国保・年金課】

3日目は、国保・年金課で国民健康保険制度の説明を受けました。その中で、保険料が前年の所得に応じて決定するというのを初めて知りました。午後からは賦課業務というのをしました。主に保険料の計算をする業務でパソコンを使いながら計算しました。4日目は、国民健康保険の収納業務の説明を受けました。現状としては保険料未納の方も多く、窓口相談に来られる方もいるそうです。未納の方に対して、いかに早く保険料を納めていただくかが重要だと思うし、なかなか対応が難しい課題だと感じました。

【8月19日、22日 高齢福祉課】

5日目は、高齢福祉課で午前中は松山市総合福祉センターに視察に行きました。主にボランティアについてのお話を聞きました。午後からは、特別養護・養護老人ホームの江南荘と久谷荘を視察しました。要介護の認定を受けた方が介護を受けている現場を見学しました。6日目は、後期高齢者医療制度の説明を受けました。国民健康保険と同じく保険料未納が課題だと思います。

【8月23日、25日 健康づくり推進課】

7日目と9日目は、1歳6か月児と3歳児の健康診断の受付・誘導を主にしました。小さい子どもを相手にするので体力がかなり必要だと思います。実際に子育てをしているお母さんに子育ての大変さ、子育てをしているからこそその問題点を聞くことができました。子育てをしながらでも働くことのできる環境が必要だと感じました。

【8月24日 新採用職員フォローアップ研修】

8日目は、新採用職員の方と一緒に研修を受けました。新採用職員の方が担当している業務の紹介をしました。聞いていて業務がすごく細分化されていると思いました。危機管理

研修というのもあり、新たに防災に対する知識が身についたし、自分の身を守るためにも防災グッズや非常食を備蓄しておくなど今からでもできる防災をしようと思いました。防災意識が高くなった研修でした。

4. インターンシップ研修を終えて

10日間の松山市のインターンシップ研修はとても充実したものとなりました。1つの組織として働く上で「人間関係」がとても大切だと思いました。互いに分からない所を教え合ったりなど助け合いながら業務をしている職員の方の姿を今回はたくさん見させていただきました。見ていて自分もこの職場で働きたいものすごく感じました。気さくに話をかけてくれたりして、すごく話しやすい環境を作ってくださいました。本当に感謝しています。就職活動まではあと2年ほどですが、今回のインターンシップ研修を通して公務員になりたい気持ちが強くなりました。簡単になれる職業ではないですが、新聞を読んだり、筆記試験の勉強をしたりなど、今からできることをやっていきたいと思います。インターンシップ研修で実際に自分の目で業務などを見たことで公務員のイメージを具体化することができました。なかなかできない経験ができたので良かったです。この経験をこれからの大学生活や就職活動などに生かしていきたいです。今回、お忙しい中、インターンシップ研修を受け入れてくださった松山市役所の皆様に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

【102】松山市役所 保健福祉部D

〒790-8571

愛媛県松山市二番町4丁目7-2

経営学部経営学科 3年次生 石井 志歩

1. インターンシップ研修の目的

私はもともと、公務員を目指したいと思っていました。理由は自分が生まれ育った愛媛県か松山市に貢献したいというアバウトなものでした。そのような考えを持っている中、松山市役所の方に直接お話を伺う機会に恵まれました。お話を伺った方が公務員を目指した理由も松山市役所を目指した理由もとても具体的なもので、このままのアバウトな理由ではいけないと思わせていただきました。そこで、私は、インターンシップ研修を通して自分が何をしたいと公務員を目指すのか具体的にするきっかけがつかみたいと思い、インターンシップ研修に参加しました。

2. インターンシップ研修先の選択

前述したように、私は公務員になることを目指しています。そのため、できれば愛媛県庁か松山市役所にインターンシップに行きたいと考えていました。合同説明会でお話を聞く時間が資格試験のためあまりなかったのも、最初は、事前にいただいた資料を読んだり、ホームページを見てみたりしながら、単純に興味があると思う複数の課をピックアップしていきました。最終的には、松山市役所の方に刺激を受けたことをきっかけにインターンシップ研修に参加しようと思ったこと、身近に愛媛県庁のお話を聞くことのできる方がいることなどを考慮して選びました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月15日～8月26日 土日を除く（実質10日間）

研修時間：原則8：30～17：15まで（計7時間45分）

研修先：保健福祉部D（生活福祉総務課、子育て支援課、保育・幼稚園課、子ども総合相談センター、保健福祉政策課）

* 人事課で人事課研修に参加した日もあり

日付	研修先	主な研修内容
8月15日～8月16日	生活福祉総務課	・業務説明 ・あて名書き ・社内郵便物の配達手伝い

		<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護受給者の受付見学 ・無縁仏供養会への参加
8月17日～8月18日	子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ・業務説明 ・児童館の撮影協力（着ぐるみ着用） ・児童扶養手当、乳幼児医療制度の窓口や受付の見学（一部体験） ・事務作業手伝い
8月19日,8月22日	保育・幼稚園課	<ul style="list-style-type: none"> ・業務説明 ・保育園訪問 ・保育士業務体験 ・事務作業体験
8月23日	子ども総合相談センター	<ul style="list-style-type: none"> ・業務説明 ・オレンジリボン、ファイルづくり ・施設見学
8月24日	人事課	<ul style="list-style-type: none"> ・人事課研修
8月25日～ 8月26日12:00まで	保健福祉政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・施設監査の見学 ・保健所見学 ・各課にまたがる業務調整の協議の場に参加
8月26日13:00～	人事課	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会

<生活福祉総務課>

学んだことは、生活保護制度は自分が思うよりも身近な問題であることというのが大きかったです。この制度に限らず、たくさんある制度が自分にとって身近であることをきちんと理解することが必要だと思うきっかけになりました。

<子育て支援課>

はっぴーカバー君の着ぐるみを着るという機会がありました。市役所の仕事は机上の仕事や受付ばかりだと思っていましたが、実際には体を使う仕事もあるのだというイメージになかった部分が知れました。

<保育・幼稚園課>

芝生化の業務が印象的でした。1つの保育園の園庭を芝生化するのも簡単にいくわけではなく、職員の方の工夫や保育士の方の努力など様々な要因がなければならないことを知りました。相互努力により成り立つ仕事を実際に見て協力の大切さを学びました。

<子ども総合相談センター>

全国的にも珍しい0歳～18歳までの子どもに関する相談を何でも受け付けるという施

設です。相談しにくるのは子ども自身だとばかり思っていました。保護者から相談を受けることもあるようで、相談を直接聞いたわけではないですが、保護者からの相談の例として意外な内容もあり、ギャップが大きかったです。保育士資格などの資格を持つ人がほとんどで、公務員にも専門的な知識を持つ人が必要な場があることを実感しました。

<保健福祉政策課>

協力体制の大切さを学びました。1つのことを進めるにも各課にわたり話を通したり、確認をとったりしなければならないことを知り、そのためには協力しようという姿勢が必要不可欠だと感じました。

<人事課>

人事課研修では、新入職員の方からの業務説明があり、新入職員として働くイメージをつかみやすかったです。また、最終日の報告会では、自分が行ってない課に行ったインターン生がどのようなことをし、どのようなことを学んだかを知ることができました。気になったことに関しては後から質問をするなどすることで、他のインターン生との交流のきっかけにもなりました。

4. インターンシップ研修を終えて

思っているより外に出る機会が多かったです。2日に1回は市役所内からでていたと思います。そういったイメージと違ったことを知れたこと自体が大きな収穫になりました。また、私は今回、自分は子どもに関する内容に興味があると思い、研修先を選びました。子どもに関する事なので、子ども自身や保護者の方々のために何かするというイメージでした。しかし、実際にはそれだけではないのかもしれないと思うようになりました。例えば保育士の方も子どもに関わる人物の1人で、そういった人たちを支えることが間接的に子ども自身や保護者の方を支えることにつながるのではないかと今は思っています。私は、子どもの育つ環境をもっと良いものにするために何がしたいか、何ができるかをこれから考えて、自分の言葉にしたいと思います。こう思えることがもう1つのインターンシップ研修による収穫であり、目的であった何がしたくて公務員を目指すのか具体的にやるきっかけにしたいということが達成できたことの証拠だと思います。また、業務だけではなく、職員の方の気遣いなどを見て、自分もこうなりたいとたくさん思わせていただきました。お忙しい中、たくさんの学びや気づきをさせていただきありがとうございました。

【103】松山市役所 産業経済部A

〒790-8571

愛媛県松山市二番町4丁目7-2

経済学部経済学科 3年次生 松本 泰雅

1. インターンシップ研修の目的

私は公務員志望で、就職活動の方向も、市役所で働きたいという目標が明確に決まっていた。その上で、インターンシップ研修の目的を大きく分けて3つ設定しました。

1つ目は松山市役所の業務を把握することです。どのような業務を行っているのかを知ること、公務員試験へのモチベーションを高め、就職後のギャップを無くすというねらいがあります。

2つ目は社会で求められているスキルを確認することです。実際に「働く」ことを経験し、どのような能力、人材が社会で求められているのかを把握します。

3つ目は様々な人と交流することです。職員の方とコミュニケーションを図ることで、多様な考え方や仕事に対する思いを学び、より広い視野を身に付けることで、人間的に成長することができると思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

松山市役所を研修先として選んだ理由は、地元で生まれ育ち、さらに地元で働き続けたいと考えたときに真っ先に思い浮かんだのが松山市役所だったからです。地元で働き続けるのに、市役所という職場は最高の環境であると考えています。また、松山に住んでいながら、松山市役所が具体的にどのような業務を行っているかをあまり知らず、それも学びたいという思いもあり、研修先に松山市役所を選択しました。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間：8月15日～8月26日（実質10日間）
勤務時間：8時30分～17時15分まで（昼休み60分を含む）

私の配属された産業経済部では、地域経済課、道後温泉事務所、観光・国際交流課、競輪事務所の4つの課で研修を行いました。「産業経済部」と聞くと、地域の活性化のような事業をしているという印象がありましたが、実際に研修を行うと、想像していた市役所の業務よりもはるかに広い範囲の業務があるということに驚きました。

8月15日	地域経済課	オリエンテーション、企業誘致について 産業創出の取り組みについて、北条地区の視察
16日	地域経済課	中小企業への支援について、商業振興について 労政雇用事務・女性活躍推進について
17日	道後温泉事務所	道後温泉活性化事業について
18日	道後温泉事務所	道後温泉運營業務について
19日	観光・国際交流課 人事課	国際交流・「瀬戸内・松山」構想等について 実習生による意見交換会
22日	観光・国際交流課	松山城・鹿島等の運営について・現地視察
23日	競輪事務所	競輪事業の概要説明・各業務の説明
24日	人事課	人事課研修に参加
25日	競輪事務所	施設見学・開催業務補助
26日	地域経済課 人事課	インターンシップ実習総括・報告書作成準備 実習生による報告会

○地域経済課での研修

地域経済課ではその名の通り、松山の経済活性化のための業務を行っている課です。業務は多岐に渡り、県外の企業を誘致する事業から女性の活躍できる社会を推進する事業などの説明を受けました。その中でも特に印象に残った事業が、中小企業の勤労者向けの給付金を給付するサービスの「ワーク com 松山」です。結婚や疾病の際に給付金を受けられるサービスですが、メガネを購入すると2000円の給付が受けられるといった珍しいものもあります。大企業と中小企業には福利厚生に差があり、十分な福利厚生を受けられない中小企業のための事業です。このように、具体的に市役所が行っている地域活性化事業を学ぶことで、経済学部として非常に勉強になったと感じました。

○道後温泉事務所での研修

道後温泉事務所では、活性化事業と運營業務についての研修を行いました。活性化事業は、「道後アートイベント」を実際に見学しました。道後アートイベントは、道後地区の旅館やホテルなどの施設と芸能分野の著名人の作品をコラボさせることで、より観光客の誘致を図る事業です。

運營業務の研修では、実際に接客業務を行ったり、備品の管理業務などを研修しました。また、関係者以外は立ち入ることのできない分湯場を見学したりと、インターンシップならではの経験をすることができました。道後温泉の研修を通じて、観光地としての道後温泉の魅力学び、松山の観光地としての価値を再確認することができました。

○観光・国際交流課での研修

観光・国際交流課では、松山への観光客誘致の事業や、姉妹都市との連携などについて学びました。さらに松山城と北条地区の鹿島に現地視察を行い、観光地としての魅力や問

題点を学び、どのような事業がこれから必要かといったことを考える機会になりました。特に鹿島では、広いキャンプ場や美しい砂浜などがありながら、来島される方が少なく、どのような活用方法があるかを考える研修を行いました。しかし、法規制により、改修なども制限があることや、財政的な問題点を知り、地域振興の難しさを体感しました。

○競輪事務所での研修

競輪事務所での研修は初めて知ることが多かったです。まず、競輪場に入ったことがなく、そして市役所が競輪場を運営していることも知りませんでした。競輪について学び、施設見学や、車券を売るための資金を準備する業務などを行いました。競輪場の売り上げは競輪ブームの下火に伴い低下し、新たな顧客開拓を考える一方で、市民からの反対や、ギャンブルを推進することの問題点など、他の部署とは全く違う業務だと感じました。

○人事課での研修

8月19日の午後と、24日、最終日の26日の午後は人事課による研修に参加しました。19日の研修は、実習生同士の意見交換会で、他の部署がどのような研修を行っているのかを知る機会になりました。24日は、今年採用された職員の方の研修に参加させていただきました。最終日は10日間の研修の成果をまとめ、5分程度で発表する報告会がありました。他の実習生の報告では、それぞれ学んだことや感じたこと、これからの学生生活にどう生かしていくかなどについて、様々な意見を聞くことが出来ました。

4. インターンシップ研修を終えて

この研修は、非常に有意義なものでした。その要因は、職員の方や職場の雰囲気や和やかで、リラックスして研修をすることができたことだと思います。当初の目標に、どんなスキルが求められているかという目標を設定しました。目標は達成でき、そのスキルは、「対人スキル」だと感じました。市役所は市民の方だけでなく企業の方とも接する機会も多く、商品売り込むことも多々あります。業務で自分の考えを伝える能力や、トークスキルなどは非常に重要で、職員の方に実際にお話しをしていただくと、どの職員の方も分かりやすく、要点をまとめてお話されることを感じました。「上手く話す技術」が、市役所職員に求められているスキルであり、企業でも同じことだと思います。最後に、お世話になった市役所職員の方々、他の実習生の方々、10日間、本当にありがとうございました。

【104】松山市役所 消防局 C

〒790-0811

愛媛県松山市本町6丁目6-1

法学部法学科 3年次生 正岡 翔吾

1. インターンシップ研修の目的

私のインターンシップ研修の目的は2つあります。1つ目は、消防吏員として市民の安全・安心のために働くとはどういうことなのかを知ることです。消防の業務が具体的にどのように地域社会に貢献しているのか、また、人の命を救うために日頃からどのような訓練を積まれているのかを知りたいと思いました。2つ目は、目指すべき理想の消防吏員像、社会人像を見つけることです。研修後も理想像を目標とし、追っていくことで、自分を日々成長させていくことができると思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は消防吏員になりたいと考えています。そのため、消防の仕事に対する理解を更に深めると同時に、消防職員の方々が、どのような想いを持って仕事と向き合っているのかを学びたいと思い、松山市消防局での研修を志望しました。消防の業務を実際に肌で感じ、そこで働くに相応しい人間になるために、残りの学生生活をどう過ごすかを考えるきっかけにしたいと思いました。また、人の命に関わる緊張感のある職場で研修を積むことによって、他の研修先とは違った経験ができると思いました。

3. インターンシップ研修の内容

私は、8月15日(月)から8月19日(金)までは中央消防署で、8月22日(月)から8月26日(金)までは松山市消防局予防課でインターンシップ研修をさせていただきました。

1日目は、松山市役所でインターンシップ研修をする学生全員で、研修に関する説明を人事課の方から受けました。一人ずつ自己紹介を行い、それが終わった後、それぞれの研修先へ別れました。松山市消防局に到着後、まずは担当者の方から署内や車両、資器材の説明をいただきました。午後からは、救急業務の研修でした。救急業務の現状についてのお話の後、救急車の中を見学させていただきました。病院に到着するまでどのような応急処置をしているのかといったことを学びました。そして最後に救命講習を受けました。救急車が到着するまでに、その場に居合わせた人が正しい心肺蘇生を行うことで助かる確率をぐっと上げられると知り、救命講習の大切さを感じました。

2日目は、午前中には交代・車両点検等の見学の後、署長さんから消防の歴史や防災に

関しての自助・共助・共助、松山消防の組織について、お話をさせていただきました。階級を追うごとに、市民だけでなく、隊員の命にも関わる判断も必要となり、その責任が増すことを感じました。また、消防職員としての人を助ける意識や気持ちの面も学ぶことができました。午後からは、タンク車とポンプ車の見学に加え、規律訓練や実際に防火服を着てホースを延長する訓練を体験させていただきました。人の命を助けるという一つの方向に全員がまとまるために消防では規律が大切だとわかりました。また、ホースは重量感があり、防火服はそれに加え暑さもあるので、それに耐えられるだけの体力が必要だと感じました。

3 日目は、車両点検の際に、はしご車に乗せていただきました。その後、通信指令課を見学し、救助業務の座学を受けました。救助隊の方のお話では、消防の仕事をする上での覚悟や、人の命を救うことに対する強い気持ちを感じ、このような消防職員に自分もなりたいたいと思いました。訓練体験では、防火服を着るタイムを測ったり、自分たちが実際に要救助者となり、はしご車を使って屋上から救助されるという体験をさせていただきました。一つひとつの動作を発声しながら行うことで、自分が何をしているかを他の隊員に知らせるとともに、安全確認が徹底されていました。

4 日目は、午前中にまず、救助隊の方の車両点検を見学させていただきました。救助活動のための資機材を毎日点検し、現場で使えないという事が 100%ないようにしているとの説明を受けました。人の命を救う上で、この点検も非常に大切な作業であることがわかりました。その後、消防業務についての座学を受けました。消防としての業務は常に法律に関わっており、プライベートの時間も一人の公務員としてそれを守ることが求められているとわかりました。午後からは、救助隊の方の下で、災害時に使えるロープの結び方を学んだり、実際にボンベとマスクを装着し、さらに目隠しをして要救助者を検索する訓練体験をさせていただきました。これを危険要因が混在する実際の現場で行うのは非常に難しいことだと感じました。火災建物内では、高度なスキルとチームワーク、そして何より助けたいという強い気持ちで活動しなければならないと隊員の方に教えていただきました。

5 日目は、午前中は交代・車両点検等を見学した後、消防ヘリや各支署の特徴、実際の火災現場についてご説明をいただきました。その後、火災原因調査室を見学させていただきました。午後からは、北条支署と城北支署を見学させていただきました。中央消防署とは違ったそれぞれの支署の雰囲気がありました。その後、松山市役所に戻りインターンシップ生同士で意見報告会を行いました。

6 日目からは松山消防局予防課で研修をさせていただきました。午前中、まずは消防法や危険物取り扱いについて学びました。その後、大洲消防の方の研修報告会を見学させていただきました。様々な地域で連携しあって消防力の強化に努めていることがわかりました。午後からは、危険物取扱施設に対する許可証などの書類の見学や、市役所訪問に同行させていただきました。危険物を取り扱う施設には、消防法などにより、厳しい基準が定められていました。また、公務員は、何をしても法律を基にした書類が必要で、それが仕事の根拠になっていると感じました。

7日目の午前中は、職員の方が作成した書類が法律に基づいていることを、実際に条文と照らし合わせながら確認しました。午後からは、全国優良消防職員表彰式での研修でした。

8日目は、全国消防救助技術大会での研修でした。全国でもトップレベルの救助隊員の技術を目の当たりにし、救急隊の方々が人の命を救うために日頃から厳しい訓練を積んでいるということを感じました。また、大会の運営業務に携わり、消防を裏で支えている方々の苦勞がなければこの大会や消防の業務は成り立っていないということを実感しました。中央消防署や消防局のそれぞれの課に、それぞれの役割があり、それを果たすことによって、市民の安心・安全を守るという消防の仕事が成立しているのだと思いました。

9日目は、午前中に、まず、石油コンビナートを見学させていただきました。1万klのタンクの上に登り、タンクの仕組みを説明していただきました。このような施設は事故が起こると他の場所よりも危険性が高いため、消火設備や油の流出を防ぐフェンスの設置などが義務付けられていました。その後、立ち入り検査に同行させていただきました。その際、法律や規制に関する部分では注意をしても、それ以外のことについては越権行為になる可能性があるため、危険でない限りは口出しをしないようにしていると教わりました。行政や公務員としての法令遵守とはこのようなことも含まれているのだと思いました。午後からは、タンクの水張り検査に同行させていただきました。タンクが図面通りに造られているかということと、溶接部分に光を当てて、穴が開いている所はないかを確認しました。

10日目の午前中は仮取扱施設の検査に立ち会わせていただきました。そこでは、施設側からの、設備の拡大の相談を一緒に聞かせていただきました。その際、職員の方は「法律の条件を満たさないのでダメです」というのではなく、法律を守った上で何かいい方法はないのかと企業側の立場に立ち一緒になって考えていました。市民サービスをする公務員としての姿勢を学ぶことができました。午後からは松山市役所に戻り、報告会でそれぞれが学んだことを共有しました。そして、10日間の松山市消防局での研修を終えました。

4. インターンシップ研修を終えて

10日間はあっという間で、研修終盤にはもう終わってしまうのかという気持ちになりました。この研修を通して、私にとっての理想の消防吏員像を見つけることができました。それは、「消防の仕事に対する強い気持ちを、自信を持って人に語れる消防吏員」です。研修中に救助隊の方が、「救助の場面において、体力の限界はないし、感じたこともない。日々の訓練で体力的、精神的な強さを身に付けている。」というお話をしてくださいました。自分のやっていることに対してこれだけの自信を持っているこの方のようになりたいと思いました。一方で、研修の中で、もっとできたのではないかと思う部分もありました。こうした社会人として自分に足りないものを感じられたこともこの10日間での収穫の一つだと思います。残りの大学生活では、理想像を胸に消防吏員を目指し努力していくとともに、社会人として通用する人間性を磨いていきたいと思っています。

そして、大変お忙しい中、私たちに貴重な体験をさせてくださった松山市消防局、中央消防署の皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

【105】松山地方法務局

〒790-8505

愛媛県松山市宮田町 188-6

法学部法学科 3年次生 西原 麻衣子

1. インターンシップ研修の目的

私がインターンシップ研修に参加した目的は2つあります。

1つめは、自分に足りない力は何かを明確にすることです。インターンシップ研修に参加することで、自分にはどのようなところが社会に出て働く人々と比べて欠けているかを明確にすることで、来年に控えている就職活動において役立てたいと思いました。

2つめは、自分の視野を広げることです。今回、あまり業務内容などを知らなかった、松山地方法務局というところへ研修に行くことによって、普段の生活からは学ぶことができないことを学び、今後の学生生活に生かしたいと思いました。

2. インターンシップ研修先の選択

私は現在、公務員を目指しており、公務員系のインターンシップ研修に参加したいと考えていたことと、松山地方法務局には今まで知らなかった業務がたくさんあることを合同説明会で知り、参加したいと思ったからです。

3. インターンシップ研修の内容

研修期間 8月29日～9月2日（5日間）

〈研修1日目：8月29日〉

初日の午前中はガイダンスから始まりました。法務局の歴史や法務局内を見学した後、インターンシップ研修生がそれぞれ自己紹介を行いました。その後には、明日の表示登記に関する測量を行うために、不動産登記表示についての概要を学びました。午後からは、午前中に引き続き登記について学んだあと、明日のワークショップの前段階として、人権擁護事務について学びました。

〈研修2日目：8月30日〉

2日目の午前中は男女共同参画に関するワークショップを行いました。インターンシップ研修生2人ずつと人権擁護専門の方2人ずつの2つの組に分かれて、「女性が家事をするのは当たり前か、否か」について議論しました。あまり普段の授業などでは、男女共同参

画について考えることはなかったので新鮮であり、またそれについて、専門の方に自分の意見としてまとめて発表するというのも今までない経験だったので言葉に詰まる時もありました。そのため、もっとプレゼンテーション能力を高められるように普段のゼミなどの授業でも積極的に自分の意見をまとめられるように努力しようと思いました。午後からは、表示登記に関して測量を行いました。私たちが実際に測量をしてみると、2か所に機械を設置して準備をするだけで30分もかかってしまいました。実際の測量では測量士の方は10分ほどで完成させるということを知り、大変な仕事なのだなと感じました。

〈研修3日目：8月31日〉

午前中は、前日に行った測量に関する実施の行い方に関する説明でした。前日に体験した測量を行い、地図などを作成しているということを知り、新たな知識を得ることができました。午後は供託に関する業務を実際に体験しました。今までは、供託について民法で少し出てくるというイメージしかなかったのですが、今回供託を受け付けるOCRの入力や、供託の払い渡しの小切手の実務などを体験し、松山地方法務局では様々な業務を行っていることがわかりました。また、供託の払い渡し業務では小切手で大きなお金を扱うこともあるそうなので、責任がある仕事なのだなと思いました。

〈研修4日目：9月1日〉

4日目の午前中は、午後の裁判傍聴に関する概要説明でした。松山地方法務局では今までに体験した登記事務、人権擁護事務、供託事務のほかにも訟務事務を行っており、訟務事務では、松山地方法務局の訟務事務課の方が実際に裁判に国の代理人として出廷します。今回私は初めて裁判傍聴に行ったのですが、午前中に訟務事務制度についてしっかりと説明していただいたことに加え、事件の概要もお話しいただいていたので裁判がとても分かりやすく、今までの堅苦しいイメージよりも少し身近に感じることができました。また、裁判傍聴の後には、質疑応答として、裁判に関することや日頃の疑問点などたくさんの質問に丁寧に答えていただき、学ぶべきところがとても多かったです。

〈研修5日目：9月2日〉

5日目の午前中は、松山地方法務局の一つである、戸籍・国籍事務について学びました。戸籍制度がしっかりと整っている国は台湾と日本ぐらいという話を聞き、とても衝撃を受けました。午後は、松山地方法務局の中で一日目から研修を受けて最後の業務である、商業法人登記事務について学びました。商業法人登記の変更や新規受付などをパソコンで入力する作業も実際にやってみることができ、なかなか普段の生活ではできない体験ができました。その後には、松山地方法務局の局長などとの懇談・意見交換会が実施されました。意見交換会は、今まで体験したどの面接や授業よりも緊張した体験となりました。

4. インターンシップ研修を終えて

5日間という短い間でしたが、松山地方法務局での研修は充実したものとなりました。まず、自分に足りないところとしてたくさんある中で一つ分かったことは、自分の意見をまとめて人にわかりやすく伝えるということが苦手というところです。ワークショップや意見交換会など自分の意見を発表する場が今回のインターンシップ中には多くあったと思いますが、全体を通して積極的に自分の意見を伝えることができなかつたように感じました。そのため、今後の学生生活においてはもつとなにごとにも積極的に自分の意見が伝えられるように努力していきたいと思いました。また、自分の視野を広げるといった目的について、今まであまり知らなかつた松山地方法務局の業務を学ぶことで、今後の就職活動における大切なひとつの選択肢になりました。また、自分があまり知らないところでも体験してみると自分が思っている以上に世の中になくはない業務を行っていることを実感し、就職活動で企業などを選ぶ際の教訓となりました。

今回、お忙しい中インターンシップを受け入れてくださった松山地方法務局の皆様、ならびに関係者の皆様に心よりお礼を申し上げます。今回5日間という短い期間の中でも、一生の心に残る思い出ができる貴重な体験ができたのも、総務課課長補佐の A 様ならびに各課の皆様のサポートがあったからです。本当にありがとうございました。